brother

取扱説明書

刺しゅう機付コンピューターミシン <u>EMC43 シリーズ</u>



商標

IMPORTANT:

READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Intel License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright © 2000, Intel Corporation, all rights reserved. Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistribution's of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistribution's in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Intel or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

All information provided related to future Intel products and plans is preliminary and subject to change at any time, without notice.

SD は、SD-3C,LLC の登録商標または商標です。

CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は SanDisk 社の登録商標または商標です。

メモリースティックはソニー株式会社の登録商標または商標です。

スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標または商標です。

マルチメディアカード (MMC) は、Infineon Technologies 社の登録商標または商標です。

XD ピクチャーカード(xD-Picture Card)は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

IBM は International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびそのほかの国における登録商標または商標です。

マジックテープは、株式会社クラレの、面ファスナーの登録商標です。

本取扱説明書に記載されているアプリケーションは、各社によってソフトウェアライセンスの所有・管理がされています。

本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には ® および ™ などのマークは明 記しておりません。

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、本取扱説明書で機能や使い 方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

安全にお使いいただくために

本取扱説明書およびミシン本体および刺しゅう機に使われている表示や絵文字は、製品を安全に 正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。 その表示や意味は次のとおりです。



取扱説明書で使用されている絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない 禁止事項



分解しては いけません



電源プラグを 抜いてください

特定しない

義務行為



感電の危険が あります

火災の危険が あります



水に濡らしては いけません



特定しない 危険通告



針の下に指を入れない でください

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

	▲警告
$\bigcirc \mathbb{A}$	一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
8	以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・使用中に停電したとき ・接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・雷が鳴りはじめたとき



$\otimes \mathbb{A}$	延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となりま す。
$\bigcirc \mathbb{A}$	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
Â	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の 原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

	▲注 意
Â	電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源 コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
$\bigcirc \mathbb{A}$	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、た ばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・ 感電の原因となります。 零酒コードまたけ電源プラグが破損したときけミシンの使用をやめてお買い上げの販売店またけ「お客
	様相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。
F	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となり ます。
$\otimes \mathbb{A}$	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 0 ~ 40 ℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの 被膜が溶けて火災・感電の原因となります。
\otimes	火の気のあるもののそばでは使用しないでください。 (火の消えていないたばこ、ろうそくなど) 火災の原因となります。
$\bigcirc \mathbb{A}$	野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡 れたときはお買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。
\bigcirc	温度や湿度の高い所でのご使用や保管は避けてください。
\otimes	スプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。 スプレーへの引火によるやけどや火災の 原因となります。
$\otimes \mathbb{A}$	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れ たり、落下などしてけがをする原因となります。 ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
$\otimes \mathbb{A}$	ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から 30cm 以上離して使用してくだ さい。また、換気ロやフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火 災の原因となります。
	ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。 万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い 上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感 電の原因となります。
	ミシン本体の換気ロや内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧 部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店 または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。
0	ミシン本体の重さは約 15.3kg あります。ミシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作を しないでください。腰や膝を痛める原因となります。
\bigotimes	以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。 ・温度が著しく高くなる場所 ・温度が著しく低くなる場所 ・急激に温度が変化する場所 ・湿気、湯気の多い場所 ・火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所 ・屋外や直射日光の当たる場所 ・ほこり、油煙の多い場所
0	ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって 落としたりして、けがの原因となります。
0	取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとけが・故障の原因と なります。

	▲注 意
	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびけがの原因となりま す。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご依頼ください。
	取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 けが・感電の原因となります。
	<u>ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、てんびんなどすべての動いて</u> いる部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。
	リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにけがをするおそれ があります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。
•	針や押えなどの交換およびそのほかの機能に関する使用については、取扱説明書の指示通りに正しく 行ってください。
\bigcirc	縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。けが・針折れの原因となります。
	<u>針の下などに指を入れないでください。</u> けがをするおそれがあります。
•	上糸、下糸などに関する操作については、取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。取り扱いを 誤ると、縫製中に糸がらみなどが発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
\bigcirc	曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
Â	万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上 げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感 電の原因となります。
	万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。そのまま 使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
0	本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管する か廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
\odot	お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、 お子様がけがをしないよう十分注意してください。
\bigcirc	フットコントローラーの上に物をのせないでください。 けが・故障の原因となります。
•	USB ケーブルは付属のものを使用してください。
•	センサーペンは、付属のものを使用してください。
•	USB マウスは、本製品純正のマウス(別売)を使用してください。

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
 This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
 職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご連絡ください。
- ●本機をご使用になる方(お子様を含む)が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障害を持つ場合、 あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用し てください。
- お子様が使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

警告ラベルについて

ミシン本体/刺しゅう機には下記の警告ラベルが表示されています。 警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。



1



2



レーザ機器について

IEC 60825-1 基準

このミシンは、IEC 60825-1:2007 基準で定められたクラス1レーザ製品です。



ミシン内部のレーザユニットはミシンカバーで覆われており、レーザユニットの保護筐体により安全なレベルの出力に低減されています。しかし、ミシンには 6mW、630 ~ 640nm の波長、ビーム広がり角(平行)は 6 ~ 12 度、ビーム広がり角(垂直)は 28 ~ 40 度の InGaAIP 半導体レーザを搭載しています。したがって、本機の分解・改造によって目に障害をもたらす可能性があります。

- ▲ 注意
- 本機は、レーザ装置にクラス 3B 半導体レーザを使用しています。レーザ装置はいかなる状況でも 分解・改造しないでください。
- 取扱説明書に記載している以外の操作や調整を行った場合は、危険な値のレーザ光にさらされる おそれがあります。

新機能の紹介

レーザーガイドラインマーカー で縫製位置を確認する

ガイドラインマーカーで針落ち位置を確認する ことができます。ガイドラインマーカーを布に 当てて確認しながら、お好みの位置に縫製位置 を合わせることができます。実際に針を下げて 縫製位置を確認する必要はありません。

そのほかにも、ガイドラインマーカーを使った さまざまな調整機能があります。

B-78 の「センサー機能(実用ぬい・文字/飾り ぬい)」参照

センサー機能を活用しましょう

センサーペンを使って、ガイドラインマーカー の位置合わせや、針落ち位置の設定、ジグザグ の振り幅や L/R シフト設定、さらにぬい終わり 位置の設定など、多彩な機能を活用できます。

B-78 の「センサー機能(実用ぬい・文字/飾り ぬい)」参照

デュアルフィード押えでもっと クリエーティブに



薄手の布やナイロン地など、新しい素材を使っ てみませんか?

付属のデュアルフィード押えを使うと、そんな ぬいづらい素材でもきれいに仕上げることがで きます。また、違う素材の布地を重ねてぬうと き、例えば薄手の布と厚手の布を重ねたときに も、デュアルフィード押えは効果的に活用でき ます。ぬう布地の種類に合わせて、送り幅を調 節してください。

B-69の「デュアルフィード押えを使う」参照

センサー機能の自動刺しゅう模 様位置合わせ



刺しゅうをするとき、センサーペンの自動模様 位置合わせ機能を使って、便利に縫製位置を合 わせることができます。

B-87 の「センサー機能(刺しゅう/編集刺しゅう)」参照

LED ポインターで刺しゅうの針 落ち位置を確認する



付属の LED ポインター付き刺しゅう押えく W+ > を取り付けると、LED ライトの赤い点が、刺しゅうの針落ち位置を示します。

LED ポインターの示す位置が刺しゅう開始位置なので、模様位置合わせが楽にできます。

B-63の「LED ポインター付き刺しゅう押え < W+ >を使う」参照

このミシンでできること

B 基本機能編

本機をご使用になる前に、まずこの「基本機能編」をお読みください。ここでは、基本的な準備の手順や、本機のより便利な機能を説明しています。

第1章 ぬう前の準備 ^{ぬう前に必要な準備を説明します。} *B-20 ページ* *第2章*センサー機能

付属のセンサーペンを使った新機能の説明です。 *B-72 ページ*

S 実用ぬい/文字・模様ぬい編

ここでは実用ぬいのさまざまな機能をご紹介しています。基本的な縫製だけでなく、筒ぬいやボタンぬい、また は文字・模様ぬいなど、本機をもっと活用したいときの詳しい操作方法を知ることができます。

第1章基本のぬい方

基本のぬい方と上手にぬうコツなどを説明します。 <u>S-2 ページ</u>

第3章文字・模様ぬい

文字・模様ぬいの手順を説明します。 **S-76 ページ**

第2章 実用模様

S-102 ページ

100 模様以上の便利な内蔵模様についての説明です。 S-20 ページ

第4章マイイラスト機能 オリジナルの模様の作り方と保存のしかたを説明します。

E 刺しゅう編

ここでは、刺しゅう模様をぬうときの手順をご紹介しています。 第1章「刺しゅう」では、本機に内蔵されている模様や外部から取り込んだ模様データを使って刺しゅうをぬう ときの手順について知ることができます。第2章「編集刺しゅう」では、お好みの刺しゅう模様を作るための編 集の手順を記載しています。

第1章刺しゅう

刺しゅうの手順を説明します。 *E-2 ページ*

第2章編集刺しゅう

刺しゅう模様の編集(組み合わせ、回転、拡大など)の手 順を説明します。 *E-56 ページ*

A 付録

ここでは、本機の操作をする上で重要な情報をご紹介しています。

第1章 ボビンワークでぬってみま しょう ^{ボビンワークのしかたを説明します。} *A-2 ページ* 第2章お手入れ/困ったときには ミシンのお手入れと困ったときの対処方法などを紹介します。 A-18ページ

目次

商標

安全にお使いいただくために 警告ラベルについて	1
当日 ジャック (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
このミシンでできること	7
各部の名称とはたらき	11
主要部	11
針と押え部分	12
刺しゅう機	13
操作スイッチ	13
付属品ケース/補助テーブル	14
付属品	15
別売品	17

B 基本機能編

第	1章 ぬう前の準備	20
	電源の入れ方	21
	ミシンを初めて使うとき	22
	液晶画面の操作	
	設定キーを使う	
	ミシンヘルプキーを使う	36
	操作ガイド機能を使う	37
	ぬい方キーを使う	38
	模様説明キーを使う	39
	下糸の準備	40
	下糸を巻く	40
	下糸をセットする	45
	下糸を引き出す	47
	上糸通し	48
	上糸通し	48
	2本針を使用する	51
	ほどけやすい糸を使用する場合	54
	押えの交換	55
	押えを取り外す	55
		55
	付属のアダノダーを使用して別売の押えを取り付ける.	56
	計の父換	58
		58
		58
	」	59
	すど布について	60
	針について	60
	中地と糸の性類による町の使い方り	61
	料しゆうの牛脯	62
	別しゆうの于順	62
	LED 小1 ノダー 11 ご約しゆ ノ押えく W+ ノを使 ノ	63
	利しゆう城を取り付ける	00
	マンノに1月間ので1000000000000000000000000000000000000	00
	「「飯の 000 へ) イブ やり属の力 「り う を使う…」	60
	バノコノに、ノノビ政航する USB マウスを使う	60 69
	デュアルフィード押えを使う	69
伷	2音 センサー機能	72

		1 /3 1/5	
センサ-	-ペンを使っ	った便利な縫製機能.	73
センサ-	-ペンを接続	売する	73
センサ-	-ペンホルダー	·を使う	
センサ-	-ペンを使う	う	75
センサー	-ペンを使う…		
センサー	-ペンについて	の重要な注意事項	
センサー	-ペンの調整を	する	

センサー機能(実用ぬい・文字/飾りぬい)	78
センサー機能エリアの説明	78
センサーペンでガイドラインマーカーの位置を設定する	78
センサーペンで針落ち位置を設定する	80
センサーペンで振り幅と縫製位置を設定する	81
センサーペンでぬい終わり位置を設定する	83
センサー機能(刺しゅう/編集刺しゅう)	87
センサーペンで刺しゅう位置を設定する	87

S 実用ぬい/文字・模様ぬい 編

第1章 基本のぬい方

51章	基本のぬい方	2
基本の)ぬい方	3
ぬって	こみましょう	3
返しぬ	コい/止めぬいをする	5
自動止	<u>-</u> めぬいをする	6
カーフ	ブをぬう	7
ぬい方	う向を変える	7
厚い布	5地をぬう	8
面ファ	▽スナー(マジックテーブ®)をぬう	
薄い在	う地をぬう	
伸ひる	うわ地をぬつ	
模様の)設定	10
ジグサ	ゲグの振り幅を調節する	10
ぬい目]の長さを調節する	10
ぬい目	3の基線位置を変える – L/R シフト設定 –	11
糸調子	~を調節する	12
便利な	↓機能	14
自動糸	※切りをする	14
ガイド	[×] ラインマーカーの位置を調整する	15
ニーリ	リフターを使用する	16
ピボッ	ノト	16
自動押	Pえ圧補正	18
針位置	3-ぬい位置	18
画面を	<u> E</u> ロックする	19

20

第2章 実用模様

実用模様の選び方	21
模様を選ぶ	21
模様の設定を記憶する	22
いろいろなぬい方	24
直線ぬい	24
ダーツ	28
ギャザー	28
折り伏せぬい	29
ピンタック	30
ジグザグぬい	30
点線ジグザグぬい	33
たち目かがり	33
キルトぬい	35
まつりぬい	45
アップリケぬい	48
シェルタックぬい	49
スカラップぬい	50
つき合わせぬい	50
スモッキングぬい	50
ファゴティングぬい	51
ゴムひもつけ	52
ヘアルーム	53
ボタン穴かがり	54
ダーニング (つくろいぬい)	58
かんどめ	59
ボタンつけ	60
	00

アイレット 横送り (直線・ジグザグ) ファスナーつけ かい カ日 月 本	. 62 . 62 . 63
第3章 文字・模様 広い	76
	11
大型師リ模様/ /mm 師リ模様/ 大型サテンステッチ	
/ /mm サテノステッナ/ クロスステッナ/ 専用鉄は掛塔	70
夫用即リ俣俅 立つ増垟	. 78
メ子候は	. /0
又子・実体をぬつてみましょう	81
されいにぬつたのに	. 81
人子・実体のぬい力 描述の囲動をする	. 81
候体の詞金をする	. 62
検r	84
候様の天ささを変える	. 86
候体の長さを変える (/MM リナノスナツナのみ) 増送た トマロ転させる	. 80
候塚を上下仅転させる	. 00 96
侯俅で江口反転ととる 横様の連結めい / 単独めい	90 . 86
模様の全統協いて手強協い	. 00 87
横書き/縦書きを切り替える	87
模様の始めに戻る	. 87
模様のイメージを確認する	. 88
模様の組み合わせ	89
模様の組み合わせをする前に	. 89
ちがう模様を組み合わせる	. 89
大きさを変えた模様を組み合わせる	. 90
反転模様を組み合わせる	. 90
長さを変えた模様を組み合わせる	. 91
ステップ模様を作る(7mm サテンステッチのみ)	. 92
模様の記憶	94
データに関する注意	. 94
模様を記憶する	. 95
模様を市販の USB メディアに記憶する	. 96
模様をパソコンに記憶する	. 97
模様を呼び出す	. 98
USB メディアから呼び出す	. 99
バソコンから呼び出す	100

第4章 マイイラスト機能

イラストデザイン	103
イラストの入力	105
マイイラストの記憶	110
マイイラストをリストに保存する	110
保存した模様を呼び出す	111

102

2

E 刺しゅう編

第1章 刺しゅう

刺しゅう模様の選び方	3
ワンポイント/オリジナル模様/花アルファベット	
/ボビンワーク模様を選ぶ	4
文字模様を選ぶ	5
枠模様を選ぶ	7
刺しゅうカードの模様を選ぶ	7
USB メディアやパソコンから模様を選ぶ	8
縫製画面の見方	9
布地を張る	11
布地に芯を貼る	11
刺しゅう枠に布地を張る	13
小さい布や布の隅に刺しゅうする	16
刺しゅう枠をセットする	17
刺しゅう模様の確認	19
ぬう位置を確認する	19
刺しゅうイメージを確認する	20
刺しゅうしてみましょう	21

されいに刺しゆつするために	
料しゆう9る	
アップリフをする	
このほころ この	20
ト が 少 な く な つ に ら	
述中でネか切れにとさは	
畑のからぬい但したいこさは	20 20
電源を切りた後、利しゆりを再用する	20
約しゆうに戻りる設定の調査	30
日動 糸切り 機能	
別しゆつの迷度を調即9る	
刺しゆつの糸番号、糸色名を表示する	
刺しゆつの枠衣示を変える	
刺しゆう榠椂の修止	36
ぬう位置を移動させる	36
模様と針を合わせる	36
大きさを変える	37
模様を回転させる	38
模様を左右反転させる	39
編集画面を広げる	39
糸密度を変える(文字・枠模様のみ)	40
1 文字ずつ色を変えてぬう	40
文字をつなげて刺しゅうする	41
連続した刺しゅう(1 色の場合)	43
刺しゅう模様の記憶	44
刺しゅうデータに関する注意	44
刺しゅう模様を記憶させる	45
刺しゅう模様を市販の USB メディアに記憶させる	46
刺しゅう模様をパソコンに記憶させる	47
刺しゅう模様を呼び出す	48
USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す	49
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す	50
応用ぬい	51
枠模様を使ってアップリケをする(1)	51
枠模様を使ってアップリケをする(2)	
分割模様をぬう	53

第2章 編集刺しゅう

編集刺しゅうでできること	57
刺しゅう模様の選び方	58
ワンポイント/オリジナル模様/花アルファベット	
/枠模様/ボビンワーク模様を選ぶ	59
ひらがな/カタカナ/アルファベットを選ぶ	59
編集のしかた	61
ぬう位置を移動させる	63
模様を回転させる	63
模様の大きさを変える	63
模様を削除する	63
模様を 200%拡大表示する	63
文字の配列を変える	64
文字の間隔を変える	64
文字の間隔を詰める	65
組み合わせた文子模様を切り離す	65
1 乂子 9 ノ巴を変え (ぬつ	66
又子をフはけて別しゆう9る	67
利しゆうの赤巴と変える	67
ビバレットから缶を選ぶ	00
連続模様をつくる	73
模様を繰り返し刺しゅうする	77
模様を複製する	79
編集が終わったら	79
模様の組み合わせ	80
組み合わせ模様を編集する	80
組み合わせ模様を刺しゅうする	83
さまざまな刺しゅうの機能	84
連続した刺しゅう(1 色の場合)	84
刺しゅうのしつけぬい	84
編集刺しゅう模様の記憶	85

56

A 付録

第1章 ボビンワークで	
ぬってみましょう	2
ボビンワークとは	3
ボビンワークの準備	3
準備するもの	3
上糸を通す	4
下糸の準備	5
ボビンワークでぬう(実用ぬい)	9
布地を準備してぬう	9
ボビンワークをフリーモーションでぬう	11
ボビンワークでぬう(刺しゅう)	12
模様を選ぶ	12
刺しゅうをぬう	13
糸調子を調整する	16
困ったときは	17

第2章 お手入れ/困ったときには 18

お手入れのしかた	19
注油に関して	19
ミシンを保管するときのご注意	19
画面の汚れの掃除	19
ミシンの汚れの掃除	19
かまの掃除	19
内かま周辺のカッターの掃除	
点検の警告について	21
画面の調整	22
画面の明るさ調整	
タッチパネルが反応しない	22
困ったとき	23
よくあるご相談	23
上糸がつる	23
布裏で糸がからまる	24
糸調子が合わない	
布がミシンに入り込んでとれなくなった	27
簡単なミシンの調整	30
エラーメッセージ	35
仕様	38
アップグレードの方法	39
USB メディアを使用してアップグレードする	
パソコンを使用してアップグレードする	
索 引	41
>>> >1	

各部の名称とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名称とはたらきを説明します。ミシンをお使いになる前に、よく読んで覚えておきま しょう。





針と押え部分



- ① ボタン穴かがりレバー (S-54) ボタン穴かがりやかんどめをするときに使います。
 (B-56、B-63)
- 押えホルダーを固定します。 ③ **押えホルダー (B-55)**
- 押えを取り付けます。
- ④ 押え (B-55) 布地を押さえます。ぬい方に合った押えを取り付けてくださ
- ⑤ 送り歯 (B-45、S-32) ぬう方向に布地を送ります。
- ⑥ 針板ふた (B-45、S-26)
- 開けて、中のかまにボビンをセットします。 ⑦ 針板カバー (S-26、E-22)
- かまの掃除をするときに取り外します。 ⑧ 針板 (S-26)
- まっすぐにぬうための目盛りがついています。
 ③ 針棒糸かけ (B-48)
- 上糸をかけます。 (1) **針のとめネジ (B-56)** 針を固定します。

針板/針板ふた(マーク付き)/針板カバーの 目盛りを使う

針板ふたの目盛りは、中基線の模様をぬうとき の目安です。

針板と針板カバーの目盛りは、左基線の模様を ぬうときの目安です。



- ① 中基線の針落ち位置
- ② 左基線の針落ち位置
- ③ 左基線のときの針落ち位置からの長さ(インチ)
- ④ 左基線のときの針落ち位置からの長さ(cm)
- ⑤ 中基線のときの針落ち位置からの長さ(インチ)
- ⑥ 中基線のときの針落ち位置からの長さ(インチ)







- ① 付属品ケース
- 伊え収納トレイがセットできます。
- ③ 押え収納トレイ 端ぬい押えく V >など、別売の押えの収納ス ペースもあります。

付属品



54		55	56	57	58		59	60	61
02		03	04	60	00		67***	68***	69***
70**	3	71**	70**	72**	74**	>	75**		
70		71	12	73	74		75	10	
				J.			Ø		
** }	糸たてスタン	ノドの部品です。	詳しくは同梱の「	糸たてスタンド取	双扱説明	書」を参照	祭ください。		
No.		ź			No.			部品名	
1	ジグザグ押	 えくJ>(ミシン	シに取り付けてあ	ります)	40	糸こまネ	ット<2個>		
2	模様ぬい押	え< N >			41	刺しゅう	専用針板カバー		
3	たち目かが	り押え< G >			42	タッチベ	ン ター		
4	片押えく1: ボタン(のか)	>			44	<u></u> USB ケ-	 -ブル		
6	まつりぬい	かり押えく A > 押えく B >			45	電源コー	 *		
7	ボタン付け	押え< M >			46	内かま(灰色、ボビンワー	-ク用)	
8	直線押え				47	<u> </u> 国禄町仮 コードガ	・ イドふた(1つゲ	(7	
9	LED ポイン	ター付き刺しゅ	う押え< W+ >		49	針板ふた	(マーク付)		
11	<u> カイト付さ</u> フリーモー	<u>ヒーシンク押え</u> ションキルト押え	3 < C >		50	針板ふた	(ミシンに取りた か(S) あしゅく	<u>けてあります)</u>	
12	エコーキル	<u>/ 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1</u>				刷しゆう 縫製範囲	₩ 2cm ×横 6c	フシート :m	
13	オープント	ゥキルト押えく	< C		52	刺しゅう	枠 (M)・刺しゅ	うシート	
14	デュアルフ	ィード押え				縫製範囲	縦 10cm ×横 1	0cm	
16	<u> </u>				53	刺しゅう 総制範囲	枠 (L)・刺しゅう 縦 18cm ×横 1	うシート 3cm	
17	メインフッ	トコントローラー	_ *		54		松 (II)・刺しゅ	うシート	
18	サイドペダ	ル*				縫製範囲	│縦 30cm ×横 2	20cm	
19		卜*			55	刺しゅう	カードリーダー		
20	取付けイン	<u>< 2 個 > **</u> ット			56	<u>刺しゅう</u> マイイラ	<u>用接着芯</u> スト田紙		
22	<u> <b< u=""></b<></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></u>	<u>ッ</u>			58	チャコペ			
23	2 本針				59	センサー	ペン		
24 25	ボールポイ ボビン / 1	<u>ント針(刺しゅ)</u> アクトン (1つけき)	<u>う用) < 2 本></u> ミンに取り付けて	ちります)	60	センサー	ベンホルター 		
26	<u> ボビン (n</u> リッパー			0729	62	付属品バ			
27	はさみ				63	取扱説明	書		
28	ミシンブラ	<u>シ</u>			64	模様一覧	」 」 操作ガイド(宇田	3)	
29 30	ドライバー	<u>ノナ</u> (小)			66	かんたん	<u>操作ガイド(刺し</u>	,ゅう)	
31	ドライバー	(大)			67	アンテナ	**		
32	ネジ回し タセズは				68	糸たて台	**		
34	ボに C 倖 糸こま押え	(小)			69 70	糸たて棒	< 2 本 > ** **		
35	糸こま押え	(中) < 2 個>			71	/mのイン 糸こま押	え(特大)<2個	≣> **	
	(1 つはミシ	シに取り付けて	あります)		72	スプール	クッションく2個	」 国> **	
36 37	糸こま押え 幺こま切う	(大) (特殊)			73	糸こま押	えベース< 2 個>	> **	
38	<u> </u>	<u>、13777</u> / ップく10個>			74	フェルト	<2枚>**		
39	<u>糸こま</u> フェ	… ルト <u>(ミシ</u> ンに耳	又り付けてありま	す)	75	リングく	4個>**		
					76	刺しゅう	糸 (ウルトラポス	() 39 色セット	

あ知らせ

- 当社推奨の付属品のみをご使用ください。
- ボビンクリップを使用すると、ボビンの糸 端を固定し、収納しておくことができます。 ボビンクリップをつなげてまとめておくと、 落として転がっていくようなこともありま せん。



別売品

別売品・部品については、お買い上げの販売店、 または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にお問 い合わせください。





🖉 お知らせ

仕様は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

と お願い

- 海外で販売されている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。
- 別売品・部品については、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119番)」にお問い合わせください。



ここでは、基本的な準備の手順や、本機のより便利な機能を説明しています。 ページ数は、「B」の記号で始まります。

第1章 ぬう前の準備	B-20
第2章 センサー機能	B-72

B基本機能編

_第ℓ_章 ぬう前の準備

電源の入れ方 21
ミシンを初めて使うとき22
液晶画面の操作 24
 ■ ホーム画面
 「エコモード」・「電源オフサポートモード」を通ぶ USB マウス使用時のポインターの形を選択する 記動画面を選ぶ 32 表示言語を変える 33 刺しゅう模様の背景色を変える 33 模様サムネイルのサイズを変える 34 設定画面を画像として USB メディアに保存する 35 シンヘルプキーを使う 36
操作ガイド機能を使う
下糸の準備
 下糸を巻く
上糸通し
押えを取り外す
計を取り外す
針について
 刺しゅうの手順

刺しゅう機を取り付ける	66
■ 刺しゅう機について	66
■ 刺しゅう機の取り外し方	67
ミシンに付属品を接続して使う機能	68
市販の USB メディアや付属のカードリーダーを使う	68
パソコンにミシンを接続する	68
USB マウスを使う	69
■ キーをクリックする	69
■ ページを変える	69
デュアルフィード押えを使う	69
■ デュアルフィード押えを取り付ける	69
デュアルフィード押えの押え足を取り付ける/取り外3	f 70
■ デュアルフィード押えのレパーを使う	71
■ デュアルフィード押えの送り量を調整する	71

B

ぬう前の準備

電源の入れ方



- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用したあと
 - 使用中に停電したとき
 - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - ・ 雷が鳴りはじめたとき
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の 原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

▲ 注意

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源 コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・ 感電の原因となります。電源コードやプラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119番)」にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- ミシンから離れる場合は、電源スイッチを切るか、または電源プラグを抜いてください。
- ミシンを点検したり、ふたを外すときも、必ず電源コードを外してください。





お知らせ
 一定期間、ミシンを使用しなかった場合は、 設定した日時がクリアされます。

液晶画面の操作



 画面は必ず指または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のと がったものや硬いもので押さないでください。画面を強い力で押したり、先のとがったもので押すと、 故障の原因となります。

■ ホーム画面



No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
1		実用・文字模様キー	直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使 う模様(実用模様)、または文字や飾りなどの模様を選ぶときに押しま す。	B-26
2		刺しゅうキー	刺しゅうをするときに押します。	E-3
3		編集刺しゅうキー	刺しゅうの模様を組み合わせるときに押します。編集刺しゅうでは、 オリジナルの刺しゅう模様や枠模様を作ることができます。	E-57

■ 実用・文字模様キー

指でキーを押して、模様を選択したり、ミシンの設定や機能を選択してください。キーが灰色に表示されて いるとき、そのキーは使用できません。



No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
1	•	針位置設定表示	1本針と2本針のどちらが設定されているかを表示します。針位置が 上下どちらに設定されているかも表示します。	-
			↓ 1本針/針位置下 ▲ ↓ 1本針/針位置下	
			▶ ₩ 2本針/針位置下 2本針/針位置上	
2	1-01 直線(左基線)	選択中の模様	選択中の模様の番号と名前を表示します。	S-3
3		押え表示	押え記号を表示します。ぬう前に、ここで表示している押えを取り付 けてください。	B-55
4	100%	模様イメージ	選択中の模様イメージを表示します。100%で表示しているとき、模様はほぼ実寸大で表示されます。	S-21
5	100%	模様表示サイズ	選択中の模様イメージのサイズを表示します。	S-21
			100%:ほぼ実物大	
			50%:実際の半分の大きさ	
			25% : 実際の 1/4 の大きさ	
			* 使用する布地や糸の種類によって、表示されるイメージと実際の模 様のサイズは異なってきます。	
6	1-01 (d) 187 (±23519) 1-01 1-02 1-03 1-04	模様選択画面	ぬいたい模様のキーを押します。 🗱 🕅 🖬 🛱 🖡 を押し	S-21
	1-05 1-06 1-07 1-08 $\frac{1}{2}$		て模様グループを選択できます。	
	1-09 1-10 1-11 1-12			
	≥ ≥ ≤ > 1-13 1-14 1-15 1-16			
7	1/3	ページ表示	ほかに表示できるページの数を示します。	-
8		スクロールキー	▲または▼を押すと、1ページずつ移動します。またはバーの上を	-
			 押すと、一度に複数ページを移動します。	

* 画面上のほかのキーのはたらきについては、以降のページで紹介します。

B

■ キーのはたらき



No.	表示	名称	はたらき	参照 ページ
1	実用模様	実用模様キー	直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う模様 (実用模様)を選ぶときに押します。	S-21
2	文字模様ぬい	文字模様ぬいキー	ひらがな、カタカナ、アルファベットなど文字や飾りなどの模様を選ぶときに 押します。	S-77
3		画面ロックキー	画面をロックするときに押します。ミシンを使用するときに、誤って画面を押 すのを防止します。もう一度押すと、解除します。	S-19
4	Â	ホームキー	このキーを押すと、いつでもホーム画面に戻り、ほかのモード(実用・文字模 様、刺しゅう、編集刺しゅう)を選択できます。	B-24
5		2本針キー	2 本針を使用するときに押します。押すごとに、1 本針と 2 本針の設定が切り 替わります。キーが灰色で表示されているときは、操作できません。	B-51
6		センサー機能キー	センサー機能を使用するときに押します。	B-78
0		イメージキー	模様が拡大されたイメージで表示されます。	S-22
8		記憶キー	模様の設定(ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや自動止 めぬいなどの設定)をお好みの数値に変更して、その内容を記憶しておくこと ができます。模様の設定は、1 つの模様について 5 セットまで記憶しておくこ とができます。	S-22, S-95, S-97
9		L/R シフトキー	ジグザグの振り幅の中心位置を左右のどちらかにずらすことができます。	S-11
1		糸調子キー	選択した模様の糸調子を示します。通常、糸調子は自動的に設定されます。 - または + を押すと、糸調子を調節することができます。	S-12
1	12:00	時計キー	日時設定ができます。	B-22
12	U ()	針・押え交換キー	針や押えを交換するときに押します。ミシンが作動しないように他のすべての キーと操作スイッチがロックされます。	$ m B-55\sim$ B-59
13	?	ミシンの使い方キー	上糸通し、下糸巻き、押え交換など、ミシンの使い方を知りたいときに押しま す。	B-36
14		設定キー	針の停止位置切り替え、操作音の音量、模様の調整や画面の調整などミシンの 設定を変更するときに押します。	B-28

No.	表示	名称	はたらき	参照 ページ
15		ぬい目調節キー	選択した模様のジグザグの振り幅(模様の幅)とぬい目の長さを示します。 ・または・を押すと、ジグザグの振り幅やぬい目の長さを調節することが できます。	S-10
16	Ţ	ガイドラインマー カーキー	縫製位置に沿って、ガイドラインマーカーを表示するときに押します。 ガイドラインマーカーを表示すると、布端や布につけた印に沿ってぬうときに 便利です。	S-15
17		左右反転キー	模様が左右に反転します。キーが灰色で表示されているときは、操作できません。	S-21
18	×	自動糸切りキー	自動止めぬい後に、自動糸切りを設定するときに押します。自動糸切りをあら かじめ設定しておくと、ぬい終わりに自動的に止めぬい(模様によっては返し ぬい)をし、糸切りをします。	S-14
19		自動止めぬい/返し ぬいキー	自動止めぬい(返しぬい)を設定するときに押します。自動止めぬいをあらか じめ設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい(模様によっ ては返しぬい)をします。	S-6
20		フリーモーション モードキー	フリーモーションモードにするときに押します。 押えがフリーモーションキルトに最適な高さになります。	S-40
0	4	ピボットキー	ビボット設定を選択するときに、このキーを押します。ビボット設定を選択し てミシンを止めると、針が下がった状態でミシンは停止し、押えは自動的に正 しい高さに上がります。再びぬい始めると、押えは自動的に下がります。 ・	S-16
			• B-29 設定画面の「針位置 - 上/下」が、下に設定されていることを確認し てください。	

それぞれの機能の詳しい説明は、参照ページの説明をご覧ください。

設定キーを使う■■

■ ■ を押すと、針の停止位置切り替え、刺しゅうの速度、オープニング画面など、ミシンの標準 設定を変えることができます。 ■ ↓ ■ または ■ を押すと、機能ごとの設定画面が表示され ます。

🏹 お知らせ

• ◀ または ▶ を押すと、設定画面が切り替わります。



実用ぬい、文字模様ぬいの設定

- ① (スピードコントロールレバー)をジグザグの振り幅調節レバーに切り替えます。 (S-39 参照)
- ② 文字・模様ぬいの模様を調整します。(S-82 参照)
- ③ 押えの高さを調節します。(押えが上がった状態の、押えの高さを選択します。)
- ④ 押え圧を調節します。(数字が大きいほど押え圧は強くなります。通常は3に設定してください。)(S-18参照) デュアルフィード押えが取り付けられていて、ローラーが下がっている場合、押え圧設定は2に固定されて、変更 できません。
- ⑤ デュアルフィード押えの送りを調整します。(B-69 参照)
- ⑥ 電源スイッチを入れたときに自動的に選択される模様として、「1-01 直線(左基線)」または「1-03 直線(中基線)」のいずれかを選択します。(S-21 参照)
- ⑦ 実用モードで最初に表示される模様選択画面を「実用模様」か「キルト模様」のどちらかに設定できます。
- ⑧ マルチ機能フットコントローラーを接続後に使用できる設定です。
- ⑨ ピボット機能を有効にしたときの、縫製停止時の押えの高さを変更します。(S-16 参照)
 3.2 mm、5.0 mm、7.5 mm の3段階のいずれかを選択します。
- ⑩ フリーモーションモードに設定したときの、押えの高さを変更します。(S-40 参照)
- ① ON にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取って、スムーズに布送りすることができます。(S-8、S-18 参照)
- ② この設定を「ON」にして止めぬいをする模様をぬうと、ぬい始め/ぬい終わりに、返しぬいスイッチを押しても止めぬいをします。(S-7 参照)
- 1 ガイドラインマーカーの位置と明るさを設定できます。(S-15 参照)
- (4) USB メディアに現在の設定画面を画像として保存できます。(B-35 参照)

共通の設定



- ① ミシンが停止したときの針位置(下/上)を選択します。ピボット機能を使用する際は下に設定します。(S-16 参照)
- ② (↓)(針上下スイッチ)を押したときの動作を設定します。(S-18 参照)
 ON: 1回押すと針が上がり、2回目で布に刺さる直前で止まり、3回押すと針が下がります。
 OFF:押すたびに、針が上下します。
- ③ USB マウスを接続したときのポインターの形を選択できます。(B-32 参照)
- ④「上糸・下糸センサー」を OFF にすると、上糸を通さないでミシンを動かすことができます。 (S-4、E-26 参照)

▲ 注意

- 「上糸・下糸センサー」が OFF に設定されているときは、上糸を通さずに使用してください。上糸を通 して使用すると、上糸が絡まったときにミシンが検知できません。糸が絡まったまま縫製を続けると、 故障の原因となります。
- ⑤ スピーカーの音量を調整できます。設定値が高いときは音量が大きくなり、設定値が低いときは音量が小さくなります。
- ⑥「エコモード」あるいは「電源オフサポートモード」を設定すると、消費電力を節約できます。(B-32 参照)
- ⑦ 電源を入れて始めに表示される画面を選択できます。(B-32 参照)
- ⑧ 表示言語を選択できます。(B-33 参照)

B



- ① 針元と縫製エリアのライトの明るさを調整できます。
- ② 液晶画面の明るさを調整します。(A-22 参照)
- ③ センサー機能の位置調整をします。(B-76 参照)
- ④ ミシンの前回のメンテナンス以降にぬわれた針数を表示します。
- ⑤ 本機でぬわれた累積針数を表示します。
- ⑥ お使いのミシンのプロダクトナンバーを示します。
- ⑦ プログラムのバージョンを示します。「バージョン1」は液晶画面のバージョン、「バージョン2」はミシンのプロ グラムバージョンです。

お知らせ

- ④⑤のカウンター数値は、ミシンの定期メンテナンスを受けられる時期の目安としてご利用いただけます。定期メンテナンスの時期については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- お使いのミシンには、出荷時の最新バージョンのプログラムがインストールされています。 当社ではプログラムの改善を継続的に行っております。 また、本製品にトラブルのあるときは、プログラムを新しくすることで解決できることがあります。 最新バージョンに関する情報(A-39参照)は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119番)」に問い合わせいただくか、ブラザーソリューションセンター(http://support.brother.co.jp/) で掲載される情報をご参照ください。

刺しゅうの設定

Hy Ly C		
	→ + 割しゅうの初期モード ⑦	
制に当うの枠表示		 割しゅうしつけ設定 300 - + 12
30cm × 20cm 4	+	↑ LEDポインター付き刺しゅう押え スタート 13
□ #123 ABC	()	
Embroidery	模样中一背景色	
	模様キーの大きさ	
■ 刺しゅうの糸調子調整 100 - + 50		
NUかうの押え高さ 語 ー 十 6		
	MUS 910 - 500	MUG 10 10
🗎 ? 📲 O 12:00	🗎 ? 💐 🗘 12:00	📄 ? 🔩 🗘 12:00

- ① 刺しゅうのときの枠表示を、20 通りの中から選択します。(E-34 参照)
- ② 刺しゅうの糸色表示を、糸番号、糸色名に切り替えます。(E-33 参照)
- ③ ② で糸番号を選択したとき、6 つの刺しゅう糸メーカーのいずれかを選択します。(E-33 参照)
- ④ 刺しゅうのときの速度を調節します。(E-32 参照)
- ⑤ 刺しゅうの糸調子を調整します。(E-30 参照)
- ⑥ 刺しゅう押えく W+ >の高さを調節します。(E-11 参照)
- ⑦ 初期画面を「刺しゅう」または「編集刺しゅう」のいずれかに設定します。(E-4 参照)
- ⑧ 模様表示エリアの背景色を選択できます。(B-33 参照)
- ⑨ 模様サムネイル表示の背景色を選択できます。(B-33 参照)
- ⑩ 模様サムネイルのサイズを選択できます。(B-34 参照)
- ⑪ 表示単位 (ミリ/インチ)を選択します。
- ⑫ 模様からしつけぬいまでの距離を設定します。(E-84 参照)
- 13 LED ポインター付き刺しゅう押えく W+ >のポインターの位置と明るさを調整できます。(B-65 参照)

B

■「エコモード」・「電源オフサポート モード」を選ぶ

「エコモード」あるいは「電源オフサポートモー ド」を選択して、消費電力を節約できます。 本機の電源を入れたまま使用せず、設定した一定 時間を過ぎると、以下のモードになります。

エコモードのとき

本機はスリープモードになります。もう一度操作 するときは、画面に触れるかスタート/ストップ スイッチを押してください。

電源オフサポートモードのとき

本機は設定した一定時間をすぎると省電力状態にな ります。電源スイッチをいったん「切」にして、も う一度電源「入」にしてから再び使用してください。

状態	エコモード	電源オフサポート モード
設定できる時間	OFF、10~120分	OFF、1 ~ 12 時間
▲表示	緑の点滅	緑のゆっくりした点 滅
停止する機能	ミシンライト、画面 表示、LED ポイン ター、ガイドライン マーカー	すべての機能
再起動時	停止時の操作から再 スタート	電源スイッチを 「切」にする

【 ┃ (スタート/ストップスイッチ)を押すか、画 面に触れると、これらのモードから復帰できます。

■■を押します。

→ 設定画面が表示されます。

└── を押します。

→ 共通の設定画面が表示されます。

設定画面の P.5 を表示します。





■ USB マウス使用時のポインターの 形を選択する

USB マウス使用時に設定画面でポインターの形を 選択することができます。背景画面の色に合わせ て、3種類のポインターからいずれかを選択して ください。

P お知らせ

- 背景色の変え方については、B-33の「刺 しゅう模様の背景色を変える」を参照して ください。
- ■■を押します。
 - → 設定画面が表示されます。
- 🖉 を押します。 2
 - → 共通の設定画面が表示されます。
- 設定画面の P.4 を表示します。
- ▲または ▶を押して、3つのポインター 4 (▶、▷、▶)のうち1つを選択します。

↓ 針位置 - 上/下	
↓ ↓ 針位置 - ぬい位置	ON OFF
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	▶ ● ▶
・ 上糸・下糸センサー	ON OFF
「「」」 スピーカーボリューム	6 - +

5

X

■しるを押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

 本機の電源を切ったあとも、設定は残りま す。

■ 記動画面を選ぶ

本機の電源を入れたあとの最初に表示される画面 を選択することができます。

■を押します。

- → 設定画面が表示されます。
- 🚈 を押します。 2
 - → 共通の設定画面が表示されます。
- 設定画面の P.5 を表示します。 3

お願い •「エコモード」あるいは「電源オフサポート モード」のときに本機の電源を消した場合、 5秒ほど待ってから、もう一度電源を入れ てください。

B

ぬう前の準備





■ 模様サムネイルのサイズを変える

模様サムネイルのサイズを大・小のいずれかから 選択できます。大きいサイズは、小さいサイズの

1/5

V

1/12

T


ぬう前の準備

B

ミシンヘルプキーを使う 🖃 ?

?を押すと、ミシンヘルプキー画面が表示されます。下の画面から、3つの機能を使用できます。



- 1 上糸通し、下糸巻き、押えの交換、刺しゅうの準備など、ミシンの使い方についての説明を見るときに押します。 (B-39 参照)
- ② 実用ぬいの模様で、実際のぬい方がわからないときに押します。(B-37 参照)
- ③ 選択中の模様の説明を見るときに押します。(B-38 参照)

操作ガイド機能を使う

(1)を押すと、画面上段に 6 つの項目が表示されます。詳しい内容を知りたい項目のキーを押します。











6 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿の間 に右回りに糸をかけ、しっかり奥まで入れ ます。



- ① 下糸巻き案内
- → 糸が皿の下を通っていることを確認してください。



- ② 下糸巻き案内
- ③ しっかり奥まで入れます。
- → 糸が下糸巻き案内の皿の間にしっかり入っている ことを確認してください。
- 図のようにボビンに糸を右まわりに5~6回 巻きつけます。



8 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、図のように右へ糸を引き、カッターで糸を切ります。



ガイドミゾ(カッター付)
 ボビンの受け座



9 ボビンホルダーを左へカチッと音がするま で押します。



- ① ボビンホルダー (スイッチ)
- お知らせ
 ・ボビンホルダーを左へ押すと、下糸巻き モードになります。
 - → 下糸巻き画面が表示されます。









 ・ボビンをセットする方向が、針板周辺に刻 印されています。そちらもあわせて見てく ださい。

お知らせ

- 5 図のように、右手でボビンを軽く押さえながら、ミゾにそって糸を通します。(①、
 2)
 - * このとき、ボビンが左回りに軽く回ることを確認 してください。

そのあと、手前に引きカッターで糸を切り ます。(③)



① ミゾ ② カッター(カッターで糸を切ります。)

内かまの板バネの間に確実に糸が入ってい ることを確認してください。糸が正しく 入っていない場合は、もう一度糸を通しな おしてください。



① 板バネ





 \bigcirc

 \bigcirc

















ウォーキングフットの操作レバーのふたま た部で針のとめネジの棒をはさむようにし て、ウォーキングフットを押え棒に合わせ ます。ウォーキングフットの軸を押え棒に 取り付けたアダプターに合わせます。



- ① 操作レバー
- ② 針のとめネジの棒
- ③ ふたまた部
- ④ ウォーキングフットの軸
- ⑤ アダプター





針の交換

以下の注意を守らないと非常に危険です。よく読ん で、必ず守ってください。 仕上がり良くぬい上げるためには、ブラザー純正のミ シン針(HA × 1)を推奨します。



2 💵 🖸 を押して、キーと操作スイッチを

* 「押えが自動で下がります。よろしいですか?」

ロックします。



針と布について

針について

ミシン針はミシンの部品の中でも最も重要と言えます。正しい針を選べば、縫製の仕上がりが美し く、また、トラブルが少なくなります。以下の針に関する注意事項を参照の上、正しい針を使用して ください。

- 針は数字が小さいほど細くなります。数字が大きくなると、針は太くなります。
- 細い針は薄手の布地に使用し、太い針は厚手の布地に使用してください。
- ぬい目がとぶのを防ぐために、伸縮性のある布地をぬうときは、ニット用針を使用してください。
- ぬい目がとぶのを防ぐために、文字・飾り模様をぬうときは、ニット用針を使用してください。
- 刺しゅうには、11番の針を使用してください。アルファベットのような、短い渡り糸のある模様に自動糸切り機能を設定して刺しゅうするときは、ボールポイント針(刺しゅう用)を使用してください。
- 14番の針は、厚手の布地や接着芯が貼られた布地(デニムやパフィーフォームなど)に刺しゅうするときに使用してください。11番の針でぬうと、針が折れたり曲がったりして、けがをするおそれがあります。

布地と糸の種類による針の使い分け

ミシン針は布地や糸の太さによって使い分けます。次の表を参考にして、布地に合った糸と針を選ん でください。

左地の特徴、孫海		ミシン糸		社の話粘
111元の141数・	作里大只	種類	ち太	1007里沢
普通地	ブロード	綿糸	$60 \sim 90$	$11 \sim 14$
	タフタ	合繊糸		
	フラノ、ギャバシン	絹糸	50	
薄地	ローン	綿糸	$60 \sim 90$	$9 \sim 11$
	ジョーゼット	合繊糸		
	ポーラ	絹糸	50	
厚地	デニム	綿糸	30	16
			50	$14 \sim 16$
	コーデュロイ	合繊糸	$50\sim 60$	
	ツィード	絹糸	1	
のびる布地	ジャージ	ニット用糸	$50\sim 60$	ニット用 11 ~ 14
	トリコット			
ほつれやすい布地		綿糸	$50 \sim 90$ $9 \sim 14$	
		合繊糸	1	
		絹糸	50	
ステッチ糸の場合		合繊糸	30	16
		絹糸	$50\sim 60$	$14 \sim 16$

お知らせ

- 透明のナイロン糸を使用するときは、14~16番の針を使用してください。通常は、上糸と下糸には同じ糸を使用します。
- 糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きいほど太くなります。
- 伸縮性のある布地や目がとびやすい布地を使用するときは、ニット用針を使用してください。

▲ 注意

布地と糸と針の組み合わせは、上記に従ってください。組み合わせが適切でない場合、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因になります。特に厚い布地(デニムなど)を細い針(9~11番)でぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

お願い 4

• 20 番以下の太い糸は使用しないでください。故障の原因となります。

刺しゅうの準備

刺しゅうの手順

刺しゅうの手順は次のとおりです。



手順	目的	操作	参照ページ
1	押えの取り付け	刺しゅう押えく W + >を取り付けます。	B-63
2	針の確認	家庭用ミシン針 (HA × 1) の 11 番を使用します。*	B-60
3	刺しゅう機の取り付け	刺しゅう機を取り付けます。	B-66
4	下糸のセット	刺しゅう用下糸を巻いて下糸をセットします。	B-40
5	布地の準備	接着芯を貼った布地を刺しゅう枠に張ります。	E-11 ~ E-16
6	模様の選択	電源スイッチを入れ、刺しゅう模様を選びます。	E-3
7	刺しゅう枠の取り付け	刺しゅう枠を刺しゅう機にセットします。	E-17
8	レイアウトの確認	刺しゅうの大きさと位置を確認します。	E-19
9	上糸のセット	模様に合わせて上糸をセットします。	E-21

* 厚地や芯地(デニムなど)に刺しゅうをする場合は、家庭用ミシン針 (HA × 1) の 14 番を使用してください。アルファベットのよう な、短い渡り糸のある模様に自動糸切り機能を設定して刺しゅうするときは、ボールポイント針(刺しゅう用)を使用してください。





■ LEDポインター付き刺しゅう押え < W+ >を使って針落ち位置を確 認する

LED ポインター付き刺しゅう押えく W+ >を使う 前に、「刺しゅう」「編集刺しゅう」の説明をよく お読みのうえ、操作を始めてください。

→ LED ポインターが針落ち位置を示します。



- こを押すと、自動的に押えの高さが布の 厚さに合わせて調整されます。
- こをもう一度押すと、布の厚さを再度測 り、押えが適切な高さに調整されます。
- * 押えを下げたり、前の画面に戻ったりすると、 LED ポインターは自動で消えます。
- 厚みのある伸縮性の布地を使うと、ふくらんだ部分では針落ち位置が正しく表示されません。このときは、布地の厚みに合わせて、手動で位置を合わせてください。
- キルト布のように、表面の凹凸が大きい布 地を使用するとき、針落ち位置は正しく表 示されません。この場合、LED ポインター の位置は、目安としてご覧ください。







3 取り外しレバーを押しながら、刺しゅう機 をゆっくりと抜きます。



① 取り外しレバー



B

ミシンに付属品を接続して使う機能

市販の USB メディアや付属の カードリーダーを使う



- ① メディア/マウス用の USB ポートコネクタ
- ② USB メディア



① マウス/メディア用の USB ポートコネクタ
 ② カードリーダー

- すると、ミシンが誤作動するおそれがあり ます。 • 本機に接続したカードリーダーに刺しゅう
- カードを入れて、刺しゅうカードに模様を保存することはできません。

🏹 お知らせ

- 一部の USB メディアは、このミシンで使用 できない場合があります。詳細は、ブラ ザーソリューションセンター (http://support.brother.co.jp/) をご覧ください。
- USB メディアの種類によって、ミシンの USB ポートコネクタに直接差し込むか、ミ シンの USB ポートコネクタに USB カード ライター/リーダーを差し込みます。

パソコンにミシンを接続する

付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続 できます。

以下に示すパソコンの種類と **OS** が使用できます。

対応機種:

USB ポートコネクタ標準装備の IBM-PC またはその 互換機

• 対応 OS: Microsoft Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8



- ① パソコンの USB ポートコネクタ
- ② USB ケーブル



USB マウスを使う

ミシンに接続した USB マウスで、さまざまな画 面操作ができます。

- お知らせ
 - 別売の USB マウス以外のものを接続した場合、本書にて説明している操作ができない場合があります。



- ① マウス/メディア用の USB ポートコネクタ
 ② USB マウス
- はののです。

 ・マウスでの操作をしながら、同時に指や付属のタッチペンで画面を押さないでください。
 - USB マウスはいつでも抜き差しできます。
 - マウスの左ボタンとホイールのみ、操作に 使用できます。ほかのボタンはミシンで使 用できません。
 - オープニング動画では、マウスポインター は表示されません。

■ キーをクリックする

マウスをミシンに接続すると、画面にポインター が表示されます。操作したいキーの上に、マウス を使ってポインターを移動させて、左クリックし てください。



① ポインター

■ ページを変える

画面にページ番号とスクロールバーが表示されて いるときは、複数のページがあります。ポイン ターを ◀ / ▶ あるいは ▲ / ▼ に置いて左ク リックし、前後のページを表示させてください。

ぬう前の準備



デュアルフィード押えを使う

デュアルフィード押えを使えば、針板や押えに 貼りついてぬいにくい布(ビニール素材、革、 合成皮革など)や、ぬいずれしやすい布(キル ト生地など)でもきれいに仕上がります。

と お願い

↓ デュアルフィード押えを使うときは、中速 か低速でぬってください。

🔎 お知らせ

 デュアルフィード押えを取り付けていると きは、使用できる模様だけが選択できます。

 お互いに貼りつきやすい布地をぬうときは、 ぬいはじめにしつけぬいをすると、きれい に仕上がります。

■デュアルフィード押えを取り付ける

- Ⅰ B-63 の「LED ポインター付き刺しゅう押え < W+ >を使う」の手順 1 ~ 5 を参照 してください。
- 2 押え棒のネジ(大)にデュアルフィード押 えのミゾを合わせて取り付けます。

側面















チのロックを解除します。

→ すべてのキーとスイッチのロックが解除され、元の画面が表示されます。

■デュアルフィード押えの押え足を取り付ける/取り外す

押え足のピンを本体の切り欠きに合わせて取り付け、カチッとなるまで押し込みます。



① ピン ② 切り欠き

デュアルフィード押えの先端を押さえると、押え 足の部分が外れます。




B

B基本機能編

第2^章 センサー機能

センサーペンを使った便利な縫製機能73
センサーペンを接続する
センサーペンホルダーを使う
センサーペンを使う 75
センサーペンを使う75
センサーペンについての重要な注意事項
センサーペンの調整をする76
センサー機能(実用ぬい・文字/飾りぬい)78
 センサー機能エリアの説明
センサーペンでガイドラインマーカーの位置を設定する78
センサーペンで針落ち位置を設定する
センサーペンで振り幅と縫製位置を設定する
センサーペンでぬい終わり位置を設定する
■ 前回の設定をもう一度呼び出す
センサー機能(刺しゅう/編集刺しゅう) 87
センサーペンで刺しゅう位置を設定する
■ 辺を基準に刺しゅう位置を選択する88
■ 中心点を基準に刺しゅう位置を選択する89

センサーペンを使った便利な縫製機能

センサーペンを使った4つの機能

- ガイドラインを設定して、縫製位置のめやすに する
- 直線ぬいの針位置を設定する
- ジグザグの振り幅と L/R シフトの設定をする
- 模様のぬい終わり位置を設定する







- ゆい終わり位置を設定するとき、模様の途中で終わらないようにぬい目の長さを自動で調整できます。
- ② ジグザグの振り幅と縫製位置の設定が簡単です。

センサーペンを接続する

センサーペンをミシンに接続するとき、センサーペンコネクタの矢印が真上にある向きで、ジャックにしっかり と差し込んでください。



センサーペンジャック
 センサーペンコネクタ





3 センサーペンのペン先が下に向くように、 センサーペンホルダーに取り付けてから、 センサーペンをミシンに接続します。



センサーペンを使う

センサーペンを使う

センサーペンを持ち、設定したい場所をタッチ します。センサーペンのペン先が押し込まれた とき、位置情報がミシンに送られます。

センサーペンを使用するときは、ゆっくりと優しくタッチすると確実に動作します。



1) タッチ:センサーペンで設定したい場所をタッチして、すぐにペンを持ち上げます。
 2) ロングタッチ:センサーペンで設定したい場所をタッチする際、1秒以上押したままにすると、選択した操作が確定されます。

お願い センサーペンで一度タッチすると、入力情報が画面に表示されるので、次の操作を続けてください。 何度も続けて同じ場所をタッチし続けると、 情報を正しく認識しないおそれがあります。

 センサーペンのペン先をタッチしたまま横 へ移動させないでください。ペン先が欠け るおそれがあります。

お知らせ も、たい、たので

 センサーペンを画面上でタッチペンとして 使うこともできます。

センサーペンについての重要な 注意事項

センサーペンからミシンに向かって信号が送られ、センサーペン受信部が信号を受け取ることによって、位置情報が設定されます。



① センサーペン受信部

② センサーペンから超音波信号が送られます。





- 手や布地などのものをミシンとセンサーペンとの間に入れると、センサーペン受信部がセンサーペンからの超音波を受信できなくなります。
 - 本機を、超音波や振動波を出力する他の 製品の近くで使用しないでください。誤 動作のおそれがあります。

B



5 センサーペンで1つ目の緑の点をタッチします。



* 針板カバーをタッチします。



- ① 針板カバー
- * 操作音が鳴り、● の点が赤くなります。 (操作音が聞こえないときは、設定画面の P.4 で、 音量の設定値が1以上であることを確認してくだ さい。)
- * **++>th** キーを押すと手順 **4** からやり直すことが できます。





* 図の位置をタッチします。





1 補助テーブル
 2 刺しゅう機

7 ▲を押して調整を完了します。調整を 続けるときは、センサーペンでもう一度1 つ目の点をタッチして、手順⑤からもう 一度操作します。



* **キャンセル**を押すと、調整の途中で元の画面に戻ります。

* 📀 を押すと、調整がリセットされます。

センサー機能(実用ぬい・文字/飾りぬい)

センサー機能を使う前に、「実用ぬい・文字/飾りぬい」の章をよく読んで、ミシンの操作をよく知ってください。センサー機能はセンサーペンを使って操作します。

センサー機能エリアの説明

実用ぬい・文字/飾りぬいモードでセンサーペ ンを使うとき、タッチする範囲によって異なる 操作ができます。



1	中基線	中基線の模様の縫製位置
2	設定範囲	 から左右約 3.5mm ずつの範囲。ガイド ラインマーカーを使用中は、左右約 7mm になります。 センサーペンでタッチして、位置を設定 できます。
3	調整エリア(右)	タッチ: 一回タッチするごとに、設定値 が 0.5mm ずつ大きくなります。② で タッチして位置を設定したあとに微調整 ができます。 ロングタッチ: ② で位置を設定後、ある いは ③④ で位置調整した後に、ロング タッチすると設定を決定できます。
4	調整エリア(左)	タッチ:一回タッチするごとに、設定値 が 0.5mm ずつ小さくなります。② で タッチして位置を設定したあとに微調整 ができます。 ロングタッチ:③ のロングタッチと同様 に、設定を決定できます。
5	センサーペンの有効範囲は、針落ち点の手前 200mm と、中 基線を中心にした左右 130mm です。	

⊘ お知らせ

- 設定範囲と調整エリアの間に境界エリアが あり、そこをタッチすると最小値あるいは 最大値をワンタッチで設定できます。
- 境界エリアは、ガイドラインマーカー位置 設定時は 6.5mm 幅、そのほかの場合は 10mm 幅です。

センサーペンでガイドライン マーカーの位置を設定する

これからぬう位置を、ガイドラインマーカーの 赤いライトで示すことができます。 ガイドラインマーカーの位置は、お好みで設定 することができます。

(実用模様 1-01 直線(左基線)の場合の例)









→ センサー機能選択画面が表示されます。

4 🚺 を押します。



→ ガイドラインマーカー位置設定画面が表示されま す。



- さい。 - センサーペンで調整エリアをタッチして、 0.5mm ずつ位置調整をできます。
- 手順 6 を参照に、ガイドラインマーカー 目盛り表示を使って位置調整できます。

- 6 ◎▲ を押して、ガイドラインマーカー位 置設定を完了します。
 - * 設定は調整エリアをセンサーペンでロングタッチ しても確定されます。



- → 模様選択画面に戻り、ガイドラインマーカー目盛 り表示の設定値がセンサーペンで設定した位置に 変わります。
- → ガイドラインマーカーの点滅が止まります。

🎧 お知らせ

針落ち位置、ジグザグの振り幅や縫製位置を設定する際に、ガイドラインマーカーが移動します。
 針落ち位置、ジグザグの振り幅や縫製位置の設定が終わって元の画面が表示されると、ガイドラインマーカーは設定した位置に戻ります。

B



4

- * 設定は調整エリアでセンサーペンでロングタッチ しても確定されます。
- → 針が設定した位置に移動して、縫製の準備をしま す。
- → ガイドラインマーカーの点滅が止まります。
- → 模様選択画面に戻り、模様の幅の設定値がセン サーペンで設定した値に変わります。



センサーペンで振り幅と縫製位 置を設定する

ジグザグの振り幅と L/R シフト設定を変更でき ます。





単 閉じる		***	<u>.</u>
Ē	?	St 🖓	12:00

→ 振り幅設定画面が表示され、ジグザグの左側でガ イドラインマーカーが点滅します。



→ タッチした位置にガイドラインマーカーが移動 し、点滅します。 B



1/3

刻

D

Ē V

200000

40 +

12:00

Š ş

55

1-10

Š

1-14

YANA ζ M i Q

<u> 1</u> | | | |

-0.50

Si 🗘





模様ぬい終わり設定キー



+

78.1mi 3.07³³

→ 現在の針位置から、設定したぬい終わり位置まで の長さが表示されます。

36.8 mm 1.45"

②

ок

B

 ぬい終わり位置を正確に設定するために、 センサーペンを使ってぬい終わり位置を2 回タッチします。1回目と2回目で同じ位 置をタッチしてください。

 1回目にタッチしたぬい終わり位置と、2回 目にタッチしたぬい終わり位置が同じでな い場合は、以下のメッセージが表示されま す。正しく設定しなおしてください。



╺∝ を押して、ぬい終わり位置の設定を 完了します。

* 設定は調整エリアをセンサーペンでロングタッチ しても確定されます。

もう一度ぬい始めます。

ミシンは設定したぬい終わり位置で自動的に停止



センサー機能(刺しゅう/編集刺しゅう)

センサー機能を使う前に刺しゅう/編集刺しゅうの章をよく読んで、ミシンの操作をよく知ってください。

7

センサーペンで刺しゅう位置を 設定する

センサーペンを使って、刺しゅうの位置を希望 の位置に設定することができます。刺しゅう、 編集刺しゅうのどちらのモードでも使える機能 ですが、ここでは、刺しゅうモードでの操作で 手順を説明します。

操作中、「刺しゅうキャリッジが動きます。刺 しゅうキャリッジの近くから物を離し、手を近 づけないようにしてください。」というメッセー ジが表示されたときは、安全を確認してから



- 3 刺しゅうする模様のカテゴリーを選択します。
- 4 模様選択画面で、刺しゅうする模様のキー を押します。



- 6 布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミ シンに取り付けます。
 - → E-13 の「刺しゅう枠に布地を張る」、E-17 の「刺 しゅう枠をセットする」参照



⊘ を押します。

→ お好みの範囲を選んで、 or を押すと、以下の メッセージが表示されます。(LL 枠を使用してい る場合のみ)



8 □к を押します。	3 画面の辺の ● の角にあたる布地の上の点 を、センサーペンでタッチします。
 そ動や回転が元に戻りますがよるしいですか ? 	位置合わせするポイントと方向を、 画面上の1点目、2点目の順に センサーベンを使用して 生地上でタッチしてください。
	 1 1 1 1 1 1 1 1 4 4 4 5 4 4 5 4 4 5 4 4 5 4 4
 * 布地の上の模様や印に、刺しゅうの端を合わせたい場合は、辺を選択してください。ぬいたい刺しゅうの中心点が分かっているときは、中心位置を選択してください。 ■ 切を其進に刺しゅう付置を選択する 	 ② 模様の位置 ④ 画面の辺の ❷ にあたる布地の上の点を、センサーペンでタッチします。
■ ととを、中にようじゅう 位置 と とがく うる 画面の から基準としたい位置の辺を 画面上でタッチします。 位置合わせしたい中心位置、 ましくけ動しゅうの辺を	位置合わせするポイントと方向を、 画面上の1点目、2点目の順に センサーベンを使用して 生地上でタッチしてください。
■面上のキーで選択してください。 ■面上のキーで選択してください。 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
を押します。	 ① 模様の外周を四角く結んだ範囲 ② 模様の位置 5 定 を押して、位置を調整します。 → 位置の調整が不要な場合は、手順 9 に進みます。

B

2

センサー機能







ここでは、実用ぬいのさまざまな機能を紹介しています。基本的な縫製だけでなく、筒ぬいやボ タンぬい、または文字・模様ぬいなど、本機をもっと活用したいときの詳しい操作方法を知るこ とができます。 ページ数は、「**S**」の記号で始まります。

第1章 基本のぬい方	S-2
第2章 実用模様	S-20
第3章 文字・模様ぬい	S-76
第4章 マイイラスト機能	S-102

S 実用ぬい/文字・模様ぬい編

_第1章 基本のぬい方

基本のぬい方 3
ぬってみましょう
 ■ 0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合
模様の設定10
ジグザグの振り幅を開節する
ジグザグの振り幅を開節する

基本のぬい方



針を上げます。





→ 画面の左上に正しい押えが表示されます。

3 押えを取り付けます。(「基本機能編」の 「押えの交換」参照)





5 (山)(押え上下スイッチ)を押して押えを 下げます。

* 下糸を引き出す必要はありません。

基本のぬい方



S

基本のぬい方



実用ぬい/文字・模様ぬい編 S-5



(返しぬいスイッチ)、または● (止めぬい スイッチ)を押したときのミシンの動きは、そ のとき選択している模様によって異なります。 それぞれのスイッチを押したときのミシンの動 きについて詳しくは、次の表の説明を参照して ください。

	返しぬいスイッチ	止めぬいスイッチ
	Ît	0
実用模様 + 1	ミシンが模様をぬい	ミシンが模様をぬい
1-01 1-03 1-09	始め、 (返しぬい	始め、 • (止めぬい
	スイッチ)を押して	スイッチ)を押して
	をします。	めぬいをします。
実用模様 + 1	ミシンが模様をぬい	ミシンが模様をぬい
	始め、 (ほ)(返しぬい	始め、 🕒 (止めぬい
	スイッチ)を押して	スイッチ)を押して
	をします。	めぬいをします。
	設定画面の P.3 で	
	「止のぬい優先設定」 を「ON」にしている	
	場合は、返しぬいの	
	行います。	
実用模様 +	ぬい始めとぬい終わ	ぬい始めに返しぬい、
1-01 1-03 1-09	す。	いをします。
	ぬい始めに止めぬい。	ぬい始めとぬい終わ
実用模様	ぬい終わりに返しぬ	りに止めぬいをしま
	いをします。 設定画面の P.3 で	9 .
	「止めぬい優先設定」	
	を「ON」にしている 場合は、ぬい終わり	
	に返しぬいの代わり	
	す。	
文字模様ぬい 十 🕞	ミシンが模様をぬい	ミシンが模様をぬい
	始め、(∩)返しぬい	模様を完成させたあ
	スイッチ)を押して	とで止めぬいをしま す
	します。	
文字模様ぬい	ぬい始めに止めぬい	ぬい始めに止めぬい をし、めい終わりに!
	をし、〔〕(返しぬい	模様を完成させたあ
	スイッチ)を押すと	とで止めぬいをしま す。
	します。	-

* (1)は自動止めぬい設定時の表示、(1)は自動 止めぬいを解除しているときの表示です。

カーブをぬう

ぬい目を布端と平行になるように、ミシンを止 めて少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



ぬい方向を変える

方向を変える位置でミシンを止めます。針を布 にさしたまま (押え上下スイッチ)を押し て押えを上げます。針を軸にして布地を回し、 ぬい方向を変えたあと、 (小(押え上下スイッ チ)を押して再び押えを下げてぬい始めます。



ぬい方向を変えるときは、ピボット機能を有効 にしておくと便利です。布の角でミシンを止め たときに、針が布に刺さった状態で止まり、押 えが自動的に上がるため、布を回しやすくなり ます。(S-16の「ピボット」)

■ 0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合

角部にしつけ糸をつけ、方向を変えたらしつけ糸 を後ろに引っ張りながらぬいます。



① 0.5 cm

S

厚い布地をぬう

このミシンでは、厚さが約 6mm までの布地をぬ うことができます。布地の厚みで布地に段差が できるときは、手で布を送りながらぬい、下り 方向になるようにぬってください。



▲ 注意

- 6mm 以上の厚地をぬったり、無理に布 地を押しこんだりすると、針が折れけが をするおそれがあります。
- 厚い布地ほど太い針を使用してください。(「基本機能編」の「針と布について」参照)

■ 押えの下に布地が入らない場合

押えレバーは2段階に上がります。厚地の重ねぬ いなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに 押し上げると、押えがもう一段上がり布地が入れ やすくなります。



🖉 お知らせ

• (押え上下スイッチ)を押して押えを 上げた後は、押えレバーは使用できません。

■ 布地が送られない場合

ぬい始めに布地が送られないときや布地に段差が あって送られない場合は、ジグザグ押え<J>の 左側の黒いボタンを使います。

- 押えレバーを上げます。
- ジグザグ押えくJ>を水平に保持して、左 側の黒いボタンを押したまま、(ユ)(押え 上下スイッチ)を押して押えを下げます。







→ 押えが水平になり、布が送られます。

🏹 お知らせ

- ┛•ぬい進めると押えはもとに戻ります。
- 設定画面で「自動押え圧補正」を ON にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。スムーズに布送りでき、きれいに仕上げることができます。(詳細は、S-18 を参照してください。)



お知らせ

• "マジックテープ®"は、株式会社クラレの、面ファスナーの登録商標です。



- 面ファスナーは、のりが付いていない縫 製用のものを使用してください。のりが 針やかまに付着すると、故障の原因とな ります。
- 面ファスナーを細い針(9~11番)で ぬうと、針が折れたり曲がったりするお それがあります。



プーリーを手で回して面ファスナーに針をさし、 針がスムーズに通ることを確認してから、面 ファスナーの端を低速でぬいます。

針が通らない場合は、厚地用の針と糸に交換し てください。(「基本機能編」の「布地と糸の種 類による針の使い分け」参照)



① 面ファスナーの端

薄い布地をぬう

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけ たり、布地の下にハトロン紙などの薄い紙、ま たは刺しゅう用の芯をしいてぬうと、ぬいやす くなります。紙や芯をしく場合は、ぬい終わっ た後にていねいに取り除きます。



① ハトロン紙など

伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らない ようにぬいます。

また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使 用すると、きれいにぬうことができます。

🖉 お知らせ

 伸びる布地は、押え圧を弱くするときれい に仕上がります。(「基本機能編」の「設定 キーを使う」参照)



① しつけ

S

模様の設定

ジグザグの振り幅やぬい目の長さ、L/Rシフト設定、上糸調子は、あらかじめ模様ごとに標準値に設定されています。この設定は、必要に応じて変えることができます。

あ知らせ

- [↓] 模様によっては、設定を変えられないものがあります。 (**S-67** の「ぬい方早見表」参照)
 - 模様の設定を保存せずに(S-22の「模様の設定を記憶する」)、ミシンの電源スイッチを切ったり、 他の模様を選択すると、標準の設定に戻ります。



S

基本のぬい方

例:

ぬい目の長さの-を押すごとに表示の数値が小 さくなり、ぬい目が細かくなります。





ぬい目の長さの**+**を押すごとに表示の数値が大きくなり、ぬい目があらくなります。



→ 表示の数値が大きくなります。

- 🔎 お知らせ

 - ●を押して表示される画面で ◆ を押す と、標準の設定に戻ります。



ぬい目の基線位置を変える - L/R シフト設定-

L/Rシフト設定を使って、ぬい目の基線を左右 に移動することができます。ここでは、ジグザ グ模様を例にして説明します。



例:

L/R シフトの - を押すごとに、ぬい目の基線が 左に移動します。





→ 表示の数値がマイナス(-)の表記になります。 L/R シフトの+を押すごとに、ぬい目の基線が 左基線よりも右側に移動します。





糸調子を調節する

通常は、布地や糸の種類に関係なく、自動的に 標準の糸調子が取れるように設定されています。 布や糸の種類によって、糸調子を調節してくだ さい。



■ 正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。布地 の表に出るのは上糸だけで、布地の裏に出るのは 下糸だけになります。



- ① 裏
- ② 表
- ③ 上糸
- ④ 下糸

■上糸が強すぎる(下糸が表に出る) 場合

下糸が布地の表に出る場合は、上糸の糸調子が強 すぎます。

、 より お願い

 下糸が正しくセットされていないと、上糸 が強くなることがあります。上糸が強いと きは、下糸のセットを再度行ってください。
 「基本機能編」の「下糸をセットする」を参 照してください。



- ① 下糸
- ② 上糸
- ③ 表
- ④ 上糸が強いと上糸と下糸の重なりが表にできます。

糸調子の - を押します。押すごとに表示の数値が 小さくなり、上糸が弱くなります。

お知らせ

 ぬい終わったとき、針板ふたを外して糸が 下図のように見えることを確認してください。糸が下図のようにならないときは、内 かまの板バネの間に下糸が入っていません。 下糸を正しく入れなおしてください。「基 本機能編」の「下糸をセットする」参照。



■上糸が弱すぎる(上糸が裏に出る) 場合

上糸が布地の裏に出る場合は、上糸の糸調子が弱 すぎます。





- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 裏
- ④ 上糸が弱いと上糸と下糸の重なりが裏にできます。

糸調子の**+**を押します。押すごとに表示の数値が 大きくなり、上糸が強くなります。

- お知らせ
 - ■を押して表示される画面で ≥ を押す と、標準の設定に戻ります。

便利な機能

自動糸切りをする

模様を選んだときに自動糸切りを設定しておく と、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬい (模様によっては返しぬい)をして、ぬい終わり に自動的に糸を切ります。ボタン穴かがりやか んどめをぬうときに便利です。



模様を選びます。



→ 表示が、 💦 に変わります。

3 布地をぬい始めの位置に置き、ぬい始めま す。



- ① 返しぬい (または止めぬい)
- → 自動的に返しぬい(または止めぬい)をしてぬい 始めます。

えん お知らせ

ぬっている途中で

 (スタート/ストップスイッチ)を押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい(または止めぬい)をしません。





- ① 返しぬい (または止めぬい)
- → 自動的に返しぬい(または止めぬい)をして糸を 切ります。



自動糸切りを解除するときは、もう一度
 を押します。表示が % に変わります。




基本のぬい方





針位置 - ぬい位置

「針位置 - ぬい位置」が設定されているときは、 ぬい始めの針落ち位置を確認するために、針が 布地にささるギリギリの高さでいったん止まる ので、もう一度(↓)(針上下スイッチ)を押し て針が完全に布地にささるまで下げてください。

↓)(針上下スイッチ)を押すたびに針位置が 変わります。

「針位置 - ぬい位置」の設定を解除しているとき ↓)(針上下スイッチ)を押すたびに、針位 置は布地の上下どちらかで切り替わります。

① 設定が「ON」のとき ② 設定が「OFF」のとき



(針上下スイッチ)を押して、針が下がりか けた状態のとき、送り歯が下がるので、布地を動 かして針落ち位置を細かく合わせることができま



■を押します。 → 設定画面が表示されます。

3

「針位置 - ぬい位置」を押して、「ON」また は「OFF」にします。



画面をロックする

ジグザグの振り幅やぬい目の長さなどの設定を ロック(固定)することができます。大きな布 や作品をぬう場合に、布が画面に触れて設定が 変わったり、途中でミシンが止まったりするこ とを防ぎます。実用模様と文字模様ぬいのとき に設定できます。

模様を選びます。

- ジグザグの振り幅やぬい目の長さなどを設 定します。
- ₃ 🗇を押して、画面をロックします。
 - → 表示が 🗊 に変わります。
- 👍 ぬい始めます。

▲ 注意

- 画面ロック()
)を解除するには、
 を押します。
 画面がロックされると、
 キー操作はできません。
- 電源スイッチを切ると、画面ロックは解除されます。

S 実用ぬい/文字・模様ぬい編

_第2章 実用模様

実用模様の選び方 21
 模様を選ぶ
■ 模様を左右反転するには
■ イメージキーを使用する
候体の設定を記憶する - - - - - - - - - - - - -
■ 倶像の設定を記述する22 ■ 記憶した設定を呼び出す
いろいろなぬい方 24
直線ぬい
■ 針位置の変え方(左基線・中基線の模様)25
■ 針板や針板ふたの目盛りを基準にする場合
■ 直続町似と直続押んを使用する場合
ダーツ
ギャザー
折り伏せぬい
ピンタック30
ジグザグぬい
■ たち目かがり(ジグザグぬい)
■ パッチワーク(クレイジーキルト)
■ カープをぬう場合(ジグザグぬい)
■ コードガイドふたを使用する(ジグザグぬい)32 点線ジグザグぬい
■ ゴムひもつけ
■ たち目かがり
■ たち目かがり拥えくG > を使うたち目かがり
■ ジグザグ押えくJ>を使うたち目かがり
キルトぬい
■ ビーシング
■ アップリケ
■ サテンぬいのキルト
■ フリーモーションキルト40 ■ エコーキルト押えくE>を使用して、エコーキルトをぬう43
まつりぬい
■ 針がかかりすぎているとき47
■ 計がかかっていないとき47 アップリケカい 48
● 急なカーブをぬう場合
■ 角をぬう場合
シェルタックぬい
スカラップぬい
つき合わせぬい
スモッキンクぬい
ファコティングぬい
コムひもつけ
ヘテルーム
■ ノョンーステッテ
■ ドロンワーク (2)
ボタン穴かがり54

ぬい方早見表	67
■ 脇あさ	64
■ つき合わせ	
ファスナーつけ	63
横送り (直線・ジグザグ)	62
アイレット	62
■ ボタン足をつけるときは	
■ 4 つ穴ボタンをつけるときは	

実用模様

実用模様の選び方



■ 模様を左右反転するには

実用模様の種類によっては、模様を左右反転する ことができます。

模様を選んだとき 🗥 が点灯すれば、その模様を

左右反転することができます。

お知らせ

• 模様を選んだときに、 加、 が灰色表示され る模様は、左右に反転することはできませ ん(ボタン穴かがり、横送り模様など)。

⊿↓を押すと、模様が左右に反転します。

キーの表示が、 🔼 に変わります。

例:







■ 記憶した設定を呼び出す

1 模様を選びます。

お知らせ

 模様を選択すると、前回呼び出された設定 が表示されます。この設定は、電源スイッ チを切っても、別の模様を選択しても、そ のまま残ります。

2 🗆 を押します。

→ メモリー機能画面が表示されます。

- を押します。
- 4 呼び出す設定の番号の付いたキーを押しま す。
 - * 関しる を押すと、設定を呼び出さずに元の画面に 戻ります。



① 番号の付いたキー

5 🖃を押します。

→ 設定が呼び出されます。 ■ ● を押すと、元の画 面に戻ります。

🔎 お知らせ

- すでに5セットの設定を記憶している模様に対して新しい設定を記憶する場合は、まずででを押します。次に、削除する設定の番号が付いたキーを押します。
 でを押したあと、 Mus を押してからですを押します。
 新しい設定は、直前に削除した設定の番号に保存されます。

]模様

いろいろなぬい方

直線ぬい

ぬい模様について詳しくは、**S-67** を参照ください。

ぬい方	名前	押え
1-01 	直線(左基線)	
1-02	直線(左基線)	
1-03	直線(中基線)	
1-04	直線(中基線)	
1-05	3 重ぬい	
1-06 4 7 7	伸縮ぬい	
1-07 	飾りぬい	
1-08 	しつけぬい	

① 左基線
 ② 中基線
 ① 返しぬい
 ② 止めぬい

🏹 お知らせ

 返しぬいと止めぬいについて詳しくは、
 S-5 の「返しぬい/止めぬいをする」を 参照してください。

模様を選びます。



- シグザグ押えくJ>を取り付けます。
 - * ¹⁻⁹⁷を選択したときは、模様ぬい押え< N >を取 り付けます。
- 3 左手で糸と布地を押さえ、右手でプーリー を手前に回して、布のぬい始めの位置に針 をさします。



① ぬい始めの位置

4 押えを下げ、(↓) (返しぬいスイッチ) また は○ (止めぬいスイッチ) を押しながら 数針返しぬいをします。

→ 自動的に返しぬい (または止めぬい) をします。





実用ぬい/文字・模様ぬい編 S-25

7.0

5.0 mm

■針板や針板ふたの目盛りを基準にする場合

布端を、針板か針板ふたの 16mm の目盛りに合わ せてぬいます。(左基線・中基線の模様を選択した 場合)

左基線の模様の場合(振り幅:0.0mm)



- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ cm 目盛り
- ④ インチ目盛り
- ⑤ 針板
- ⑥ 16mm

中基線の模様の場合(振り幅:3.5mm)



- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ インチ目盛り
- ④ 針板ふた
- ⑤ 16mm

■ 直線針板と直線押えを使用する場合

直線針板および直線押えが使用できるのは、中基 線の直線ぬいのみです。直線針板と直線押えは、 薄地をぬうときや針穴に引き込まれやすい小さな 布片をぬうときに使用してください。 直線押えは、薄地のぬい縮みを防ぐのに適してい ます。押えの小さなミゾで布をしっかり押さえて ぬいます。







2.25 mm
 4.25 mm
 6.25 mm

④ 8.5 mm



- 2 針と押えホルダーを取り外します。(「基本 機能編」の「針の交換」と「押えの交換」 参照)
- 3 補助テーブルを取り外します。
- 4 針板カバーを手前に引いて外します。





実用模様





s 2

実用模様









ジグザグ押えくJ>を取り付けます。

■たち目かがり(ジグザグぬい)

針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいま す。



 ① 針落ち位置



■ アップリケ(ジグザグぬい)

- アップリケ布にスプレーのりを薄く付けるか、し つけをかけてからぬいます。
 - * 針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちる ようにぬいます。

実用模様



■パッチワーク(クレイジーキルト)

上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方 の布地に模様がまたがるようにぬいます。



■ カーブをぬう場合(ジグザグぬい)

ぬい目の長さを少し短めに設定し、カーブの外側 に針をさしたまま押えを上げて少しずつ方向を変 えながらぬうと、きれいなぬい目ができます。





6 芯ひもを、押えの下に位置するようにミシンの後ろ側へ引き出します。その上に布地の表面を上にして置きます。





点線ジグザグぬい

点線ジグザグぬいは、ゴムひもつけ、たち目か がりやつくろいぬいなど幅広い用途に使用しま す。

ぬい模様について詳しくは、**S-67**を参照ください。

ぬい方	名前	押え
1-13 <`` <``	2 点ジグザグぬい	
1-14 <;; <; <; <;	3 点ジグザグぬい	







ジグザグ押えくJ>を取り付けます。

■ ゴムひもつけ

ゴムひもを前後に伸ばしながらぬいます。





■ たち目かがり

伸びる布地をぬうときに使います。針が布端より わずかに外側に落ちるようにぬいます。



たち目かがり

ズボン、スカートなどのぬいしろの始末や、たち目の始末に使います。模様によってたち目かがり押え
くG > 、ジグザグ押え< J > 、サイドカッター押え(別売)を使います。

■たち目かがり押えくG>を使うた ち目かがり

ぬい方	名前	押え
1-15 >	たち目かがり	G
1-16	たち目かがり	
1-17	たち目かがり	G

S



■ ジグザグ押えくJ>を使うたち目か がり

ぬい模様について詳しくは、S-67を参照ください

ぬい方	名前	押え
1-18	たち目かがり	
1-19	たち目かがり	
1-20	たち目かがり	
1-21 [[たち目かがり	
	たち目かがり	
	たち目かがり	

模様を選び、ジグザグ押えくJ>を取り付けます。



針が布端よりわずかに外側に落ちるように ぬいます。



 ① 針落ち位置



🖉 お知らせ

 伸びる布地は、押え圧を弱くするときれい に仕上がります。

キルトぬい

仕上がりのきれいなキルトが簡単にできます。 キルトぬいでは、ニーリフターやフットコント ローラーを使用すると、両手が使えて便利です (S-4の「マルチ機能フットコントローラーを使 用する」および S-16の「ニーリフターを使用す る」を参照)。

Q-01 から Q-30 までの 30 模様のキルト模様と、 模様キーの模様イメージの右下に「P」あるいは 「Q」が表示される実用模様がキルトぬいに最適 です。「P」はピーシング、「Q」はキルトぬいに 適していることを示しています。

ぬい模様について詳しくは、**S-67**を参照ください。

		押え		
ぬい方	名前		50	
9-01 P	ピーシング直線(中基線)	i j	C	
Q-02	ピーシング直線(右基線)		Ś	
9-03	ピーシング直線(左基線)	i j	Ś	
Q-04	手ぬい風直線(中基線)	1	Ś	
Q-05 	しつけぬい (中基線)	, J	Ś	
Q-06 4 7 7 7 7	伸縮ぬい	i j	Ś	
Q−07 ≪Q	ジグザグ	÷ J	Ś	
Q-08	ジグザグ(右基線)	, J	Ś	
Q-09 	ジグザグ(左基線)	÷ J	Ś	
Q-10 < < <	2 点ジグザグ		Ś	

		押え		
ぬい方	名前		J U	
Q-11	3 点ジグザグ		Ś	
Q-12	アップリケ		Ś	
Q-13 	シェルタック		Ś	
Q-14	アップリケ		Ś	
Q-15 2555 Q	キルティング模様		Ś	
Q-16	たち目かがり	, J	Ó	
Q-17 27 27 27	ゴムひもつけ	i l	Ś	
Q-18	飾りぬい		Ó	
Q-19	ファゴティング	, J	Ó	
Q-20	ファゴティング	i j	°S	
@-21 <i>j</i> -^.v.^.	つきあわせ	, J	Ó	
Q-22	つきあわせ		Ó	
Q-23	スモッキング	i j	Ś	
Q-24	飾りぬい	i l	Ś	
9-25 MMM	飾りぬい		Ó	
9-26 2000	飾りぬい	i j	Ó	
0-27	飾りぬい		Ó	
Q-28	飾りぬい		Ó	

		押	ž
ぬい方	名前		
Q-29	たち目かがり	J	o
Q-30	たち目かがり	÷ J	Ó
1-29 P	ピーシング直線(右基線)	J J	Ó
1-30 P	ピーシング直線(中基線)	Ĩ	C
1-31 P	ピーシング直線(左基線)	Ĩ	Ó
1-32 Q	手ぬい風直線	÷ J	Ó
1-33	ジグザグ	J	o
1–34	アップリケ	J	Ó
1-35 2%27 2	キルティング模様	₩J]	Ś

お知らせ

- キルトぬいカテゴリーの模様(Q-02~Q-30)は、他のカテゴリーの同じ模様よりも振り幅を細かく設定できます。たとえば、Q-03は57段階の針落ち位置を設定でき、Q-19では29段階の振り幅を設定できます。
- 「Q」のつくキルトぬい模様のみ、細かく振 り幅を設定できます。

■ ピーシング

ピーシングとは、布と布をぬい合わせることをい います。正確にピーシングを行うために、ぬいし ろを **7.0mm** つけて裁断してください。

しまたは を選び、ジグザグ押え<J>を取り付けます。

実用模様



正確なぬいしろで仕上げる場合

布地の端から 6.4mm の位置で、ぬい始め、ぬい終 り、布地の回転を行います。



- このしるしを、ぬい始めの布地の端に合わせます。
- ② ぬい始め
- ③ ぬい終り
- ④ 布地のぬい終り、または布地を回転する側
- ⑤ 6.4mm

2 お知らせ

 ピボットの詳細は、S-16の「ピボット」を 参照してください。

3.2mm の飾りぬいキルト

布地の端を押えの左側に合わせて、ぬいます。



- ① 表
- ② ぬい目
- ③ 3.2mm

■アップリケ

上糸にナイロン透明糸を使うと、ぬい目を目立た なく仕上げることができます。



アップリケ布に3~5mmのぬいしろを付け て裁ちます。



ゆいしろ (3~5mm)

アップリケ布の裏に厚紙の型紙を置き、ア イロンでぬいしろを内側に折ります。カー ブの部分は、必要に応じて切り込みを入れ ます。



3 アップリケ布を表に返し、型紙をまち針ま たはしつけ糸で止めます。



4 がします。



]模様



実用模様





3 かかを押して、ミシンをフリーモーション モードに設定します。



→ 表示がでのに変わり、キルト押えはフリーモーションぬいに必要な高さに上がり、送り歯は下がります。



- フリーモーションキルト押え<C>
- →「Q-01」または「1-30」の模様が選択されている 間は、フリーモーションキルト押え<C>が画面 の左上に表示されます。

実用模様

8 ぬい終わった後は、必ず直線針板とフリー モーションキルト押え<C>を取り外し、 標準針板と針板ふたを取り付けてくださ い。

、と、お願い

- ◆ オープントゥキルト押えく O >は、直線針 板を組み合わせて使うこともできます。厚 さが均一ではない布地のフリーモーション ぬいにオープントゥキルト押えく O >を使 うことをお勧めします。
 - 直線針板を使用するときは、直線ぬい模様 が全て中基線になります。振り幅の設定で も、針落ち位置を変えることはできません。

🏹 お知らせ

- 通常の縫製時は、送り歯を上げて使用します。
 - 最初はきれいに仕上がらないことがありますが、きれいな仕上がりになるように練習してください。

■ エコーキルト押えくE>を使用し て、エコーキルトをぬう

モチーフの周囲を等間隔で幾重にもキルトする方 法を、エコーキルトと呼びます。モチーフに沿っ て波状に広がる線が、エコーキルトの特徴です。 エコーキルトにはエコーキルト押えくE>を使用 します。押えの寸法を参考にして、モチーフの周 囲を一定の間隔でぬいます。 フットコントローラーを取り付けて、一定の速度 でぬうことをお勧めします。



エコーキルト押え<E>の寸法



6.4mm
 9.5mm



加 加 れ ル ダ ーのネジをフリーモーションキ

から取り付けます。

① 押えホルダーのネジ

② ミゾ

ルト押えくC>のミゾに合わせて、前面

2 配を押して、フリーモーションモードを 解除します。

→ プーリーを手前に回して送り歯を上げてください。



3 押えホルダーを取り付けます。(「基本機能 編」の「押えの交換」参照)

4 エコーキルト押えくE>の穴と押え棒を
 合わせて、エコーキルト押えくE>を押
 え棒の左側に置きます。







 ネジをしめるときは、必ず付属のドライ バーを使用してください。ネジを確実に しめないと針がキルト押えに当たり、曲 がったり折れたりするおそれがありま す。

5 エコーキルト押えくE>の寸法を参考にして、モチーフの回りをぬいます。





① 6.4mm

完成した作品



を押して、フリーモーションモードを 解除します。

→ プーリーを手前に回して送り歯を上げてください。

まつりぬい

ワンピース、ブラウス、ズボン、スカートのす そや折り返しに使います。

ぬい方	名前	押え
2-01 /	まつりぬい	R
2-02	まつりぬい	R

🎧 お知らせ

 筒の大きさがアームに入らないほど小さい ときや、筒の長さが短いときは、布地がう まく送られず、きれいに仕上がらないこと があります。

すそ上げをするスカートやズボンを裏返し ます。

			1		
1	裏				
2	表				
3	布端				
4	すそ側				

できあがり線で布を表に返し、アイロンを かけます。



< ごを横から見た図 >

S



実用模様

針落ち位置を変更するときは、針を上げてからジグ ザグの振り幅を変更します。

振り幅



- 厚い布地
- ② 普通地

お知らせ

 左側の針落ち位置が折り山にかからなけれ ば、しつけぬいをすることができません。 また、針があまり折り山のほうにかかりす ぎると、折りを広げることができず布地の 表側にぬい目が大きく出て、目立ってしま います。 うまくしつけぬいをできないとき、次の解 決方法を参照してください。

■針がかかりすぎているとき

針が左側にいきすぎています。

振り幅の + を押して針位置を右に動かし、針が 折り山に少しかかるように調節します。



普通地



厚地



② 表



針が右側にいきすぎています。 振り幅の - を押して針位置を左に動かし、針が 折り山に少しかかるように調節します。





 ① 針落ち位置

■急なカーブをぬう場合

アップリケ布の外側に針をさしたまま押えを上げ て少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬ い目に仕上がります。



■角をぬう場合

針が右側に落ちているときに縫製を止めます。布 端が左右どちらにあるかによって、針が落ちてい る場所が布地の外側になったり、内側になったり します。

押えを上げて、布地を回転して布端とぬう方向が 並行になるようにした後、押えを下げて、引き続 きぬい進めます。





小側が角のとき
 内側が角のとき

お知らせ
 アップリケ布の端にそって、布地の下に薄
 手の接着芯を置いてぬうと、位置合わせの
 精度が上がります。

2








S

実用模様



3 模様ぬい押え < N >を取り付け、表を上 にして布を置き、織り糸を抜いた部分の右 端をぬいます。





5 模様が左右対称になるように、織り糸を抜いた部分の左端をぬいます。



■ドロンワーク(2)



* 4本の織り糸を抜き、5本分(約4mm幅)の織り糸 を残し、さらに4本の織り糸を抜きとります。



3 模様ぬい押え<N>を取り付け、残した5 本分の布地の中央をぬいます。



 お知らせ

 ウィングニードル(別売:WN001)も使用 できます。

ボタン穴かがり

ボタンの穴に合わせた穴かがりができます。 ぬい模様について詳しくは、**S-67** を参照くださ い。

ぬい方	名前	押え
4-01 U	ボタン穴かがり	
4-02 U	ボタン穴かがり	
4-03 ()	ボタン穴かがり	
4-04	ボタン穴かがり	
4-05 U	ボタン穴かがり	
4-06 D	ボタン穴かがり	
4-07	ボタン穴かがり	
4-08	ボタン穴かがり	
4-09	ボタン穴かがり	
4-10	ボタン穴かがり	







■ ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りを使って、穴かがりの大き さを設定します。押えスケールは1目盛り5mm です。

押えスケールの目盛りをボタンの直径 + 厚みの寸 法に合わせてください。



- ① 押えスケール
- ② 台皿
- ③ でき上がり寸法(直径+厚み)
- ④ 5mm

▶ お知らせ

 例) 直径 1.5cm 厚み 1cm のボタンの場合、 スケールを 2.5cm に合わせます。



- ① 厚み 1cm
- ② 直径 1.5cm

S



S

実用模様





■厚地の場合

布または紙を折りたたんだものを押えの右側には さんで、段差ができないようにしてください。



2 厚紙

③ 布地

🏹 お知らせ

- あらかじめ自動糸切りを設定しておくと、 ぬい終わりに止めぬいをしてから自動的に 上糸と下糸の糸を切ります。
- 布の厚みで布地が進まないときはぬい目を あらくしてください。

ボタンつけ

このミシンではボタンつけができます。 ボタンつけできるのは、2つ穴または4つ穴の ボタンです。

ぬい模様について詳しくは、**S-67**を参照ください。





→ 自動的に送り歯が下がります。



S

実用模様









S

実用模様





- ① しつけぬい
- $\textcircled{0} 0.7 \sim 1 \text{cm}$
- ③ 返しぬい
- ④ 5cm

ぬい方早見表

この表では、実用ぬい模様のジグザグの振り幅やぬい目の長さの設定についてを用途に合わせて紹介しています。 また、それぞれの模様で2本針が使用できるかどうかも、あわせて記載しています。

		押	え		ジグザク	^が の振り幅 ^{*1}	ぬい目	lの長さ ^{*1}	
ぬい方	名前	<u>o</u>	<mark>70</mark> 0	主な用途	自動	手動	自動	手動	2本針 ^{*2}
1-01 	直線(左基線)		Ó	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-02	直線(左基線)	L L	Ś	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-03	直線(中基線)	L L	Ś	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-04	直線(中基線)		°5	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-05 	3重ぬい		Ó	丈夫なぬい目なので、袖つけ や股下をぬうときに便利です。 また、伸びる布地をぬうとき やステッチをかけるときに使 用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
1-06 4 7 7	伸縮ぬい		Solo Solo	伸縮性のあるぬい目なので、 伸びる布地をぬうときに使用 します。また、飾りぬいとし ても使用します。	1.0 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
1-07 	飾りぬい		Ś	飾りぬいに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
1-08 	しつけぬい		Ó	しつけに使用します。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	20 (3/4)	5 - 30 (3/16 - 1-3/16)	×
1-09	ジグザグ (中基線)	Ĩ	o s	たち目かがりやアップリケな どに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	(J)
1-10	ジグザグ (中基線)		Ś	たち目かがりやアップリケな どに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	(J)
1-11	ジグザグ (右基線)	Ĩ	°5	右の針位置からぬい始まりま す。	3.5 (1/8)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	1.4 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-12 >>	ジグザグ (左基線)		Ś	左の針位置からぬい始まりま す。	3.5 (1/8)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	1.4 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-13 <>> <> <>	2 点ジグザグ		Ś	普通地、伸びる布地のたち目 かがりやゴムひもつけ、つく ろいぬいなど幅広い用途に使 用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
1-14	3 点ジグザグ		Ś	普通地、厚地、伸びる布地の たち目かがりやゴムひもつけ、 つくろいぬいなど幅広い用途 に使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
1-15	たち目かがり		G	薄地、普通地のたち目かがり に使用します。	3.5 (1/8)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×

		押	∃え		ジグザク	^{*1} の振り幅 ^{*1}	ぬい目	lの長さ ^{*1}	
ぬい方	名前	69	50	主な用途	自動	手動	自動	手動	2本針 2
1-16	たち目かがり		G	厚地のたち目かがりに使用し ます。	5.0 (3/16)	2.5 - 5.0 (3/32 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-17	たち目かがり		G	厚地のたち目かがりや飾りぬ いに使用します。	5.0 (3/16)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-18	たち目かがり	i j	Ś	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-19	たち目かがり	"J	Ś	普通地、厚地のたち目かがり や飾りぬいに使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-20	たち目かがり	"J	Ś	伸びる布地のたち目かがりや 飾りぬいに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-21 [[たち目かがり	i j	Ś	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-22	たち目かがり	i J	Ś	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-23	たち目かがり	i J	Ś	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.8 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
1-24 \$	サイドカッター		S	布を切りながら直線ぬいをし ます。	0.0 (0)	0.0 - 2.5 (0 - 3/32)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-25 \$ \$	サイドカッター		S	布を切りながらジグザグぬい をします。	3.5 (1/8)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	×
1-26 \$	サイドカッター		S	布を切りながらたち目かがり をします。	3.5 (1/8)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-27 \$	サイドカッター		S	布を切りながらたち目かがり をします。	5.0 (3/16)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-28	サイドカッター		S	布を切りながらたち目かがり をします。	5.0 (3/16)	3.5 - 5.0 (1/8 - 3/16)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-29	ピーシング直線 (右基線)		Ó	ピーシング用の直線です。押 えの右端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-30	ピーシング直線 (中基線)	i j	C	ピーシング用の直線です。	-	_	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-31	ピーシング直線 (左基線)		ÓŚ	ピーシング用の直線です。押 えの左端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	2.0 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-32 	手ぬい風直線		Ś	上糸にナイロン透明糸、下糸 にキルトに合った色の糸を使 うと手ぬい風のキルト直線が ぬえます。	0.0 (0)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×

		押	lえ		ジグザク	^ず の振り幅 ^{*1}	ぬい目	目の長さ ^{*1}	
ぬい方	名前	<u>6</u> 0	00	主な用途	自動	手動	自動	手動	2本針 ^{*2}
1-33	ジグザグ	i j	Ś	アップリケキルトやフリー モーションキルト、サテンぬ いなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	×
1-34 Q	アップリケ	₩IJ	Ś	アップリケやバインディング をするときに使用します。	1.5 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
1-35 2555 Q	キルティング模 様	i j	Ś	キルトで背景を埋めるときに 使用します。	7.0 (1/4)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
2-01 <	まつりぬい		R	普通地のまつりぬいに使用し ます。	00	3← - →3	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
2-02	まつりぬい	00 m	R	伸びる布地のまつりぬいに使 用します。	00	3← - →3	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
2-03 	アップリケ	₩IJ F	Ś	アップリケに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) ()
2-04 	シェルタック		Ó	シェルタックは貝殻を直線状 にならべたような円弧状のひ だを作るもので、ふち取りな どに用いるほか、ブラウス、 ワンピースなどの胸元や袖に 飾りぬいとして使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
2-05 }	サテンスカラッ プ		No.	スカラップは半月状の丸い カーブの連続した波形の模様 をいいます。ブラウスやハン カチなどのふち飾りに使用し ます。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.1 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
2-06 ,7000,7000,000	スカラップ		No.	スカラップは半月状の丸い カーブの連続した波形の模様 をいいます。ブラウスやハン カチなどのふち飾りに使用し ます。	7.0 (1/4)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
2-07	つきあわせ	₩IJ F	Ś	パッチワークや飾りぬいに使 用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-08	つきあわせ	₩IJ	Ś	パッチワークや飾りぬいに使 用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-09 ,-^ 	つきあわせ	₩IJ	Ś	コードなどを使った飾りぬい に使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-10	スモッキング	₩IJ F	Ś	スモッキングや飾りぬいに使 用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-11	ファゴティング		Ś	ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服な どに使用します。また、飾り ぬいとしても使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-12 K K K	ファゴティング		Ś	ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服な どに使用します。また、飾り ぬいとしても使用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)

		押	٦		ジグザク	でがしい *1	ぬい目	の長さ ^{*1}	
ぬい方	名前	69	<u>5</u> 6	主な用途 	自動	手動	自動	手動	2本針 ^{*2}
2-13 	ゴムひもつけ		Ó	伸びる布地にゴムひもをつけ るときに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) ()
2-14	飾りぬい		Ś	飾りぬいに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
2-15	飾りぬい		Ś	飾りぬいに使用します。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-16 2020	飾りぬい		Ó	飾りぬいに使用します。	5.5 (7/32)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-17	飾りぬい		Ś	飾りぬいやゴムひもつけに使 用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-18 MMM	飾りぬい		Ś	飾りぬいやアップリケに使用 します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
2-19 2255555	飾りぬい		Ś	飾りぬいに使用します。	7.0 (1/4)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-01	飾りぬい		Ś	左基線の3重ぬいで、すそ飾 りなどに使用します。	1.0 (1/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
3-02 	飾りぬい		Ś	中基線の3重ぬいで、すそ飾 りなどに使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
3-03	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
3-04 E	飾りぬい		Ś	レースつけやふち飾りなどに 使用します。	3.5 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-05	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。	3.0 (1/8)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-06 ** **	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-07 ♦ ♦	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-08	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-09	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
3-10	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
3-11	飾りぬい	Ň	Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O

ぬい方	名前				ジグザグの振り幅 ^{*1}		ぬい目の長さ ^{*1}		0 * 61 *2
			<u>0</u> n	主な用途	自動	手動	自動	手動	2本針 ^{~2}
3-12	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
3-13	飾りぬい	Ň	Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.5 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) ()
3-14 × ×	飾りぬい	Ň	Ó	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
3-15	飾りぬい	Ň	Ó	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-16 × ×	飾りぬい	Ň	Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
3-17 + +	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	4.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-18	飾りぬい		Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
3-19	飾りぬい	Ň	Ś	つき合わせや飾りぬいに使用 します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J)
3-20	飾りぬい	Ň	Ś	ふち飾りやぬった後にリボン を通して飾りとして使用しま す。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	(J) O
3-21 2 4	飾りぬい	Ň	Ś	飾りぬいやスモッキングに使 用します。	6.0 (15/64)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
3-22 7 47 47	飾りぬい		Ś	飾りぬいやスモッキングに使 用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 7.0 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
4-01 0	ボタン穴かがり			ねむり穴、横穴用。薄地から 普通地のボタン穴かがりに使 用します。ブラウス、シャツ などに使用します。	5.0 (3/16)	3.0 - 5.0 (1/8 - 3/16)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-02 U	ボタン穴かがり		A	横穴用。厚地の布や厚みのあ るボタンを使うときに使用し ます。	5.5 (7/32)	3.5 - 5.5 (1/8 - 7/32)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-03 ()	ボタン穴かがり		A	横穴用。ウエストベルトなど 力がかかるところに使用しま す。	5.0 (3/16)	3.0 - 5.0 (1/8 - 3/16)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-04	ボタン穴かがり			横穴用。厚地のボタン穴かが りに使用します。 	5.0 (3/16)	3.0 - 5.0 (1/8 - 3/16)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-05 U	ボタン穴かがり		A	ボタン穴かがり + かんどめ	5.0 (3/16)	3.0 - 5.0 (1/8 - 3/16)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-06 0	ボタン穴かがり		A	ねむり穴。普通地から厚地の ボタン穴かがりに使用します。 ジャケットやブラウスに使用 します。	5.0 (3/16)	3.0 - 5.0 (1/8 - 3/16)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×

		押	え		ジグザク	^{*1} の振り幅 ^{*1}	ぬい目	の長さ ^{*1}	*0
ぬい方	名前 名前 	69	50	<u>主な用途</u> 	自動	手動	自動	手動	2本針 ²
4-07	ボタン穴かがり			両止めボタン穴かがり。麻、 木綿など、ある程度腰のある 素材に適しています。ホーム ウェアやブラウスなど手軽に ぬえるものに使用します。	5.0 (3/16)	3.0 - 5.0 (1/8 - 3/16)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-08	ボタン穴かがり		A	両止めボタン穴かがり。厚地 の布や厚みのあるボタンを使 うときに使用します。	5.5 (7/32)	3.5 - 5.5 (1/8 - 7/32)	0.4 (1/64)	0.2 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-09	ボタン穴かがり		A	伸びる布地や編み地のボタン 穴かがりに使用します。芯ひ もを入れてぬいます。	6.0 (15/64)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	1.0 (1/16)	0.5 - 2.0 (1/32 - 1/16)	×
4-10	ボタン穴かがり		A	伸びる布地のボタン穴かがり に使用します。芯ひもを入れ てぬいます。	6.0 (15/64)	3.0 - 6.0 (1/8 - 15/64)	1.5 (1/16)	1.0 - 3.0 (1/16 - 1/8)	×
4-11	ボタン穴かがり		A	玉ぶち穴かがり (バウンドボ タンホール) を作るときに使 用します。	5.0 (3/16)	0.0 - 6.0 (0 - 15/64)	2.0 (1/16)	0.2 - 4.0 (1/64 - 3/16)	×
J.	ボタン穴かがり		A	はとめ穴。厚地や毛足の長い 布のボタン穴かがりに使用し ます。ブレザー、スーツ、 コートなどに使用します。	7.0 (1/4)	3.0 - 7.0 (1/8 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-13 ()	ボタン穴かがり			はとめ穴。普通地から厚地の ボタン穴かがりに使用します。 ジーンズ、ズボンなどに使用 します。	7.0 (1/4)	3.0 - 7.0 (1/8 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
J.	ボタン穴かがり		A	はとめ穴。厚地や毛足の長い 布の横穴ボタン穴かがりに使 用します。厚手のコートなど に使用します。	7.0 (1/4)	3.0 - 7.0 (1/8 - 1/4)	0.5 (1/32)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-15 Innn IIIIII UUUI	ダーニング		A	普通地のつくろいぬいに使用 します。	7.0 (1/4)	2.5 - 7.0 (3/32 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 2.5 (1/64 - 3/32)	×
4-16	ダーニング		A	厚地のつくろいぬいに使用し ます。	7.0 (1/4)	2.5 - 7.0 (3/32 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 2.5 (1/64 - 3/32)	×
4-17 1	かんどめ		A	ぬい目がほどけやすい箇所や ポケットロなどのあき止まり 部分の力の加わる部分を補強 したい場合に用います。	2.0 (1/16)	1.0 - 3.0 (1/16 - 1/8)	0.4 (1/64)	0.3 - 1.0 (1/64 - 1/16)	×
4-18 ©	ボタンつけ			ボタンつけに使用します。	3.5 (1/8)	2.5 - 4.5 (3/32 - 3/16)	—	_	×
4-19 O	アイレット		Ś	ベルトの調節用の穴をかがる ときなどに使用します。普通 地に使用します。	7.0 (1/4)	7.0 6.0 5.0 (1/4 15/64 3/16)	7.0 (1/4)	7.0 6.0 5.0 (1/4 15/64 3/16)	×
5-01	横送り直線		Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-02 ¦↑	横送り直線 	Ň	Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-03 7.1 1	横送り直線		Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-04 ←	横送り直線		Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×

		押	٦Ż		ジグザク	^が の振り幅 ^{*1}	ぬい目	の長さ ^{*1}	*0
ぬい方	名前 名前 	00	<u>or</u>	主な用途 	自動	手動	自動	手動	2本針 -
5-05 →	横送り直線		Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-06	横送り直線	Ň	Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-07 	横送り直線	Ň	Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-08	横送り直線	Ř	Ó	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-09 ~~~ ~	横送りジグザグ	Ř	Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-10 ∧∽∧ →	横送りジグザグ		Ó	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	—	_	_	_	×
5-11 {{↓	横送りジグザグ	Ř	Ó	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
5-12 \$ ↑	横送りジグザグ	Ř	Ś	でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。	_	_	_	_	×
Q-01	ピーシング直線 (中基線)	i j	C	ピーシング用の直線です。	_	_	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-02	ピーシング直線 (右基線)		Ó	ピーシング用の直線です。押 えの右端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が 7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	5.0 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-03	ピーシング直線 (左基線)	W J	Ś	ピーシング用の直線です。押 えの左端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	2.0 (1/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-04	手ぬい風直線		Ś	上糸にナイロン透明糸、下糸 にキルトに合った色の糸を使 うと手ぬい風のキルト直線が ぬえます。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-05 	しつけぬい	H J	Ó	しつけに使用します。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	20 (3/4)	5 - 30 (3/16 - 1-3/16)	×
Q-06 4 7 7 7 7	伸縮ぬい		Ś	伸縮性のあるぬい目なので、 伸びる布地をぬうときに使用 します。また、飾りぬいとし ても使用します。	1.00 (1/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-07 	ジグザグ		Ś	アップリケキルトやフリー モーションキルト、サテンぬ いなどに使用します。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.0 - 5.0 (0 - 3/16)	×
Q-08	ジグザグ (右基線)		Ś	右の針位置からぬい始まりま す。	3.50 (1/8)	2.50 - 5.00 (3/32 - 3/16)	1.6 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-09 	ジグザグ (左基線)		Ś	左の針位置からぬい始まります。	3.50 (1/8)	2.50 - 5.00 (3/32 - 3/16)	1.6 (1/16)	0.3 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
<u>*1 — :</u> 訂	<u>」</u> 周節できません。*2	∟ ○:使用	L できます	፲ ⁻ 。×:使用できません。* 3 カウ [・]	 チング押え	」 .は別売です。		1	<u> </u>

		押	lえ		ジグザク	[*] の振り幅 ^{*1}	ぬい目	の長さ ^{*1}	
ぬい方	名前	60	00	主な用途	自動	手動	自動	手動	2本針 ^{*2}
Q-10 <`` <` <` <` <`	2 点ジグザグ	i j	Ś	普通地、伸びる布地のたち目 かがりやゴムひもつけ、つく ろいぬいなど幅広い用途に使 用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-11	3 点ジグザグ		S	普通地、厚地、伸びる布地の たち目かがりやゴムひもつけ、 つくろいぬいなど幅広い用途 に使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-12 111110 Q	アップリケ	• F	Ś	アップリケやバインディング をするときに使用します。	2.00 (1/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-13 	シェルタック		Ó	シェルタックは貝殻を直線状 にならべたような円弧状のひ だを作るもので、ふち取りな どに用いるほか、ブラウス、 ワンピースなどの胸元や袖に 飾りぬいとして使用します。	4.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-14	アップリケ	i j	Ś	アップリケに使用します。	3.50 (1/8)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
۹-15 کی م	キルティング模 様	i j	Ś	キルトで背景を埋めるときに 使用します。	7.00 (1/4)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-16 [[たち目かがり	i j	Ś	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-17 2 > 2 > 2 > 2 > 2 > 2 >	ゴムひもつけ	i J	Ś	伸びる布地にゴムひもをつけ るときに使用します。	5.50 (7/32)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.4 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-18	飾りぬい		Ś	飾りぬいやゴムひもつけに使 用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-19	ファゴティング		Ó	ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服な どに使用します。また、飾り ぬいとしても使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-20	ファゴティング		Ó	ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服な どに使用します。また、飾り ぬいとしても使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-21 	つきあわせ	if J	Ś	コードなどを使った飾りぬい に使用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.2 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-22	つきあわせ	i J	Ś	パッチワークや飾りぬいに使 用します。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-23	スモッキング	i j	Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-24	飾りぬい	i j	Ś	飾りぬいに使用します。	4.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.5 (3/32)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-25 MMM	飾りぬい	Ň	Ś	飾りぬいやアップリケに使用 します。 	6.00 (15/64)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.0 (1/16)	0.2 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×

		押	١Ż		ジグザク	^{*1} の振り幅 ^{*1}	ぬい目	lの長さ ^{*1}	
ぬい方	名前	69	00	主な用途	自動	手動	自動	手動	2本針 ^{*2}
Q-26 2020	飾りぬい		Ś	飾りぬいに使用します。	5.50 (7/32)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	1.6 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-27 	飾りぬい	Ř	Ś	ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	5.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-28	飾りぬい	Ň	Ś	つき合わせや飾りぬいに使用 します。	6.00 (15/64)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	2.0 (1/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-29	たち目かがり	i j	Ś	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	6.00 (15/64)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	3.0 (1/8)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
Q-30	たち目かがり		Ś	伸びる布地のたち目かがりや 飾りぬいに使用します。	4.00 (3/16)	0.00 - 7.00 (0 - 1/4)	4.0 (3/16)	0.4 - 5.0 (1/64 - 3/16)	×
C-01	フリーモーショ ンカウチング ^{*3}		×	カウチング押えでフリーモー ションカウチングをするとき に、使用します。	3.50 (1/8)	2.75 - 3.75 (7/64 - 9/64)	_	_	×

S 実用ぬい/文字・模様ぬい編

_第3章 文字・模様ぬい

模様の選び方
大型飾り模様/ 7mm 飾り模様/大型サテンステッチ/
7mm サテンステッチ/クロスステッチ/実用飾り模様78
文字模様
■ 文字を削除するには79
■ 文字間を調整する80
文字・模様をぬってみましょう81
文字・模様のぬい方81
模様の調整をする82
模様の編集のしかた 84
■ キーのはたらさ84
模様の大きさを変える86
模様の長さを変える(7mm サテンステッチのみ)86
模様を上下反転させる86
模様を左右反転させる86
模様の連続ぬい/単独ぬい86
模様の糸密度を変える(大型サテンステッチのみ)87
横書き/縦書きを切り替える
模様の始めに戻る
模様のイメージを確認する88
模様の組み合わせ 89
模様の組み合わせをする前に
ちがう模様を組み合わせる89
大きさを変えた模様を組み合わせる
反転模様を組み合わせる90
長さを変えた模様を組み合わせる
ステップ模様を作る(7mm サテンステッチのみ)92
■ そのほかの組み合わせ例
模様の記憶94
データに関する注意94
■ 使用可能なデータの種類94
■ 使用可能な USB デバイス/メディア
ミンノに伝統可能なハリコノの値規と OS
模様を記憶する
■ 記憶できないときは95
模様を市販の USB メディアに記憶する
模様をパソコンに記憶する
模様を呼び出す98
USB メディアから呼び出す
パソコンから呼び出す100

模様の選び方

****** を押すと下の画面が表示されます。このミシンには、7種類の文字・模様ぬいがあります。



- ① 大型飾り模様
- ② 7mm 飾り模様
- ぬい目の長さと振り幅を設定できます。
- ③ 大型サテンステッチ
- ⑦ 7mm サテンステッチ ぬい目の長さと振り幅を設定できます。
- ⑤ クロスステッチ
- 実用飾り模様
- ⑦ 文字模様(ゴシック体、筆記体、アウトライン文字、キリル文字、ひらがな/カタカナ)
- ⑧ マイイラスト機能を使って模様を作るときに、このキーを押します。(S-102 参照)
- ⑨ マイイラスト機能に保存した模様 (S-102 参照)
- ⑩ 記憶した模様の呼び出し(S-98参照)
- ① USB メディアからの模様の呼び出し(S-99 参照)
- 12 パソコンからの模様の呼び出し(S-100参照)

と お願い

↓ ● 画面がロックされている()) ときは、 定を押してロックを解除してください。 画面がロックされていると、他のキーは操作できません。



s 3

文字・模様ぬい



■ 文字間を調整する

文字の間隔を調整できます。

- 🚹 📇 を押します。
 - * 🔊を押すと、画面上に 🔮 が表示されます。



→ 文字間調整画面が表示されます。

2 - +を押して文字間を調整してください。



* + を押すと文字間が広がり、- を押すと文字間が詰まります。

例:

* それぞれの設定値に対応する文字間については以 下をご参照ください。

	設定値	mm
0 10	0	0
_	1	0.18
BB	2	0.36
	3	0.54
20	4	0.72
Ω ^Φ	5	0.9
N K	6	1.08
\prec	7	1.26
2	8	1.44
	9	1.62
	10	1.8

🖉 お知らせ

- 購入時の設定は「0」です。「0」以下の数値 は設定できません。
- この方法で設定した文字間は、入力した文字全てに適用されます。設定後に入力した文字も、引き続き同じ文字間になります。



きれいにぬうために



	② 接着芯
	③ 薄い紙
糸	50 ~ 60 番
針	薄地、普通地:家庭用ミシン針(HA × 1) 11 番 厚地:家庭用ミシン針(HA × 1) 14 番 伸びる布地:ニット用針
押え	模様ぬい押えく N > 模様ぬい押えく N >以外を使用すると、きれいに仕上がら ないことがあります。







* 模様がくずれている場合はもう一度調整します。 正しい模様がぬえるようになるまで調整してくだ さい。

え お知らせ

┛ • 設定画面のままぬうことができます。

- 6 正しい模様がぬえるようになったら、調節 を終わります。 ■□∞ を押して、元の画面に 戻ります。
- 振り幅コントロール ON OFF ↓ 模様調整たて ∞ – + ←→ 構様調整よこ Œ 「 「」 押え高さ 7.5 mm 「」 押え圧 8 - + デュアルフィード 送り量調整 * 模様がつまっているとき: 「模様調整たて」の + を押します。 → このキーを押すごとに表示値が大きくなり、模様 が伸びます。 * 模様にすきまがあるとき: 「模様調整たて」の – を押します。 → このキーを押すごとに表示値が小さくなり、模様 がつまります。 * 模様が左にずれているとき: 「模様調整よこ」の 🕂 を押します。 → このキーを押すごとに表示値が大きくなり、模様 が右にずれます。 * 模様が右にずれているとき: 「模様調整よこ」の – を押します。 → このキーを押すごとに表示値が小さくなり、模様 が左にずれます。

を押し、「模様調整たて」または

「模様調整よこ」を使って模様を調整しま

4

す。

模様の編集のしかた

■ キーのはたらき

模様の編集機能を使って、模様の大きさを変えたり、模様を反転させることができます。

🏹 お知らせ

模様の種類によっては、編集機能が使えないものもあります。使用できる機能は、模様を選んだときに表示されます。



No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
1	100%	表示サイズ	選択した模様が実際と比べてどのくらいのサイズで表示されてい るかを、大まかな数値で表しています。	S-21
			100%:実際とほぼ同じサイズで表示されています。	
			50%:実際の半分のサイズで表示されています。	
			25%: 実際の 1/4 のサイズで表示されています。	
			* 実際の模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異な	
			ります。	

No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
2		ピボットキー	ビボット設定にするときに押します。ピボット設定にしている間 は、ミシンを停止したとき、針が下がり、押えは少し上がった状	S-16
			態になります。さらに、再度ぬい始めると、自動で押えが下がり ます。	
			• このキーが灰色() で表示されているときは、ピボット	
			設定は使用できません。	
3		フリーモーションモード キー	フリーモーションモードに設定するときに押します。 送り歯が下がり、押えがフリーモーションキルトに適した高さま でトがります。	S-40
4	$(\mathbf{\widehat{h}})$	自動止めぬいキー	自動止めぬい機能を有効にするときに押します。	S-6
5	\sim	自動糸切りキー	自動糸切り機能を有効にするときに押します。	S-14
6		左右反転キー	模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します。	S-86
0		ぬい目調節キー	選択した模様の振り幅とぬい目の長さを示します。通常は自動的 に標準の値が設定されています。	S-10 ~ S-12
8		糸調子キー	選択された模様の糸調整を示します。通常は自動的に標準の値が 認安されています。	S-12
9		記憶キー	組み合わせた模様を記憶することができます。	$ ext{S-95} \sim ext{S-96}$
10		模様の長さキー	7mm サテンステッチの模様を選んでから押すと、ジグザグの振り 幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを5段階から選ぶこと ができます。	S-86
1		2本針キー	1本針と2本針の切り替えをします。	「基本機能編」
12		センサー機能キー	センサー機能を使うときに押します。	「基本機能編」
13		大きさキー	模様を選んでから押すと、模様の大きさが変わります。(大/小)	S-86
14		イメージキー	大きな組み合わせ模様を確認するときに押します。	S-88
15		上下反転キー	模様を選んでから押すと、模様が上下に反転します。	S-86
16		糸密度キー	模様を選んでから押すと、模様の糸密度が変わります。	S-87
17		削除キー	間違えて模様を選んだときに押すと、選んだ模様を取り消します。 模様の組み合わせを間違えた場合も、このキーを使って模様を取 り消します。	S-78, S-79
18	tatata ta	連続/単独ぬいキー	単独ぬいと連続ぬいの切り替えをします。	S-86
19	Uxox	模様の頭出しキー	ー 停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	S-87
20		ホームキー	 (刺しゅう・実用ぬい兼用ミシンのみ) ホーム画面に戻るときに押します。	-
2		 画面ロックキー 	画面をロックするときに押します。画面をロックすると、振り幅 やぬい目の長さなどの各設定がロック(固定)されます。もう一 度押すと、解除されます。	S-19
2		ガイドラインマーカーキー (機能搭載モデルのみ)	ぬい目を示すガイドラインマーカーを表示するときに押します。 ガイドラインマーカーを使うと、端ぬいの位置合わせなど、位置 合わせが簡単にできます。	S-15
3		L/R シフトキー	●を押すとぬい模様が右へずれ、●を押すと左へずれます。選	S-11
			状している模様によっては、この機能が使用できません。模様ご との購入時の設定値は、反転表示されます。	
24		文字間隔キー	文字模様の文字間隔を調整できます。	S-80
25	Â	機能ページキー	操作可能なキーを全て表示したいときに押します。	S-80
26		よこたてキー	日本語の文字を選んでから押すと、横書き / 縦書きが切り替わり ます。	S-87





横書き/縦書きを切り替える

■●を押すと、日本語の文字(ひらがな/カタ カナ/漢字)の横書き/縦書きが切り替わりま す。



模様の始めに戻る

文字・飾り模様の場合、試しぬいの後、または 模様が正しくぬわれていないときには模様の始 めに戻ることができます。

1 (スタート/ストップスイッチ)を押して、ミシンを止めてから、 ↓ を押します。



→ ミシンを止めた位置から、選択された模様のぬい 始めの位置(上の例では、「W」)に戻ります。

|♀♀♀を押すとイメージが拡大します。 3 お知らせ • ミシンの停止中に、模様の頭出しキーを押 実用模様 文字模様 ぬい 1 したあと、模様のキーを押した場合は、組 N T み合わせ模様の最後に模様が追加されます。 (下の例では、「!」が追加されています。) WR Mrs • 実用模様 交宗模様2000 1 N F ? 0 < & ? ABC] > $\boldsymbol{\mathsf{C}}$ Į abc ノ elcome : ; 1 1 \sim 0~9,. 66 TΜ ,, © R &?! •• ٠ 6 , 2~~-> ÄÅä I ÔÖö e o 閉じる ◀ ▶ (\cap) ×) 閉じる **™**i ↔ 12:00 ? │ ✿ │(スタート/ストップスイッチ)を押 2 表示エリアからはみ出している部分を見る 4 して、続行します。 には、 🔺 💌 🖪 🕨 を押します。 模様のイメージを確認する 実用模様 文字模様的い 🔒 🔒 N T 選択した模様のイメージを実寸で表示すること ができます。イメージの色を画面で確認し、変 更することもできます。 ◎ を押します。 → 選択した模様のイメージが表示されます。 ■ を押すと、糸の色が変わります。 2 I 実用模様 交守標様ぬい 1 N PC Θ ◄ | ► 閉じる ? S 🕑 12:00 WC3 を押すと、元の画面に戻ります。 5 お知らせ R • 押え記号が表示されているときは、この画 面から文字・模様ぬいを行うこともできま ◀ ► す。 • 選択した模様によっては、表示サイズを変 閉じる 更できない場合があります。 ? 📲🕂 12:00 → このスイッチを押すたびに赤、青、黒と色が変わ ります。
模様の組み合わせ

文字、サテンステッチ、クロスステッチ、マイイラスト機能を使って作った模様(**S-102**の「マイイラスト機能」 参照)など模様を組み合わせると使い方が広がります。ちがう種類の模様を組み合わせたり、大きさを変えて組 み合わせたり、反転模様を組み合わせたり、いろいろな組み合わせを楽しんでください。

模様の組み合わせをする前に

模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えたり、反転させたりすることはできません。大きさ を変えたり、反転させたりしたい場合は、1模様ごとに設定をして組み合わせてください。









s 3

文字・模様ぬい



模様の記憶

データに関する注意

このミシンで作成・記憶した以外のデータを扱うときは、以下の点に注意してください。

■ 使用可能なデータの種類

文字・模様ぬいモードでは、拡張子が「.pmv」「.pmv」のファイルを読み込むことができます。
 「.pmx」「.pmu」ファイルは読み込むことはできますが、本機で保存しなおしたときは「.pmv」ファイルとして保存
 されます。当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動する
 おそれがあります。

■ 使用可能な USB デバイス/メディア

模様データは、USB メディアに記憶し、呼び出すことができます。次の仕様を満たすメディアを使用してく ださい。

- USB フロッピーディスクドライブ
- USB フラッシュドライブ (USB フラッシュメモリー)

呼び出しのみが可能な模様データ

• USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ

次の USB メディアを USB メモリーカードリーダー/ライターとともに使うこともできます。

- SD メモリーカード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード (MMC)
- XD ピクチャーカード

火 お願い

- ↓ 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーソリューションセンター(http://support.brother.co.jp/)をご覧ください。
 - USB デバイス/メディアの挿入後、アクセスランプが点滅を始めます。デバイス/メディアの認識に、5~6秒かかります。(この時間は USB デバイス/メディアによって異なります)。
- フォルダーを作成する場合は、パソコンを使用してください。

■ミシンに接続可能なパソコンの種類とOS

- 対応機種:
 - USB ポートコネクタ標準装備の IBM-PC またはその互換機 対応 OS:

Microsoft Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8

■パソコンでデータを作成・保存するときの注意

- データのファイル名は半角英数字を使用してください。他の文字を使用すると、模様が表示されないことがあります。
- USB デバイス/メディア内に作成されたフォルダーに格納された模様データは本機で読み込むことができます。
- リムーバブルディスクにはフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成し、フォルダー内にデータを記 憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。

模様を記憶する

自分の名前など、よく使う名前や言葉、組み合わせ模様を、ミシンのメモリーに記憶させることができます。メモリーに記憶させることができる模様は、511KBまでです。



えんしょう お知らせ

- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した文字・模様を呼び出すときは、
 S-98 を参照してください。





2 🖅 を押します。

*

______ ■Uる を押すと、記憶せずに元の画面に戻りま す。



→「記憶中」のメッセージが表示されます。模様が 記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

■記憶できないときは

模様をメモリーに記憶させようとしたときに下の 画面が表示されたときは、メモリーの容量が不足 し、模様を記憶できません。模様をメモリーに保 存するには、すでに保存されている模様を削除す る必要があります。

ๅ _ ▶ を押します。

* ****>セル**を押すと、記憶せずに元の画面に戻りま す。





* 模様を消去しない場合は №00 を押します。



① 記憶された模様の入っているポケット



S

3

≻ 小

模様ぬい





s 3

文字・模様ぬい



模様の記憶





* 模様を消去するときは、 🕑 を押します。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されま す。





イラストデザイン

マイイラスト機能を使用して、オリジナルの模様を登録できます。マイイラスト機能で作成したデザインと他の模様を組み合わせたデザインをぬうこともできます。(S-89参照)



- 描くと、マイイラスト機能を使用して、より簡単に模様をデザインすることができます。
- マイイラスト用紙に模様のデザインを描き ます。



あ知らせ

模様を閉じるように線を交差させると、よりきれいに仕上がります。



ー筆書きの要領で、線の始めと終わりの高 さが同じになるように描きます。





* 模様の間隔を調節すると、1 つの模様でさまざま な模様を作ることができます。







4

Å

2

目盛りと交差する点を直線で結びます。

0 mm 5 10 14 0 5 10 5 10 5 10 15 10 10 15 10 10 15 10 10 15 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
ぬい順を決めます。
$\begin{array}{c} 1 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\ 1 \\$
お知らせ • これで、刺しゅうする模様のデザインが決 定されます。

作品例

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
$\left \right\rangle$	1	0	12	18	22	23	21	17	14	12	9	6	3	1	3	6
\mathbb{N}	\leftrightarrow	0	0	3	6	10	13	14	13	11	13	14	13	10	6	3
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
R	1	12	41	43	40	41	38	35	32	30	32	35	41	45	47	44
	⇔	0	0	4	7	11	13	14	13	10	6	3	0	0	4	7
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	t	45	47	50	54	56	55	51	45	70						
	⇔	11	13	14	13	10	6	3	0	0						

	Ċ
5	
•	
	i

ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
t	0	30	32	32	32	33	35	35	37	35	32	30	30	29	26
↔	0	0	1	7	10	12	11	8	12	14	14	11	5	3	8
ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
t	24	18	13	12	13	10	12	8	12	7	12	6	10	5	10
↔	10	13	14	14	12	11	10	9	8	6	6	3	2	0	2
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
t	16	19	23	22	17	22	23	19	42						
⇔	1	0	0	6	10	6	0	0	0						

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
\sim	t	0	3	5	8	12	17	20	24	27	29	31	32	30	27	24
\frown	\leftrightarrow	0	5	8	11	13	14	14	13	12	11	9	6	3	1	0
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
\mathcal{I}	1	21	18	16	15	15	16	18	21	25	28	33	37	41	43	44
-	\leftrightarrow	0	1	3	5	8	10	12	13	14	14	13	11	8	5	0
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	1															
	⇔															

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	\$	0	5	4	5	8	7	8	11	11	11	16	11	7	4	0
\Rightarrow	÷	7	7	3	7	7	0	7	7	3	7	7	3	0	3	7
X	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
\checkmark	‡	4	7	11	16	21	20	21	24	23	24	27	27	27	32	27
	+	11	14	11	7	7	11	7	7	14	7	7	11	7	7	11
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	t	23	20	16	20	23	27	32								
	⇔	14	11	7	3	0	3	7								

イラストの入力

■ キーのはたらき



- ① ここに作成中の模様が表示されます。
- ② 模様のポイントの総数の上に、現在セットされているポイントの数を表示します。
- ③ 💊 の座標を表示します。

No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
4		1重ぬい/3重ぬいキー	2 つのポイントの間で1 針ぬうか、3 針ぬうかを選ぶことができます。	S-106
5		ポイント削除キー	選んだポイントを削除することができます。	S-107
6	戻る	戻るキー	模様データの入力画面が終了します。	—
0	試しぬい	試しぬいキー	模様の試しぬいができます。	S-107、S-110
8		記憶キー	作成中の模様を記憶することができます。	S-110
9		ブロック移動キー	ポイントをグループにまとめて、いっしょに移動することが できます。	S-108
10		ポイント挿入キー	模様のデザインに新しいポイントを挿入することができます。	S-109
1		セットキー	模様のデザイン上で、指定した座標にポイントをセットする ことができます。	$ m S$ -106 \sim S-108
12		矢印キー	表示領域で 💊 を移動します。	S-106 ~ S-109
13		ポイント移動キー	▶ を模様の上でポイントからポイントに移動したり、最初 に入力されたポイントや最後に入力されたポイントに移動す ることができます。	S-107 ~ S-109
14		イメージキー	模様のイメージを表示することができます。	S-107
15		グリッド方向キー	マイイラスト用紙の方向を変えることができます。	S-106
16		拡大キー	作成中の模様を拡大して表示することができます。	S-106





S



🔺 または 🖌 を押して、選択されたポイ ントすべてを移動します。





→ 選択したイラストの部分が移動します。







タッチペンを使って、 を移動することもできます。
 す。

s 4

マイイラスト機能

マイイラストの記憶

マイイラストをリストに保存す る

マイイラスト機能を使って作成した模様は、保存して、後で使うことができます。模様データの入力が終わったら、 「」を押します。「記憶中」のメッセージが表示され、模様が保存されます。

模様を保存する前に、「munuo」を押して、試しぬいをすることもできます。



しんしん お知らせ

- 模様の保存には数秒かかります。
- 保存した模様の呼び出しについては、 S-111 を参照してください。

よ お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、電源スイッチを切らないでください。
 記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

■記憶できないときは

を押した後で次のメッセージが表示される 場合は、ミシンのメモリー容量がいっぱいである か、保存する模様が大きすぎて、メモリーの容量 が足りないために模様を保存できません。ミシン のメモリーに模様を保存するには、以前に保存し た模様を消去する必要があります。



と お願い

 マイイラスト機能を使って作成した模様を、 USB メディアまたはパソコンに保存することもできます。S-96の「模様を市販の USB メディアに記憶する」またはS-97の 「模様をパソコンに記憶する」を参照してください。



→ 保存されている模様のリストが表示されます。

8 i 🔿

12:00

2 模様を選びます。

* 模様を呼び出さずに元の画面に戻るには、 NUT を 押します。



- 3 🔤 を押します。
 - * 保存した模様を削除するには、 💽 を押します。
 - * 保存した模様を編集するには、 **##** を押しま す。





ここでは、刺しゅう模様をぬうときの手順を紹介しています。 ページ数は、「E」の記号で始まります。	
第1章 刺しゅう	E-2
第2章 編集刺しゅう	E-56

E刺しゅう編

第1章 刺しゅう

刺しゆう機様の遅ひ方 3
■ 著作権について3
ワンポイント/オリジナル模様/花アルファベット/
ポビンワーク模様を選ぶ4
文字模様を選ぶ5
枠模様を選ぶ7
刺しゅうカードの模様を選ぶ7
■ カードリーダーについて7
■ 別売の刺しゅうカードについて
■ 漢子ガートの場合8 USB メディアやパソコンから増捲を選ぶ 8
雑裂圏面の見万9
■ キーのはたらき10
布地を張る11
布地に芯を貼る11
刺しゅう枠に布地を張る13
■ 刺しゅう枠の種類と用途
■ 市地の扱り方14 ■ 割しゅうシートの使い方 15
小さい布や布の隅に刺しゅうする
■ 小さい布地に刺しゅうする場合16
■ 布地の隅に刺しゅうする場合16
■ リボンテープなどの細い布地に刺しゅうする場合16
刺しゅう枠をセットする17
■ 劇しゅう枠の取り外し方18
刺しゅう構構の確認 19
ぬう位置を確認する19
刺しゅうイメージを確認する
■ 画面表示の枠の大きさ20
刺しゅうしてみましょう
きれいに刺しゅうするために
■ 制しゅう車用針板カバー 22
刺しゅうする
アップリケをする
■ 用意するもの23
■ 1. アップリケビースを作る
■ 2. 土台の布地にアップリケの位置をぬう
■ 4.残りのパーツをぬいあげる
こんなとき
下糸が少なくなったら
下糸が少なくなったら .26 途中で糸が切れたときは .27 始めからぬい直したいときは .28 電源を切った後、刺しゅうを再開する .28 刺しゅうに関する設定の調整 .30 糸調子を整える
 下糸が少なくなったら
 下糸が少なくなったら
下糸が少なくなったら .26 途中で糸が切れたときは .27 始めからぬい直したいときは .28 電源を切った後、刺しゅうを再開する .28 刺しゅうに関する設定の調整 .30 糸調子を整える .30 ■ 正しい糸調子 .30 ■ 上糸が強すぎる場合 .30 ■ 上糸が強すぎる(上糸が裏に出る)場合 .30
下糸が少なくなったら .26 途中で糸が切れたときは .27 始めからぬい直したいときは .28 電源を切った後、刺しゅうを再開する .28 刺しゅうに関する設定の調整 .30 糸調子を整える .30 ■ 正しい糸開子 .30 ■ 上糸が強すぎる場合 .30 ■ 上糸が残すぎる(上糸が裏に出る)場合 .30 ■ 自動糸切り機能 .31

渡り糸切り機能31
■ 渡り糸切り機能を使う
■ 渡り糸切り設定を解除する
■ 渡り永の長さを選ぶ
新しゅうの <u>金</u> 展と調節する
刻しゅうの水害う、水已石とひかり む
刺しゅう模様の修正 36
ぬう位置を移動させる36
模様と針を合わせる
大きさを変える
模様を回転させる
模様を左右反転させる
編集画面を広げる
糸密度を変える(文字・枠模様のみ)40
1 文字ずつ色を変えてぬう 40
文字をつなげて刺しゅうする41
連続した刺しゅう(1 色の場合)43
■ 連続した刺しゅうをする
■ 連続した刺しゆう設定を解除する
刺しゆう機様の記憶
刺しゅうデータに関する注意44
■ 使用可能な刺しゅうデータの種類
■ 使用可能な USB デバイス/メディア
■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意
■ Tajima (.dst) 刺しゅうデータ
刺しゅう模様を記憶させる45
■ 記憶できないときは
利しゅう構成をパソコンに記憶させる 47
利しゅう構構を呼び出す 48
IISB メディアから刺しゅう進港を呼び出す 49
パソコンから刺しゅう構善を呼び出す 50
応用ぬい
汐増巣をはってアップリケをする(1) 51
竹枝体でにして、ツノツソモッロ(リ
分割得後をぬう

刺しゅう模様の選び方

■ 著作権について

ミシンまたは刺しゅうカードに内蔵されている模様は、一般家庭用としてのみお楽しみいただけます。営利 または業務目的での使用は著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。

このミシンには、刺しゅうぬいの文字・模様が内蔵されています(内蔵されている模様の概要については、 「模様一覧」を参照してください)。別売の刺しゅうカードの模様もご利用いただけます。

を押してから、を押して、次の画面を表示してください。このミシンには、6 グループの模様が まいます。

あります。



- ① ワンポイント
- ② オリジナル模様
- ③ 花アルファベット
- ④ 枠模様
- ⑤ ひらがな/カタカナ/アルファベット
- ⑥ ボビンワーク模様 (「付録」参照)
- ⑦ ミシンに記憶した模様の呼び出し(E-48参照)
- ⑧ USB メディアからの模様の呼び出し(E-49参照)
- ⑨ パソコンからの模様の呼び出し(E-50参照)
- ⑩ 刺しゅう機を取り外す前に必ずこのキーを押して ください。

2 お知らせ

や AA のように、重なって いるように表示されるキーは、その下にも うひとつ、小グループがあります。小グ ループのひとつを選択したあとに、模様選 択画面が表示されます。 JI



Ε

刺しゅ







5 E-9 の「縫製画面の見方」へ進みます。

* 元の画面に戻って他の模様を選ぶには、 **F** を 押します。



刺しゅうカードの模様を選ぶ

■ カードリーダーについて

当社正規のカードリーダーのみをご使用ください。
 正規のカードリーダー以外を使用すると、ミシンが
 誤作動するおそれがあります。

🏹 お知らせ

 本機に接続したカードリーダーに刺しゅう カードを入れて、刺しゅうカードに模様を 保存することはできません。

■ 別売の刺しゅうカードについて

- 当社正規の刺しゅうカードのみをご使用ください。
 正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、
 ミシンが誤作動するおそれがあります。
- 海外で販売されている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。
- 刺しゅうカードは収納ケースに入れて保管してください。

JI



縫製画面の見方



- 押え記号を示します。
 刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう押え< W+>または< W>を取り付けてください。押え記号が画面に表示 されると、縫製可能となります。
- ② LL 枠で刺しゅうできる範囲(縦 30 cm ×横 20 cm)を示します。
- ③ 選択した模様が表示されます。
- ④ 選択した模様の大きさを示します。
- ⑤ 使用できる枠の種類を示します。必ず適切な枠を使用してください。(E-13参照)
- ⑥ 中央から刺しゅうする位置までの距離を示します(位置を変えたとき)。
- ⑦ 模様の回転角度を示します。
- ⑧ 選択した模様の針数と、ぬい終わった針数を示します。
- ⑨ 選択した模様を刺しゅうするのに必要な時間と、ぬい終わった時間を示します(糸替えの時間と自動的に糸を切る時間は含みません)。
- ⑩ 選択した模様の色数と、現在刺しゅうしている色の順番を示します。
- ⑪ 色替えの順番の一番上にある糸で刺しゅうされる部分を示します。
- ⑩ 色替えの順番と、それぞれの糸色の縫製時間を示します。
- * 表示される時間は、縫製に必要と予測される時間の目安です。実際の縫製時間は、使用する刺しゅう枠の種類に よっては、表示よりも長くかかります。また、表示される縫製時間には、糸替えにかかる時間は含まれていません。
- 13 矢印キー (次ページ参照)

🖉 お知らせ

┛・各キーのはたらきは、次のページで説明します。

■ キーのはたらき

これらのキーを使って、模様の大きさを変えたり、模様を回転させたりすることができます。



お知らせ

模様の種類によって操作できるキーが異なります。灰色で表示されているキーは操作できません。

No.	表示	名称	はたらき	参照ページ
13	Г ^] < • > L ~ J	矢印キー (● はセンター キー)	矢印の方向に模様を移動することができます。模様を縫製範囲の中央に戻す には、センターキーを押します。	E-36
14	Ö	回転キー	模様を回転することができます。1 回につき 1 度/ 10 度/ 90 度回転するこ とができます。	E-38
15		大きさキー	模様の大きさを変えることができます。	E-37
16		色替えキー	文字模様を刺しゅうするとき、各文字の色を変更することができます。	E-40
17	戻る	戻るキー	模様の種類を選択する画面に戻ります。	—
18	×××	糸設定キー	自動糸切り、糸調子を指定できます。刺しゅうの場合、これらの機能は自動 的に設定されます。	E-31 ~ E-31
19		ぬい目戻る/進む キー	ぬい目を戻したり進めたりすることができます。ぬっている途中で糸が切れ たときや、始めからぬい直したい場合に使います。	E-27 ~ E-29
20	-F1]	位置確認キー	模様の位置を確認することができます。模様を刺しゅうするために十分なス ペースがあるかどうかを確認できます。	E-19
2)	Ψ.	ぬい始めの位置キー	ぬい始めの位置を移動して、模様の位置に針を合わせることができます。	E-36
2		記憶キー	模様を本機のメモリー、 USB 、またはパソコンに記憶します。	E-45 \sim E-47
23		一色ぬいキー	選択した模様を、一色で一気にぬうことができます。	E-43
24		LED ポインターキー	LED ポインター付き刺しゅう押えく W+ >(別売)の LED ポインターを点 灯させます。	「基本機能 編」
25	MW###	糸密度キー	文字模様または枠模様のぬい目の密度を変えることができます。	E-40
26		左右反転キー	模様を左右に反転することができます。	E-39
Ø	*	機能ページキー	画面の全てのキーを表示することができます。	E-40
28		イメージキー	刺しゅうイメージを確認することができます。	E-20

捜つすい

布地を張る



- 布地の厚さは 3mm より薄いものを使用してください。3mm 以上の厚さの布地を使用すると、針が折 れるおそれがあります。
- キルティングのような厚めの布地を使用するときは、刺しゅう設定画面で刺しゅう押えの高さを調節すると、きれいに仕上がります。
- 厚地のパイル織りのタオルには、水溶性の芯をタオルの表面に置いて布と一緒に枠に張ることをお勧めします。タオル地の毛足がカバーされて、よりきれいに仕上がります。

お知らせ



押えを高くするには、設定値を大きくします。(通常は 1.5 mm に設定されています。)

布地に芯を貼る

刺しゅうをきれいに仕上げるために、必ず刺 しゅう用接着芯を使用してください。接着芯の 使用については、接着芯の説明書をお読みくだ さい。

アイロンがかけられない布地(タオルなどの起 毛している布地)やアイロンのかけにくい場所 に刺しゅうをするときは、接着せずに、布地の 下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってくださ い。適した接着芯については、お買い上げの販 売店にご相談ください。

▲ 注意

- 刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう用接着 芯を使用してください。特に薄地や伸びる布 地の場合、芯を使用しないで刺しゅうをする と、針が折れたり曲がったりするおそれがあ ります。また、模様くずれの原因にもなりま す。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、 針が折れたり曲がったりするおそれがありま す。接着芯を使用しないと、きれいな仕上が りにならない場合があります。
- ┓しゅう用接着芯を準備します。
- * 刺しゅう用接着芯は、刺しゅう枠よりも大きくし てください。




刺しゅう枠に布地を張る

■ 刺しゅう枠の種類と用途

LL 枠	L 枠	M 枠	S 枠
Contraction of the second seco	The second	- Conte	
刺しゅうのできる範囲 30cm × 20cm	刺しゅうのできる範囲 18cm × 13cm	刺しゅうのできる範囲 10cm × 10cm	刺しゅうのできる範囲 2cm × 6cm
文字や模様をつないで刺しゅうし たり、組み合わせたり、大きな刺 しゅうをするときに使います。	10cm × 10cm から 18cm × 13cm の模様を刺しゅうするとき に使用します。	10cm × 10cm 以下の模様を刺 しゅうするときに使用します。	ネーム入れなど、非常に小さい模 様を刺しゅうするときに使用しま す。

上記以外の別売の刺しゅう枠も使用できます。画面に表示されない刺しゅう枠を使用するときは、使用する 枠の刺しゅうできる範囲を確認してください。使用できる刺しゅう枠の種類については、お買い上げの販売 店にお問い合せください。

模様の大きさに合った刺しゅう枠を選んでください。



① 白色:使用できる枠

② 灰色:使用できない枠

▲ 注意

模様の大きさよりも小さい刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けがの原因となります。



1

2



小さい布や布の隅に刺しゅうす る

刺しゅう用の芯を補助にして刺しゅうします。 芯は刺しゅうが終わってからていねいに取り除 きます。

次の例に示すように、ブラザー純正の接着芯を ご使用になることをお勧めします。

■小さい布地に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、布地を接着芯に貼り ます。 布用スプレーのりを使いたくない場合は、 しつけをします。



① 布地

② 接着芯

■ 布地の隅に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、布地を接着芯に貼っ てから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーの りを使いたくない場合は、しつけをします。



① 布地

② 接着芯

■ リボンテープなどの細い布地に刺 しゅうする場合

布用スプレーのりを使ってテープを接着芯に貼っ てから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーの りを使いたくない場合は、テープの両端を接着芯 といっしょに刺しゅう枠に張ります。





2 接着芯

Ε





刺しゅう模様の確認

模様は通常刺しゅう枠の中心に配置されています。布地のお好みの場所に刺しゅうするために、配置を変えたい 場合は、刺しゅうを始める前に位置を確認できます。



J



■ 画面表示の枠の大きさ

表示	枠の名称	刺しゅう範囲
	LL 枠	縦 30cm ×横 20cm
	L枠	縦 18cm ×横 13cm
I+	M枠	縦 10cm ×横 10cm
F+	S 枠	縦 2cm ×横 6cm

お知らせ

 この画面を表示した状態でも、(1)(スター ト/ストップスイッチ)を押して刺しゅう することができます。



MU3 を押して、元の画面に戻ります。

刺しゅうしてみましょう

きれいに刺しゅうするために

刺しゅうをきれいに仕上げるためには、いくつかのポイントがあります。接着芯の貼り方(E-11 参 照)や布地の刺しゅう枠への張り方(E-13 参照)は、大きなポイントです。もう 1 つのポイントは、 適切な針と糸を使用することです。次の糸の説明を参照してください。

糸	上糸	プラザー純正の刺しゅう糸またはカントリー刺しゅう糸をご使用ください。 他の糸をご使用になると、刺しゅうがきれいに仕上がらないことがあります。
·	下糸	ブラザー純正刺しゅう下糸をご使用ください。

あ知らせ

• 上記以外の糸を使用すると、刺しゅうがきれいに仕上がらないおそれがあります。



と お願い

- ・刺しゅうを始める前に、下糸が十分あることを確認してください。ボビンの糸が少なくなってもぬい
 続けると、糸がからまるおそれがあります。
- ・刺しゅう枠が動く範囲に物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。
- 大きな布地(特にジャンパーなどの重い衣類)に刺しゅうするときは、テーブルから布地が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなり、 模様くずれの原因となります。

JI

■ 刺しゅう専用針板カバー

布の種類や接着芯、刺しゅう糸の種類によって、 上糸が浮く場合があります。このような場合は、 付属の刺しゅう専用針板カバーを針板に取り付け てください。カバーを取り付けるときは、次に示 すようにカバー裏面の2つの凸部を針板の凹部に 挿入します。



- ① ミゾ
- ② 凸部
- ③ 凹部

取り外すときは、ミゾに爪を当て、跳ね上げてく ださい。



刺しゅうする









→ 1 色目をぬい終わると、自動的に糸を切って止ま ります。押えは自動的に上がります。 次にぬう色が色替えの順番表示の一番上に移動し ます。

シン お知らせ

- 先に使用した糸が残っていると、縫製中に 模様の下にぬい込まれることがあり、模様 の完成後、糸の処理がむずかしくなります。 始めに糸を切ってください。
- 1色目の糸をミシンから取り外し2色目の糸 を通します。

残りの色も同じ手順でぬいます。



→ 最後の色をぬい終わると、画面に「ぬい終わりました」と表示されます。
●K を押して、元の画面に戻ります。

▶ お知らせ

 刺しゅうのときはあらかじめ糸切り機能が 設定されているため、余分な渡り糸(模様 の部分をつなぐ糸)を自動的に切ります (組み合わせた文字間の渡り糸は切りません)。糸と布地の種類によっては、ぬい始め の上糸の先端が、布地の表面に残ることが あります。その場合は刺しゅうが終わって から、余分な糸を切ります。 設定を解除したい場合は、E-31の手順に 従って設定を解除します。その場合は、渡 り糸はカットされませんので、模様を刺 しゅうした後に余分な渡り糸をはさみで切 ります。

アップリケをする

1. アップリケピースを作る

Ţ

- 2. 土台の布地にアップリケの位置をぬう
 ↓
- アップリケピースを土台用の布地に貼り付ける
 ↓
- 4. 残りのパーツをぬいあげる

用意するもの

- アップリケピース用の布
- アップリケ土台用の布
- 刺しゅう用接着芯
- 手芸用ののり
 刺しゅう糸

、 お願い

JI



アップリケピースの布地を刺しゅう枠から 取り外し、ぬい目の上をていねいに切り取 ります。



お願い

- ぬい目よりも内側を切るとアップリケをぬ うときに布地に糸がかからなくなりますの で、必ずぬい目の上をていねいに切り取っ てください。
- アップリケピースを切り取った後、糸はき れいに取り除いてください。
- ■2. 土台の布地にアップリケの位置
 - アップリケの土台になる布地の裏側に接着 芯を貼ります。 布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう機に セットします。
- 🔁 刺しゅう糸をセットし、押えレバーを下 げ、「♪」(スタート/ストップスイッチ)を 押し、アップリケの位置をぬいます。



→ アップリケの位置をぬってミシンが止まります。



① アップリケの位置 ② 土台の布地

刺しゅ



こんなとき

と お願い

刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際には、刺しゅう機のキャリッジや押えに当たらないように注意してください。模様くずれの原因となります。

下糸が少なくなったら

ぬっている途中で下糸が少なくなると、ミシン が止まり、次のようなメッセージが表示されま す。 ● を押し、以下の手順に従って下糸を交 換してください。残りわずかで完成する場合は、 ■ ● を押して、10目ほどそのままぬえます。 10目ほどぬい終わると、自動的に糸が切れてミ シンが止まります。

下糸が少なくなりました。





→ 自動的に糸が切れた後、キャリッジが移動します。

ок

- 2 枠固定レバーのロックを解除して、刺しゅ う枠を外します。
 - * このとき、布地に無理な力をかけないよう注意してください。枠に張った布地がたるむことがあります。





下糸を巻いたボビンと交換します。

🏹 お知らせ

・下糸のセットの詳細は「基本機能編」の 「下糸をセットする」を参照してください。







→ キャリッジが元の位置に戻ります。

Ε

凄し

Ð

JI





電源を切った後、刺しゅうを再

刺しゅうが中断されたときは、操作中の色と針 数が記憶されます。次にミシンに電源を入れる と、中断された操作を続けるかどうかを選ぶこ とができます。

お知らせ

• 刺しゅう中に電源が切れても、再び電源を 入れると、ミシンは、刺しゅうが中断され たポイントに戻ります。



① 刺しゅうが中断されたときの針数



- 電源スイッチを入れます。
- 刺しゅう枠がセットされている場合は、画 面に表示される手順に従って、刺しゅう枠 を外します。
 - → 次のメッセージが表示されます。



刺しゅうに関する設定の調整



刺しゅうのときの糸調子は、上糸が布地の裏側 に少し見えるくらいに調整されています。

■ 正しい糸調子

布地の裏側に、少し上糸が見えるくらいに調節し ます。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい 目がきれいにならず、布地にしわがよったり、糸 が切れたりします。



① 表

② 裏

以下の説明に従って、状況に合わせて糸調子を調 節してください。

、山 お願い

糸調子を極端に弱く設定すると、途中でミシンが停止することがありますが、故障ではありません。糸調子を少し強めにして、ぬい直してください。

お知らせ

- 電源スイッチを切ったり、模様を選び直したりすると、糸調子は標準の設定に戻ります。
- 記憶させた模様を呼び出した場合は、糸調 子も記憶させたときの数値になります。

■上糸が強すぎる場合

上糸が強すぎると、布地の表側に下糸が出ます。



──〟を押します。

1



2 - を押して、上糸を弱めます。 押すごとに糸調子の数値が小さくなります。

xxxxx 1	-+	
開じる	٩%	3mm

3 💵 を押します。

■上糸が弱すぎる(上糸が裏に出る) 場合

上糸がたるみます。表側の刺しゅう糸がたるんで、 糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループ ができたりします。

お願い 上糸が正しく通っていないと、上糸が弱くなりすぎることがあります。その場合は、「基本機能編」の「上糸通し」を参照して、上糸を正しく通しなおしてください。







刺しす





速つす

JI

お知らせ spmは1分間あたりの針数を示します。 薄地、厚地、重い布地に刺しゅうするときは、ぬう速さを遅くします。 刺しゅうをしている途中でも速度を変えることができます。 速度は、設定を変えるまで変わりません。速度の設定は、電源を切っても保存されます。 メタリックなどの特殊な糸を使用するとき

- スタリックなどの将妹な床を使用するときは、速度を 600spm に設定してください。
 ボビンワーク模様を選んでいるとき、刺
- しゅうの速度は「100spm」に設定されま す。「100spm」がボビンワークをするとき に推奨される速度ですが、「200spm」 「350spm」を選択することもできます。
- 3 💵です。

刺しゅうの糸番号、糸色名を表 示する

糸番号、糸色名を表示できます。

お知らせ

 ● 画面に表示される色が、実際の糸こまの色と異なる場合があります。





□ःःの ◀ ▶を使って糸番号、糸色名のい ずれかを表示させます。



3 糸番号を選んだ場合は、□₁₁₃の ▲ ▶を押して、糸の種類を選びます。



Embroidery 糸番号 (プラザー刺しゅう糸 (ウルトラポス))

Country 糸番号 (プラザー刺しゅう糸 (カントリー))

Madeira Poly 糸番号 (マデイラ ポリエステル)

Madeira Rayon 糸番号 (マデイラ レーヨン)

Sulky 糸番号 (サルキー)

Robison-Anton 糸番号 (ロピソン・アントン)

閉じる Δ

を押します。

509 Embroidery	
804 Embroidery	
085 Embroidery	

463 Country	
Country 604	
L 155 Country	

1749 Madeira Poly
1630 Madeira Poly
1921 Madeira Poly

1050 Madeira	Rayon
1261 Madeira	Rayon
1108 Madeira	Rayon

1510 Sulky	
1193 Sulky	
1224 Sulky	

5514 R-A Poly	
5586 R-A Poly	
5523 R-A Poly	



- ⑦ 別売のキルト枠の刺しゅう範囲
 15cm × 15cm
- ⑧ M 枠の刺しゅう範囲
 10cm × 10cm
- ③ S 枠の刺しゅう範囲
 2cm × 6cm
- ⑩ 別売のボーダー枠の刺しゅう範囲
 30cm × 10cm
- ⑪ グリッド





刺しゅう







E 1 型つず

J

刺しゅう編 E-39

戻る

Î

∞∽≍≲ ___-/+

?

₫ 🖽

Ui 🗘

đ

12:00











E 1 型つゆり

→ 画面に表示されている糸色表示が、灰色で表示されます。



お知らせ

連続した刺しゅう機能
 が設定されていても、自動糸切り機能と渡り糸切り機能は使用できます。(E-31 参照)

刺しゅう模様の記憶

刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺 しゅうデータを扱うときは、以下の点に注意し てください。

▲ 注意

 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用 する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以 上の重ねぬいをする場合があり、糸切れや針 折れが発生するおそれがあります。そのよう な場合は、当社正規のデータ作成装置(刺 しゅう PRO など)で、刺しゅうデータを修 正して使用してください。

■ 使用可能な刺しゅうデータの種類

 このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pes、.phc、 .pen、および.dst ファイルのみです。当社正規の データ作成装置またはミシンで作成された模様以外 のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあ ります。

■ 使用可能な USB デバイス/メディア

刺しゅうデータは、USB メディアに記憶し、呼び 出すことができます。次の仕様を満たすメディア を使用してください。

- USB フロッピーディスクドライブ
- USB フラッシュドライブ (USB フラッシュメモ リー)
- 呼び出しのみが可能な刺しゅうデータ
 ・ USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ
 次の USB メディアを USB メモリーカードリー
 ダー/ライターとともに使うこともできます。
- SD メモリーカード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード (MMC)
- **XD** ピクチャーカード

火 お願い

- USB デバイス/メディアに保存されたデー タのサイズによっては、本機での処理速度 が異なります。
 - 一部の USB メディアは、このミシンで使用できない場合があります。詳細は、ブラザーソリューションセンター (http://support.brother.co.jp/)をご覧ください。
 - USB デバイス/メディアの挿入後、アクセ スランプが点滅を始めます。デバイス/メ ディアの認識に、5~6秒かかります。(こ の時間は USB デバイス/メディアによっ て異なります)。

▶ お知らせ

- ▲ フォルダーを作成する場合は、パソコンを 使用します。
 - データのファイル名またはフォルダー名は 半角英数字を使用してください。また、 ファイル名(フォルダー名)が9文字以上 の場合は、本機の画面上では最初の6文字 のみが表示され、残りのファイル名(フォ ルダー名)は「~」と数字で表示されます。

■ ミシンに接続可能なパソコンの種類 と OS

- 対応機種: USB ポートコネクタ標準装備の IBM-PC またはその 互換機
- 対応 OS: Microsoft Windows XP,Windows Vista,Windows 7, Windows 8

■パソコンでデータを作成・保存する ときの注意

- 刺しゅうデータのファイル名にはアルファベット 26 文字(A~Z、a~z)、数字、"-"もしくは"_"を使 用してください。他の文字を使用すると、模様が表 示されないことがあります。
- 縦 30cm×横 20cmより大きい刺しゅうデータを選ぶと、メッセージが表示され、模様を 90 度回転するか尋ねてきます。
 90 度回転しても、縦 30cm×横 20cmより大きい刺しゅうデータは扱うことができません。(デザインは全て、デザイン領域縦 30cm×横 20cm内にしてください。)
- 針数、色数の制限を超えて記憶した.pesファイルは 使用できません。当社正規のデータ作成装置で、制 限内の模様に修正してご使用ください。
- USB デバイス/メディア内に作成されたフォルダー に格納された模様データは本機で読み込むことがで きます。
- リムーバブルディスクにはフォルダーを作成しない でください。フォルダーを作成し、フォルダー内に データを記憶した場合、ミシンで模様データを表示 することはできません。
- 刺しゅう機を取り付けていない場合にも、このミシンは刺しゅうデータを扱うことができます。

■ Tajima(.dst)刺しゅうデータ

- .dst データは、模様を一覧する画面にファイル名で 表示されます(実際のイメージは表示されません)。 ファイル名の最初の8文字のみが表示されます。
- Tajima (.dst) データには、具体的な糸色の情報が 含まれていないため、標準的な糸色で表示されま す。プレビューを確認し、必要に応じて糸色を変え ます。



JI



2 USBメディアをミシンのUSBポートコネク タに差し込みます。



メディア用 USB ポートコネクタ

- ② USB メディア
- お願い
 保存する模様のサイズによって、保存にかかる時間は異なります。
 USB メディアポートコネクタには、USB メ
 - USB メディアドライブの故障の原因となります。
 - ← を押します。

3

* 関いる を押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→「記憶中」のメッセージが表示されます。模様が 記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。



刺しゅう模様をパソコンに記憶 させる

付属の USB ケーブルでミシンをパソコンに接続 し、刺しゅう模様をパソコンのリムーバブル ディスクに保存したり読み込んだり、呼び出す ことができます。合計で約772KBの模様をパソ コンのリムーバブルディスクに保存することが できますが、いったん保存した模様はパソコン 内に残らず、ミシンの電源を切ったときに消去 されます。

接続できるパソコンについては、E-44 の「ミシ ンに接続可能なパソコンの種類と OS」を参照し てください。



パソコンとミシンに電源が入っていないときで
 も、USB ケーブルでパソコンとミシンを接続できます。



- パソコン用 USB ポートコネクタ
- ② USB ケーブル
- → パソコンの「コンピュータ (マイ コンピュータ)」 に「リムーバブルディスク」のアイコンが表示さ れます。

J


Ε

刺しゅ

JI





Ε

刺しゅ

J

応用ぬい



大きさと形が同じ枠模様を使用して、アップリ ケを作ることができます。直線ぬいで1つの模 様をぬい、サテンぬいでもう1つの模様をぬい ます。

直線ぬいの枠模様を選びます。アップリケ 布に模様を刺しゅうをしてから、ぬい目の 外側をていねいに切り取ります。









3 ① で作ったアップリケ布の裏側に、薄くの りまたは布用スプレーのりを付け、土台布 のぬい目に合わせて、アップリケを貼り付 けます。



4 同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。
 3 のアップリケ布と土台布の上に刺しゅうをして、アップリケを作ります。







6 刺しゅう枠を刺しゅう機にセットし、サテンぬいの模様を刺しゅうしてアップリケを 作ります。



分割模様をぬう

刺しゅう PRO バージョン 7 以降で作成した分割 模様をぬうことができます。大型の刺しゅう模 様の場合は、刺しゅう枠よりも大きな刺しゅう デザインが複数のセクションに分割され、それ ぞれのセクションをぬい終わった後にそれを組 み合わせて 1 つの模様を作ることになります。

分割模様の作成および、より詳しいぬい方については、刺しゅう PRO に付属している取扱説明書を参照してください。

以下の手順は、USB メディアから下図の分割模様を呼び出し、刺しゅうする方法を説明しています。



- 1 作成した分割模様が保存されたメディアを ミシンに接続し、刺しゅうしたい分割模様 を選びます。
 - * 模様の呼び出しについて詳しくは、E-7の「刺 しゅうカードの模様を選ぶ」、E-49の「USBメ ディアから刺しゅう模様を呼び出す」またはE-50 の「パソコンから刺しゅう模様を呼び出す」を参 照してください。



→ 分割模様の場所を選択するための画面が表示され ます。

🔁 刺しゅうするパーツ 🔝 を選びます。

- * パーツは、アルファベット順に選びます。
- * 通常の模様キーの大きさでは、最大で 12 の部品を 1 つのページに表示できます。模様のパーツ数が 13 以上の場合は、▲または▼でページを切り替 えてください。



J



E刺しゅう編

第2^章 編集刺しゅう

編集刺しゅうでできること 57
刺しゅう模様の選び方 58
ワンポイント/オリジナル模様/花アルファベット/
枠模様/ボビンワーク模様を選ぶ
ひらがな/カタカナ/アルファベットを選ぶ
編集のしかた6 1
■ キーのはたらき62
ぬう位置を移動させる63
模様を回転させる63
模様の大きさを変える63
模様を削除する63
模様を 200%拡大表示する63
文字の配列を変える6 4
文字の間隔を変える64
文字の間隔を詰める65
組み合わせた文字模様を切り離す65
1 文字ずつ色を変えてぬう66
文字をつなげて刺しゅうする67
刺しゅうの糸色を変える
色パレットを作成する68
■ リストから色パレットに色を追加する
■ USBメディアにユーザーパレットデータを保存する70
■ ユーザーハレットナーダを USB メディア から呼び出す/1 缶パレットから缶を選ぶ 71
連線維持をつくる 73
■ 連続準備をぬう
■ 連続模様の中のひとつを繰り返す
■ 連続模様を糸色ごとに並べ替える
■ 未中をつける
繊維を複製する 79
編集が終わったら 79
機様の組み合わせ
記のロリビ快体で観光する
組み合わせ模様を刺しゅうする
さまざまな刺しゅうの機能84
連続した刺しゅう(1 色の場合)84
■ 連続した刺しゅうをする84
■ 連続した刺しゅう設定を解除する
刺しゅうのしつけぬい84
編集刺しゅう模様の記憶85

編集刺しゅうでできること

編集刺しゅうでは、刺しゅう模様と文字の組み合わせ、模様の大きさの変更、模様の回転など、さまざまな編集 機能を使用できます。このミシンには、次の**9**つの機能があります。

■ 組み合わせ

刺しゅう模様、枠模様、文字、記憶から呼び出した模様、別売の刺しゅうカードの模様など、いろいろな模様の組み合わせが簡単にできます。

■ 移動

縦 30cm×横 20cm の範囲で、模様を移動し、位置を液晶画面で確認できます。

■ 回転

模様を1度、10度、または90度ずつ回転することができます。

■ 拡大縮小

- 模様を縦横に拡大縮小することができます。
- 模様によっては、拡大縮小できないものがあります。

■ 左右反転

- 模様を左右に反転できます。
- 模様によっては、左右反転できないものがあります。

■ 文字の間隔変更

文字の間隔を詰めたり、広げたりすることができます。

■ 文字の配列変更

文字を曲線状に並べたり、斜めに並べたり、文字の配列を変えることができます。6通りの配列があります。

■ 糸色の変更

模様の色をお好みの糸色に変えることができます。

■ 連続模様の作成

縦方向または横方向に同じ模様をコピーして連続模様を作成できます。







編集刺つす

J

刺しゅう模様の選び方

「基本機能編」の「刺しゅうの準備」の説明に従って刺しゅうの準備をし、
か を押したあと、
を押して
次の画面を表示します。



- ① ワンポイント
- ② オリジナル模様
- ③ 花アルファベット
- ④ 枠模様
- ⑤ ひらがな/カタカナ/アルファベット
- ⑥ ボビンワーク模様(「付録」参照)
- ⑦ ミシンに記憶した模様の呼び出し(E-48参照)
- ⑧ USB メディアからの模様の呼び出し(E-49参照)
- ⑨ パソコンからの模様の呼び出し(E-50参照)
- ⑩ 刺しゅう機を取り外す前に必ずこのキーを押してください。

🔎 お知らせ

┘ • それぞれの模様の選択画面の詳細については、別冊の「模様一覧」を参照してください。

お願い ・ 刺し

刺しゅう機を付けた状態で、実用ぬいや文字・模様ぬいもできます。

ぬい始める前に、適した押えを取り付けてください。





- * 文字が小さすぎて見えない場合は、 ABC を押すと、 入力した文字すべてを確認できます。
- * 改行する場合、→キーを押します。





お好みの配列を選びます。(例: 📭)

曲線を選ぶ場合は、 🕟 と 🕟 を使用すると、 曲線の角度が変わります。

- * ゆるやかな曲線にするときは 夵 を押します。
- * 急な曲線にするときは 🕥 を押します。

🏹 お知らせ

 ・ 承認 を選んだときは
 の
 および
 の
 は、

 および

 に変わり、傾斜を増加または減少させることができます。



▶□∞■を押して、元の画面に戻ります。

6 選択が終わったら、 セット を押します。



→ 編集画面が表示されます。

E-61 の「編集のしかた」に進んで、模様を 編集します。

5

編集のしかた





- ① 全体の模様の大きさを示します。
- ② 編集している模様の大きさを示します。
- ③ ぬう位置を移動したときの、中心からの移動距離を示します。
- ④ 選択されている模様の色替えの順番と、各色の所要時間を示します。
- ⑤ 模様の回転角度を示します。

はない お知らせ

• キーが灰色で表示されている場合、選んだ模様にその機能を使うことはできません。

■ キーのはたらき



No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
1		拡大キー	模様の画面表示を 200 %拡大できます。	E-63
2		糸パレットキー	表示されている模様の色を変えることができます。	E-67
3	Ö	回転キー	模様を回転することができます。 1 回につき 1 度、10 度、または 90 度回転 することができます。	E-38
4		大きさキー	模様の大きさを変えることができます。模様を拡大または縮小できます。	E-37
5	A B C	配列キー	文字の配列を変えることができます。	E-64
6		色替えキー	文字の色を1文字ずつ変えることができます。	E-66
7		文字間キー	文字の間隔を変えることができます。	E-64
8	追加	追加キー	編集中の模様に、別の模様を追加することができます。	E-79
9		削除キー	選択した模様(赤い四角の枠で囲まれている模様)を削除します。	E-63
10	植製	刺しゅうキー	次のステップに進みます。	E-79
1	▼模様選択▶	模様選択キー	模様の組み合わせが選ばれているときは、これらのキーを使用して、編集す る部分を選びます。(選ばれた模様は、赤い四角で囲まれます。)	E-64
12		複製キー	模様を複製することができます。	E-79
13		糸密度キー	枠模様や文字模様の密度を変えることができます。	E-40
14		左右反転キー	模様を左右に反転することができます。	E-39
15		繰り返しキー	繰り返し模様を作成・編集することができます。	E-73
16	Г ^ 7 < • > L ~ J	矢印キー(● はセ ンターキー)	矢印の方向に模様のぬう位置を移動することができます。 ● を押すと、元 の位置に戻ります。	E-36





е 2

編集刺つすう

文字の間隔を詰める 組み合わせた文字模様を切り離す グループで最も幅のせまい文字の 50% まで、文 組み合わせた文字模様を切り離して、文字間を 調整したり、別々に編集したりできます。 字の間隔を詰めることができます。 📇 を押します。 1 2 お知らせ • 編集したデータを他のミシンに移すことは お勧めできません。一部の機能は他のミシンに搭載されていないため、問題が発生す Table るおそれがあります。 min 3 900 Embroidery • 文字が直線上に配列されている場合のみ、 Table 間隔を詰めることができます。 **Г Л** ABC < • > min 3 900 Embroidery LV 😫 36.1 mm 🖶 91.5 mm ABC **‡** + 0.0 mm ++ + 0.0 mm () 0 ° ₽ P B C ABC M M **F ^** ٦ 追加 模様選択 ▶ 縫製 • > < • ? 📲 🗘 12:00 L V J 34.0 mm ↔ 88.3 mm \$ ‡ + 0.0 mm ↔ + 0.0 mm 🗘 0° ▲■□を押します。 2 ABC ABC +ABC →<u>ABC</u>← Table 閉じる ABC 12:00 900 Embroidery min 3 Table **Г ^ 7** Æ < ٠ > ⊕ +++) ∎I 36.1 mm 91.5 mm mir 3 900 Embroidery LVJ 🔹 36.1 mm 🖶 91.5 mm **‡** + 0.0 mm 4+ + 0.0 mm () 0° AC ABC <<u>ABC</u>→ →<u>ABC</u>< **Г** ٦ 閉じる ABC < > ٠ 12:00 °a i ∟ ∨ ∟ **34.0 mm ↔ 63.3 mm 63.4 mm 0.0 mm 0 °** → キーの表示が変わり、 ABG となります。 ABC ABC <<u>ABC</u>→ →<u>ABC</u>< 閉じる ABC Si 🗘 2 12:00



1 文字ずつ色を変えてぬう

ひらがな / カタカナまたはアルファベットを選んだとき、1文字ずつ違う色でぬうことができます。

色替えを設定すると、1文字ぬうごとにミシン が止まるので、糸の色を変えることができます。



- 2 1 文字ぬい終わったら糸の色を替えて、次の文字をぬいます。
 - * 『
 『
 を押すと、刺しゅう糸をお好みの色に変える ことができます。(次ページの「刺しゅうの糸色 を変える」参照)



各文字の色

2

編集刺つすう



E-67

刺しゅう編





5



- ① 刺しゅう糸の種類
- ② 入力した番号
- → 選んだ糸色が色パレットにセットされます。

お知らせ

- <u>セット</u>を押していない場合は、糸色の番号 は変わりません。
- 6 上記の手順を繰り返して、お好みの色をす べて指定します。
 - * 指定した色をパレットから削除するには、
 - を押します。
 - * パレットに指定した全ての色を削除するには、

 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

 ・

 ・
 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 <





■リストから色パレットに色を追加する

- E-68 の「色パレットを作成する」の手順
 から ③ を繰り返します。
- 2 リスト 選択 を押します。

→ 糸のリストが表示されます。







USBメディアをミシンのUSBポートコネク タに差し込みます。

1

<u>300</u> ¥ ★

50

取り込み

1 2 3

4 5 6

7 8 9

Si 🗘

0 С ~

< >

×

セット

•

12:00

編集刺つすう





min 3





編集慰つす

J



3 📝 を押します。



→ 連続模様が別々の単位に切り分けられます。

- ┉ を押します。
- ▲と▶を使って、繰り返す単位を選び ます。



選んだ単位を繰り返します。(E-733~~5) 6 参照。)

**** を押して、終了します。 7



お知らせ

- 連続模様をそれぞれの単位に切り分けると、 元の状態に戻すことはできません。
- それぞれの単位は編集画面で別々に編集す ることができます。E-82の「組み合わせ模 様を選択する」参照。

■ 連続模様を糸色ごとに並べ替える

が自動的に糸色ごとに並べ替えられます。縫製順 が模様ごとのままでは、実際の縫製のときに、上 糸を何度も交換するか、手動で縫製順を入れ替え なければいけません。

A お知らせ

- 繰り返し模様とそれ以外の模様を組み合わ せて模様を作っているとき、繰り返し模様 の縫製順だけが糸色順に並べ替えられます。
- 繰り返し模様を使った模様を2つ以上並べ て作ると、縫製順は模様ごとに同じ糸色を まとめて刺しゅうするように並び替わりま す。



2

編集刺つすう











10 💷を押して、文字の色を変えます。

* 色の変更について詳しくは、E-67を参照してくだ さい。







■ 組み合わせ模様を選択する

複数の模様を組み合わせている場合、編集する模様を選ぶときは、▼ ほほ 速度 を 押してください。







[→] 模様の刺しゅうが終わると、[+] カーソルが組み合 わせ模様の「Flower」の部分に移動します。

2 ろんのがを刺しゅうします。



→「Flower」をぬい終わると、縫製画面に戻ります。




7 模様が完成したら、しつけぬいをほどいて ください。



編集刺しゅう模様の記憶

第1章の刺しゅう模様と同じ方法で、編集した刺しゅう模様をミシンのメモリー、パソコン、または USB メディ アへ、記憶したり、後で呼び出したりできます。編集した刺しゅう模様も、第一章の模様の保存と呼び出しと同 じ手順で操作できます。

詳細については、E-44を参照してください。



ここでは、困ったときのヒントや、本機を長くお使いいただくためのお手入れ方法を紹介しています。また、ボビンワークのぬいかたについても紹介します。 ページ数は、「A」の記号で始まります。

 第1章ボビンワークでぬってみましょう......A-2

 第2章お手入れ/困ったときには.....A-18

A付録

_第 *1*章 ボビンワークでぬってみましょう

ボビンワークとは3
ボビンワークの準備 3
準備するもの3
■ 内かまと針板ふた3
■ 下糸
■ 上米
■ 掴
■ 布地
上糸を通す4
下糸の準備5
■ 下糸にテンションをかける場合6
■ 下糸テンションフリーにする場合7
ポビンワークでぬう(実用ぬい)9
■ 糸の始末をする11
ボビンワークをフリーモーションでぬう11
ボビンワークでぬう(刺しゅう) 12
模様を選ぶ12
刺しゅうをぬう13
糸調子を調整する
■ ト払の払調子を開始する 16
■ 下糸の糸調子を調節する16
困ったときは17
■ 誤ってミシンの自動糸切り機能で糸を切り、
下糸がミシンにひっかかった17
■ ボビンワークの糸鋼子をなおす
■ 内かまの板はねに下来かひっかかる17

ボビンワークとは

針穴に通すことができない太い糸やリボンをボビンに巻いて、布の裏側を上にしてぬうことにより、布の表側に 立体感のあるぬい目を作ります。



1. 実用ぬい





3. フリーモーション



本機に内蔵されているボビンワーク模様を使って、ボビンワーク刺しゅうができます。







 ・針板ふた
 裏側に、Bで示したV型の突起(タブ)が2つあ
 ります。縫製中、浮き上がりやすいため、針板ふ
 たの突起がボビンを押さえつけて、浮き上がりを
 防ぎます。

■ 下糸

ボビンワークには、以下のような糸の使用を推奨 します。



刺しゅう用手ぬい糸 5 番 または、それより細い糸および飾り糸



やわらかく、織りのあるリボン (約 **2mm** 推奨)

実用ぬい/文字・模様ぬい



薄い刺しゅう用リボン(シルク、シルクの ような素材)(**3.5mm** 以下推奨)

※幅広のリボンや太い糸を使用する場合は、下糸にテンションをかけるぬい方とテンションフリーのぬい方のどちらがきれいにぬえるか、試しぬいをしてからぬい方を選んでください。3.5mm くらいの幅広のリボンを使用する場合は、下糸テンションフリーを推奨します。詳しくは、A-7 を参照してください。



- 5番より太い刺しゅう糸は使用しないでく ださい。
- ボビンワークに適さない糸もあります。実際の布地と糸を使用して試しぬいをしてください。

■ 上糸

ミシン刺しゅう糸 (ポリエステル系)、ナイロン透 明糸

上糸をめだたせたくない場合は、下糸と同系色の ミシン刺しゅう糸(ポリエステル系、50番より大 きな数字)かナイロン透明糸を推奨します。

■針

上糸・布に応じて、適した針を使用します。詳し くは、B-61の「布地と糸の種類による針の使い分 け」やB-62の「刺しゅうの手順」を参照してくだ さい。 ■ 押え

実用ぬい、飾りぬい: 模様ぬい押え **<N>**



フリーモーション: オープントゥキルト押え **<O>**



LED ポインター付き刺しゅう押えく **W**+ >あるい は、別売の刺しゅう押えく **W** >



■ 布地

実際に使用する布地と糸で、試しぬいをしてくだ さい。

と お願い

使用する布によって、模様がくずれることがあります。実際に使用する布地と糸で試しぬいをし、仕上がりを確認してから本ぬいをしてください。

上糸を通す

📄 針を取り付けます。

上糸・布地の種類に適した針を使用してください。 針の取り付け方法は、B-58の「針の交換」を参照し てください。

⊇ 押えを取り付けます。

3 上糸を通します。

上糸の通し方は、**B-48**の「上糸通し」を参照してく ださい。





■ 下糸にテンションをかける場合

糸が左巻きになるように、ボビンを内かまにセッ トします。 下図のように板ばねにしっかり糸を通してくださ





① 板ばね

▲ 注意

- 下糸をボビンに巻くとき、下糸がほつれていないことを確認してください。下糸がほつれている状態でぬうと、内かまの板ばねに糸がひっかかり、糸がからまりミシンが故障するおそれがあります。
- ・ 針板カバーのミゾやカッターを使用しないで ください。使用すると正しく下糸がセットさ れません。





13 上糸をゆっくり引きあげて、下糸を針板の 上に引き出します。



- → 下糸が針板の穴から輪になって出てきます。
- 14 引きあがってきた下糸を、針板の下に糸端 が出るまでピンセットなどで引き上げてく ださい。
- 15 上糸と下糸をそろえて、押えの下からミシンの後ろ側へ 10cm ほど引き出します。



A



ボビンワークでぬう(実用ぬい)



A



ボビンワークでぬってみましょ



ボビンワークでぬう(刺しゅう)





→ 縫製画面が表示されます。





お知らせ • ボビンワーク模様は、大きさや糸密度を変 更することができません。また、自動糸切 り機能も設定することができません。



るように刺しゅう枠に布地を張ります。刺 しゅう枠は模様の大きさに合ったものを選 び、ミシンに取り付けます。ボビンワーク 模様は、布地の裏側から刺しゅうするの で、通常の刺しゅうの反対からぬう手順と なります。



 ① 布地の裏側





→ 刺しゅう枠がぬい目の最初に移動します。





糸調子を調整する

試しぬいで仕上がりを確認した後、必要に応じて糸調子を調節してください。調節後は試しぬいをして、調節結 果を確認してください。

■ 上糸の糸調子を調節する

ボビンワークでぬうときは、上糸調子は6から8の設定を推奨します。

詳しくは、E-30 の「糸調子を整える」を参照して ください。

■ 下糸の糸調子を調節する

上糸調子を調節しても、仕上がりがよくならない 場合は、下糸の糸調子を調節します。ボビンワー ク用の内かま(灰色)のマイナスネジを回して、 下糸の糸調子を調整できます。



- ① プラスネジは回さない
- ② マイナスドライバー(小)を使用して調整する

下糸調子を強くする場合は、マイナスネジを時計回りに **30 - 45**度回してください。

下糸調子を弱くする場合は、マイナスネジを反時 計回りに 30 - 45 度回してください。





▲ 注意

- ボビンワーク用内かま(灰色)のプラスネジ を調節しないでください。ミシンが故障する 原因になります。
- マイナスネジが回しにくい場合は、無理に回 さないでください。
 ネジを回しすぎたり、無理に回すと、回す方 向に関わらず内かまの破損の原因になりま す。破損した内かまを使用すると、正しい糸 調子を保つことができません。

火 お願い

 ・調節しても下糸調子が強い場合は、ボビン を内かまにセットするときに、板ばねに糸 をかけないでください。(A-7の「下糸テン ションフリーにする場合」参照)

困ったときは

次の項目を確認してください。症状が改善されないときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン **119** 番)」にお問い合わせください。



A

付録 A-17

A付録

第2章 お手入れ/困ったときには

お手入れのしかた 19
注油に関して 19 ミシンを保管するときのご注意 19 画面の汚れの掃除 19 ミシンの汚れの掃除 19 かまの掃除 19 内かま周辺のカッターの掃除 21 点検の警告について 21 画面の調整 22
回回の明るご嗣登22 タッチパネルが反応しない22
困ったとき23
よくあるご相談 23 上糸がつる 23 ■ こんなとき 23 ■ 原因 23 ■ 放力法/確認内容 23 市裏で糸がからまる 24 ■ 方板とき 24 ■ 財処方法/確認内容 24 ■ 対処方法/確認内容 24 ■ 対処方法/確認内容 24 ■ 対処方法/確認内容 24 ■ 対処方法/確認内容 24 ■ 成力 が処方法/確認内容 24 ● こんなとき 26 ■ こんなとき 26 ■ たんなとき 26 ■ たんなとき 26 ■ たんなとき 26 ■ なんなとき 26 ■ なんなとき 26 ■ 成本をミシン内込んでとれなくなった 27 ■ キをミシンから取り外す 27 ■ ミシンの動作を確認する 29 簡単なミシンの調整 30 ■ ぬう前の準備 30 ■ は上がり 33 エラーメッセージ 35
仕様
アップグレードの方法 39
USB メディアを使用してアップグレードする

お手入れのしかた

▲ 注意

• 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けがまたは感電の原因となります。

注油に関して

お客様ご自身による本製品への注油は行わない でください。故障の原因となります。本製品の 動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて 出荷されていますので、定期的に注油する必要 はありません。万一、プーリーを回すと重い、 異常な音がするなどの症状が発生した場合は、 ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店ま たは「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談 ください。

ミシンを保管するときのご注意

以下の場所にミシンを保管しないでください。 結露によるさびの発生など、故障の原因となり ます。

- * 温度が著しく高くなる場所
- * 温度が著しく低くなる場所
- * 急激に温度が変化する場所
- * 湿気、湯気が多い場所
- * 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- * 屋外や直射日光の当たる場所
- * ほこり、油煙の多い場所

 ・本製品を未永くご愛用いただくために、と きどき電源を入れて、縫製してください。 長期間保管したまま使用しない状態が続く と、ミシンの性能を損なうおそれがありま す。

画面の汚れの掃除

画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地な どで軽くふきとってください。有機溶剤や洗剤 は使用しないでください。

> ╯ **お願い** ▶● 湿った布で画面を拭かないでください。

お知らせ

● 画面が結露したり、曇ったりする場合がありますが、故障ではありません。しばらくすると、結露や曇りはなくなります。

ミシンの汚れの掃除

ミシンが汚れた場合は、乾いたやわらかい布地 などで軽くふきとってください。有機溶剤や洗 剤は使用しないでください。

かまの掃除

ほこりがたまると縫製不良になったり、下糸検 出が効かない場合があります。いつもきれいに しておきましょう。



____)(針上下スイッチ)を押して針を上げ ます。

2 電源を切り、電源プラグをコンセントから 抜きます。



- 3 針と押え、押えホルダーを外します。 (B-55 ~ B-58 参照)
- 4 補助テーブルまたは刺しゅう機を取り付け ている場合は外します。





① 針板カバー





5 針板カバーの突起を針板に差し込み、その ままミシンに取り付けます。



上記の表示が出た場合は、お買い上げの販売店 にご相談のうえ、定期点検をご依頼ください。 ●●●を押すと、表示は消えてミシンの機能を引 き続き使うことができますが、適切な点検が完 了するまでは何度も表示されます。

この表示が出たときは、必ずミシンの定期点検 をご依頼ください。正しい時期に定期点検を行 うことによって、ミシンを長くご利用いただく ことができます。

画面の調整



困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目および当社サポートページ、ブラザーソ リューションセンター(<u>http://support.brother.co.jp/</u>)の Q&A を確認してください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談くださ い。

よくあるご相談

以下のよくあるご相談については、詳しい原因と対処方法を記載しております。お問い合わせの前に ご確認ください。



A



* 右手でボビンを押さえ、左手で巻き終わりの糸を ツメに引っかけます。



- ① ツメ
- ② 右手でボビンを押えます。

糸を引っぱりながら針板のミゾにそって糸を通し、最後に手前に引いてカッターで糸を切ります。



- ③ ミゾ
- ④ カッター (カッターで糸を切ります。)

内かまにボビンの糸を正しくセットしなければ、 正しい糸調子でぬうことができません。

布裏で糸がからまる

■ こんなとき

* 布の下側で糸がグチャグチャにからんでしまう。



- * ぬい始めるとすぐにガタガタと音がして進まなく なる。
- * 布地の下側を見ると、かまの中まで糸が何重にも からまっている。



■ 原因

上糸のセットがまちがっている 上糸のセットがまちがっていると、布地を貫通し た上糸をしっかりと引き上げることができず、か まの中に上糸がたまり、グチャグチャにからんで しまいます。

■ 対処方法/確認内容

からんだ糸を取り除き、上糸をセットしなおしま す。

- からんだ糸を取ります。取れない場合は、 はさみで糸を切ります。
 - * 「かまの掃除」の A-19 の「お手入れのしかた」を 参照してください。
- っいったん上糸をミシンから取り外します。
- 3 以下の手順に従って、上糸をもう一度セットしなおします。
 - * ボビンを内かまから取り出した場合は、B-40の「下糸の準備」とA-23の「上糸がつる」の対処方法/確認内容を参照して、セットしなおしてください。

A

2

お手入れ/困ったときには



糸調子が合わない

■ こんなとき

- 症状① 布地の上側にポツポツと下糸が出ている。
- 症状② 布地の上側で上糸が直線になる。
- 症状③布地の下側にポツポツと上糸が出ている。
- 症状④ 布地の下側で下糸が直線になる。
- 症状⑤ 布地の下側のぬい目がゆるい、またはたるむ。

□症状①

□ 症状③



 ① 布地の下側の面

- ② 布地の上側の面に下糸が出 ている
- ③上糸
- ④ 布地の上側の面
- ⑤下糸

ている

⑥ 布地の下側の面に上糸が出

■ 原因/対処方法/確認内容

□ 原因 1

糸が正しくミシンにセットされていない。
<上記の症状①、②に該当する場合>
下糸が正しくセットされていません。
上糸調子を S-12 の「上糸が強すぎる(下糸が表に出る)場合」を参照してセットし直します。

<上記の症状③~⑤に該当する場合> 上糸が正しく通っていません。 A-24の「布裏で糸がからまる」を参照して糸をかけ直します。

□ 原因 2

布地に合った糸や針を使用していない。

ミシン針は布地の種類や糸の太さによって使い分けが必要です。 布地に合った糸と針を使用しないと、糸調子が合わなかったり、布地にしわが寄ったり、目とびの原因に なったりします。

* B-61 の「布地と糸の種類による針の使い分け」の一覧表を参照して、布地に合った糸と針を使用しているか確認 してください。

□ 原因 3

上糸調子の設定値が適正でない。

適正な糸調子になるように調節します。

使用する布地/糸の種類やぬい方によって、適正な糸調子は異なります。

 * 実際にお使いになる布地の端切れで試しぬいをして、糸調子を調節してください。

、 お願い

 上糸の通し方や下糸のセットが正しくされていない場合は、糸調子の調節が正しく行えません。上糸 かけ、下糸セットの確認を先に行ってから、糸調子の調節を行ってください。

- * 布地の上側に下糸が見える場合
 糸調子の を押します。(糸調子を弱くします。)
- * 布地の下側に上糸が見える場合 糸調子の+を押します。(糸調子を強くします。)

布がミシンに入り込んでとれな くなった

布がミシンに入り込んでとれない場合、糸が針 板の下でからんでいることがあります。以下の 手順で、布をミシンから取り外してください。

操作が手順どおりに進まない場合は、無理に作 業を続けず、お買い上げの販売店、または「お 客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談くださ い。

■ 布をミシンから取り外す



電源を切ります。

針を取り外します。 針が布に刺さっている場合は、プーリーを奥側に回 して針を布から外してから、針を取り外してくださ い。

- * B-58 の「針の交換」を参照してください。
- 4 押えレバーを上げて、押えと押えホルダー を取り外します。
 - * B-55 の「押えの交換」を参照してください。

5 布を持ち上げて、布の下の糸を切ります。 ここで布を取り外すことができる場合は、取り外し てください。かまの掃除をするために引き続き、次 の手順へお進みください。





① 針板カバー (手前部分)





8内かまを取り出します。

内かまに糸が残っている場合は、取り除いてくださ い。



① 内かま

9 付属のミシンブラシや掃除機で、外かま周辺の糸くずやほこりを取り除きます。





ここまでの手順で布を 取り外せた場合	→ 手順16 に進む
ここまでの手順で布が 取り外せない場合	→ 手順 10 に進む

10 付属のネジ回しを使って、針板の二つのネ ジを取り外します。



☆ <mark>お願い</mark> ● 取り外したネジを、ミシンの中に落とさな いように注意してください。



内かまの▲印とミシンの●印が合うよう

Α

お手入れ/困ったとき

<u>r</u>i



簡単なミシンの調整

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売 店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。

?を押し、 ******* を押すと、ぬっていて困ったときのための簡単なトラブルチェックをご使用いただけます。

■ ぬう前の準備

症状	原因	対処	参照ページ
糸通しができない。 針穴に糸が通らない。	針が正しい位置にない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	B-13
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-58
	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	B-58
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-48
	糸通しフックが曲がっていて針穴に通っていない。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	_
	糸通し装置が動かない。糸通し装置が戻らな い。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	_
	9番の針を使っている。	糸通し装置に対応しない針です。手で糸を針 穴に通してください。	B-51
押えレバーで押えを下 げることができない。	押え上下スイッチを使って、押えが上げられて いる。	押え上下スイッチを押して、押えを下げま す。	B-13
下糸がボビンにきれい	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。	下糸巻き案内に糸をしっかりとかけます。	B-42
に巻けない。 	ボビンの回転が遅い。	下糸巻きの回転スピードを速くするため、下 糸巻き画面で「+」キーを押します。	B-43
	引き出した糸を正しく巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに 5~6 回ボビン に巻き付けます。	B-42
下糸を引き出すことが	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	B-58
できない。	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-45
ミシンの操作ができな い。	すべてのキーとスイッチが 🖳 🗘 でロック	● を押して、すべてのキーとスイッ	B-55、B-58
	されている。	チのロックを解除します。	D. 01
液晶画面に何も表示し	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	B-21
/d / / o	電源ノラクかコンセントに差し込まれていな い。	電源ノラクをコンセントに差し込みます。 	B-21
液晶画面が見にくい。	画面の明るさ設定が合っていない。	画面の調整をします。	A-22
液晶画面を押しても、 反応しない。	画面がロックされている。	次のいずれかのキーを押して、画面ロックを 解除します。 🔐 🛯 🥨 🕼	—
 液晶画面がくもろ	海島画面が結露している。	小し待つと くもりはなくなります	
刺しゅう機が動かな	模様が選ばれていない。	模様を選びます。	E-3, E-58
l'i.	電源スイッチが入っていない	電源スイッチを入れます。	B-21
	刺しゅう機が正しくセットされていない。	刺しゅう機を正しくセットします。	B-66
	刺しゅう枠を付けた状態で初期設定を行った。	正しく初期設定を行います。	B-66
LED ポインター付き 刺しゅう押えく W+ > の LED ポインターが 正しい位置を示さな い。	厚手の伸縮性のある布地をぬうときは、布の凸 部で正しい位置を示すことができません。	布地の厚みに合わせて、手動で刺しゅうの位 置合わせをしてください。	E-36
	布地の表面がでこぼこしていると、正しく位置 を認識できません。	LED ポインターの表示は、あくまでも参考と して使用してください。	B-64
センサーペンが正確に 動作しない。	センサーペンを「超音波センサーキャリブレー ション」で設定していない。	センサーペンを最初に使う前に、必ずキャリ ブレーションしてください。	B-76
	センサーペンを持つとき、キャリブレーション したときと違う持ち方をしている。	センサーペンを使うときは、キャリブレー ションしたときと同じ持ち方をしてくださ い。センサーペンを持つ角度が違っている と、位置情報を正しく得られません。その場 合は、位置設定をしたあとで、手動調整をし てください。	B-76、E-36

■ぬっているとき

症状	原因	対処	参照ページ
ミシンが動かない	スタート/ストップスイッチを押していない。	スタート/ストップスイッチを押します。	B-13
	模様が選ばれていない。	模様を選びます。	S-21、S-77、E-3、 F-58
が上下に動かない	 押えが下がっていない。	押えを下げます。	B-13
	フットコントローラーを接続したままスタート /ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを接続しているとき は、スタート/ストップスイッチは使用でき ません。フットコントローラーを使ってミシ。	S-4
		ンを操作してください。スタート/ストップ スイッチを使用する場合は、フットコント ローラーを取り外してください。	D 00 C 4
	スヒートコノトロールレハーかジグザグの振り 幅を調節するように設定されている	スタート/ ストッノスイッチではなく、ノッ トコントローラーを使って、ミシンを操作し ます。または、設定画面で「振り幅コント ロール」を OFF にします。	B-28、S-4
	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタ ン穴かがりまたはかんどめ以外の模様を選択し てスタート/ストップスイッチを押した。	ボタン穴かがりレバーを上げます。	S-56、S-60
	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタ ン穴かがりまたはかんどめの模様を選択してス タート/ストップスイッチを押した。	ボタン穴かがりレバーを下げます。	S-56、S-60
針が折れる	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-58
	針のとめネジがゆるんでいる。	とめネジをしっかりしめます。	B-58
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-58
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認しま す。	B-60、E-21
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
	上糸調子が特に強すぎる。	糸調子を調節します。	S-12、E-30
	布地を不当に引っ張っている。	布地を引っ張らないようにします。	—
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を確認して、付け直します。	B-48
	針板の穴の周辺にキズがある。 ※ 針板の穴の左側には、	針板を交換します。お買い上げの販売店また は「お客様相談室(ミシン 119番)」にご相 談ください。	A-19
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。お買い上げの販売店また は「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相 談ください。	B-55
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談く ださい。	A-19
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	B-58
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。 本機純正ボビンを使用してください。	B-40、B-45
	針のとめネジがゆるんでいる。	とめネジをしっかりしめます。	B-58
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-48
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-45
	押えの取り付けがまちがっている。	押えを正しく取り付けます。	B-55
	押えホルダーのネジがゆるんでいる。	押えホルダーのネジを確実にしめます。	B-56
	布地が厚すぎる。 	プーリーを手で回して針が布地に通ることを 確認してください。	S-8
	厚い布地などを縫製中に布地を押しこんでいる。	無理に布地を押しこまないようにしてくださ い。	S-8
		ぬい目をあらくします。	S-10
	刺しゅうをするときに、布地に刺しゅう用接着 芯を貼っていない。	刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう用接着 芯を布地に貼ります。	S-81、E-11
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-45

症状	原因	対処	参照ページ
上 糸が切れる	上糸の通し方がまちがっている(糸こまが正し	糸を正しく通します。	B-48
	くセットされていない、糸こま押えの大きさが		
	「合うていない、糸が町棒糸がりから外れている」など)。		
	 糸にこぶや結び目がある。	糸のこぶや結び目を取り除きます。	-
	針に比べて糸が太すぎる。	針と糸の組み合わせを確認します。	B-60
	上糸調子が強すぎる。	糸調子を調節します。	S-12、E-30
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って 取り除きます。	A-19、A-24
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-58
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-58
	針板の穴の周辺にキズがある。 ※ 針板の穴の左側には、 くぼみが設けられてい ます。この部分はキズ ではありません。 ① くぼみ	針板を交換します。お買い上げの販売店また は「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相 談ください。	A-19
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。お買い上げの販売店また は「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相 談ください。	B-55
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談く ださい。	A-19
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-60、E-21
	糸が結ばれたり、からんだりしている。	上糸と下糸を通しなおします。	B-45、B-48
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。 本機純正ボビンを使用してください。	B-40、B-45
布裏で糸がからまる	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-48、A-24
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認しま す。	B-60、E-21
上糸がつる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-45、A-23
下糸が切れる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-45
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-40
	ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ボビンを交換します。	B-45
	糸がからまっている。 	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って 取り除きます。 	A-19、A-24
	本機純正のボビンを使用していない。 	厚みの違う従来品では正しく動作しません。 本機純正ボビンを使用してください。	B-40、B-45
布地にしわがよる 	上糸の通し方、または下糸のセットのしかたが まちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。ま たは、下糸を正しくセットします。	B-45、B-48
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を確認して、付け直します。	B-48
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認しま す。	B-60、E-21
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-58
	薄地に対してぬい目があらすぎる。	ぬい目を細かくします。	S-10
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	S-12、E-30
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
ぬい目が飛ぶ	糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-45、B-48
	布地に合った針・糸を使っていない。 	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認しま す。	B-60、E-21
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-58
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-58
	品質の悪い針を使っている。	新しい針に交換します。	B-58
		ミンノノフシなとでコミを取り除きます。	A-19
めい日ができたい	/ 得い巾心や仲ひる巾心をぬつている。	177-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-	ত-স R_52
ゆい日小 じさない	町か曲かうていたり、町先かつかれている。 下幺セットのしかたがまちがっている	利しい町に文探します。 下幺を正しくセットします	B-45
	上糸の通し方がまちがっている。	ハモエリ、ヒノ」しなッ。 糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-48

症状	原因	対処	参照ページ
ぬい音が高い	送り歯にゴミがたまっている。	ゴミを取り除きます。	A-19
ガタガタと音がする	かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	かまの掃除をします。	A-19
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-48
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談く ださい。	A-19
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。 本機純正ボビンを使用してください。	B-40、B-45
	内かまに針が刺さった穴やスリキズがある。	内かまを交換します。最寄りの販売店、また は「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相 談ください。	A-19
布地を送らない	送り歯が下がっている。	を押してからプーリーを回して送り歯 を上げます。	S-40
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	S-10
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-58
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って 取り除きます。	A-19、A-24
布地が逆方向に送られ る。	送り機構が故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	
針が針板に当たる。	針のとめネジがゆるんでいる。	針のとめネジをしっかりしめます。針が曲 がっている場合や針先がつぶれている場合は 新しい針に交換します。	B-58
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-58
布がミシンに入り込ん でとれない。	糸が針板の下でからんでいる。	布を持ち上げて、布の下の糸を切ります。次 にかまの掃除をします。	A-27
折れた針がミシンの中 に落ちた。		ミシンの電源を切ってから、針板を外しま す。ミシンの中に落ちた針が見える場合は、 ピンセットなどで取り出します。針を取り出 したら、針板を元に戻します。 電源を入れる前に、プーリーを手でゆっくり 手前に回してなめらかに回るか確認してくだ さい。プーリーがなめらかに回らない場合や ミシンの中に落ちた針を取り出せない場合 は、お買い上げの販売店、または「お客様相 談室(ミシン119番)」にご相談ください。	A-19
プーリーを回したとき に重い。	糸がかまなどにからんでいる。	かまにからんだ糸を取り除きます。内かまを 正しい位置に取り付けなおします。	A-19、A-24
刺しゅう機が動かない	模様が選ばれていない。	模様を選びます。	E-3、E-58
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	B-21
	刺しゅう機が正しくセットされていない。	刺しゅう機を正しくセットします。	B-66
	刺しゅう枠を付けた状態で初期設定を行った。	正しく初期設定を行います。	B-66

■ 仕上がり

症状	原因	対処	参照ページ
糸調子が合わない	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-48
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。(針板を取り外し た場合は、針板を取り付けし直し、内かまを 取り付ける前に針板のネジを確実にしめま す。)	B-45
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認しま す。	B-60、E-21
	押えホルダーが正しく取り付けられていない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	B-56
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	S-12, E-30
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-40
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-58
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違う従来品では正しく動作しません。 本機純正ボビンを使用してください。	B-40、B-45

症状	原因	対処	参照ページ
文字模様がくずれる	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	S-67
	模様が正しく調整されていない。	模様の調整をし直します。	S-82
	薄地や伸びる布地なのに芯を貼っていない。	布地に接着芯を貼ります。	S-81
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	S-12、E-30
	ぬっている途中で布地を引っ張ったり押さえた り、布地がずれたりしている。	布地がまっすぐ送られるように、布に手を軽 く添えてぬいます。	S-3
	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まって いた場合は、掃除します。	A-19、A-27
刺しゅう模様がくずれ る	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って 取り除きます。	A-27
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない (布地の張り方がゆるいなど)。	布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい 縮みの原因となります。刺しゅう枠に布地を 正しく張ります。	E-14
	接着芯を貼っていない。	特に伸びる布地、薄地、目の粗い布地、ぬい 縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着 芯を貼ります。適切な接着芯については、お 買い上げの販売店または「お客様相談室(ミ シン 119 番)」にご相談ください。	E-11
	キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物 に当たっている。	キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつかると模 様くずれの原因となります。刺しゅう枠が動 く範囲には物を置かないようにします。	E-19
	刺しゅう枠からはみでた布地をアーム側に置い ている。 (刺しゅう枠がつかえて動かない)	刺しゅう枠からはみ出た布地がアームの反対 側になるようにして枠を張り替え、模様を 180 度回転して刺しゅうをします。	E-14
	重い衣類に刺しゅうして、刺しゅう機の動きが 悪くなった。	アームベットと水平になるように電話帳など を置いたり、重い側を軽く持ち上げるように してぬいます。	_
	テーブルから刺しゅうする布地が垂れ下がって いる。	布地が垂れ下がった状態で刺しゅうをする と、刺しゅう機の動きが悪くなります。テー ブルから布地が垂れ下がらないようにしま す。	_
	布地がひっかかっている、またははさみ込まれ ている。	ミシンを止めて布地を正しい位置に直しま す。	_
	下糸交換などでぬっている途中に刺しゅう枠を 外したり、セットするときに枠を刺しゅう押え にあてたり、押したりした。または刺しゅう機 を動かした。	ぬっている途中で刺しゅう押えに物がぶつ かったり、刺しゅう機が動いたりすると模様 くずれの原因となります。ぬっている途中で 刺しゅう枠を外したり、セットしたりすると きには注意してください。	E-26
	刺しゅう用接着芯が、刺しゅう枠よりも小さい など、正しく貼られていない。	刺しゅう用接着芯を布地に正しく貼ります。	E-11
刺しゅうした布地の表	糸調子が正しく調節されていない。	糸調子を調節します。	E-30
個に糸のルーフかでさ る	布地、糸、模様の組み合わせによって、上糸が 浮いてしまう。	刺しゅう専用針板カバーを使用します。	E-22
	内かまと下糸の組み合わせが正しくない。	正しい組み合わせになるように、内かま、あ るいは下糸を交換してください。	E-21

▲ 注意

このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。また、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布を送ります。これは針棒の解除機能によるものです。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、故障ではありませんのでご了承ください。

使用中に停電が発生した場合
 電源スイッチを切って、電源プラグを抜いてください。
 再度電源スイッチを入れる場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。
エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態でスタート/ストップスイッチや返しぬいスイッチ、止めぬいスイッチ を押したときや、誤った操作をしたときは、ミシンが止まり、メロディとエラーメッセージでお知らせします。 エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

(表示中のエラーメッセージは Nu を押すか、正しい操作をすると消えます)。



必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずに

 (スタート/ストップスイッチ)を押すと、針折れや糸調子不良、故障の原因となります。

マーク	エラーメッセージ	原因/対処
	2本針の設定のときには、上糸通しスイッチは使えません。	2 本針が設定されている状態で自動糸通しスイッチを押したと きに表示されます。
٢	LED ポインター付き刺しゅう押えを外してください。	ミシンに LED ポインター付き刺しゅう押えく W+ >が取り付けられている状態で実用模様/文字・飾り模様をぬおうとすると表示されます。実用模様/文字・飾り模様モードに入る前に、LED ポインター付き刺しゅう押えく W+ >を取り外してください。(B-63 参照)
\odot	USB 通信中	USB メディアとの通信中に表示されます。
	USB メディアエラー	USB メディアでエラーが発生したときに表示されます。
	USB メディアが交換されました。読み込んでいる最中に交換 しないでください。	呼び出したい模様が記憶された USB メディアを取り出した後 で、その模様を選択しようとしたときに表示されます。
	USB メディアが入っていません。USB メディアを入れてください。	USB メディアを挿入していない状態で、模様を呼び出そうと したり、保存しようとしたときに表示されます。
	安全装置が働きました。糸がからんでいませんか?針が曲 がっていませんか?	糸がらみなどで、モーターがロックしたときに表示されます。
?	移動や回転が元に戻りますがよろしいですか?	移動や回転などの編集を行った模様を使って、センサーペン で自動位置合わせ機能を使おうとすると表示されます。 (B-87 参照)
0	移動や回転、ボーダー設定が元に戻りますがよろしいです か?	移動や回転などの編集を行った模様(連続模様を含む)を 使って、センサーペンで自動位置合わせ機能を使おうとする と表示されます。 (B-87 参照)
	糸がうまくかかっていない可能性があります。始めから糸を かけ直して下さい。	自動上糸通しのとき、上糸が正しく通されていない可能性が あるときに表示されます。
3	上糸を確かめ、もう一度かけ直してください。	上糸が切れたときなど、上糸が正しく通っていない状態で、 スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押し たときに表示されます。
?	選んだ模様が消えます。よろしいですか?	模様を選んだ後に <mark>実用機様</mark> あるいは ^{文字機構ぬい} を押して、表示 している模様が削除されるときに表示されます。
\odot	押えが自動で下がります。よろしいですか?	押えが上がった状態で <mark>しい</mark> を押したときに表示されます。
	押え上下スイッチで押えを下げてください。	押えが上がっている状態で、スタート/ストップスイッチな どのスイッチを押したときに表示されます。
	押えレバーを下げてください。	押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、押え上 下スイッチを押したときに表示されます。
	書き込みに失敗しました。	USB メディアに 100 個以上の設定画面を画像データとして保存しようとしたときに表示されます。この場合は、USB メディアから不要な画像データを削除するか、別の USB メディアを使用してください。(B-35 参照)

マーク	エラーメッセージ	原因/対処
?	この USB メディアには対応していません。	本機が対応していない USB メディアを使おうとしたときに表示されます。対応する USB メディアの一覧は、、ブラザーソリューションセンター(<u>http://support.brother.co.jp/</u>)にてご覧ください。
(i)	この USB メディアは使用できません。	使用できないメディアを使おうとしたときに表示されます。
	この画面では操作できません。	センサー機能を使用中に使えない機能を選択したときに表示 されます。 (B-73 参照)
	このキーは使えません。	実用模様モード以外で ぬい方 を押したときや、実用
		模様/文字・飾り模様モード以外で 機構説明 を押した ときに表示されます。
	このモードではぬえません。	選択中の模様では使用できない機能を使おうとしたときに表 示されます。
	この模様はデュアルフィードモードでぬうことが出来ません。	選択中の模様では、デュアルフィード機能押えを使用できな いときに表示されます。他の模様を選択してください。(B-69 参照)
\odot	時刻を設定してください。	ミシンに日時設定がされていないときに表示されます。日時 を設定してください。 (B-22 参照)
	刺しゅう枠が動きます。手や物を刺しゅう枠から離して OK キーを押してください。	刺しゅう機の初期設定をするときに表示されます。
	刺しゅう枠をセットしてください。	刺しゅうモードで 🥜 を押したときに、刺しゅう枠が取り付けられていない場合に表示されます。 (B-87 参照)
	下糸が少なくなりました。	下糸が少なくなったときに表示されます。
	下糸巻きの安全装置が働きました。糸がからんでいません か?	下糸巻き中に、糸がらみなどでモーターがロックしたときに 表示されます。
	シャットオフサポートモードが働きました。ミシンの電源を 切ってください。	ミシンが電源オフサポートモードのときに表示されます。ミ シンをスタートするには、いったん電源を切る必要がありま す。 (B-32 参照)
	スピードコントロールレバーで振り幅を調節するときは、ス タート/ストップスイッチは使用できません。フットコント ローラーを使用してください。	スピードコントロールレバーがジグザグの振り幅を調節する ように設定されている状態でスタート/ストップスイッチを 押したときに表示されます。フットコントローラーでミシン を操作してください。
?	設定が消えます。よろしいですか?	実用模様のぬい方設定を削除するために、 しののあるいは
		を押したときに表示されます。 ок を押すと、設定 が削除されます。
	センサーの有効範囲外がタッチされました。有効範囲は横 13cm (5 インチ)、縦 20cm (8 インチ) です。センサーの有 効範囲内をタッチしてください。	センサーベンの入力範囲外をタッチしたときに表示されます。 有効な範囲をタッチしてください。 (B-78 参照)
	対応したフォーマットではありません。 	本機が対応していない形式のファイルを読み込もうとしたと きに表示されます。対応するファイル形式の一覧を確認して ください。(S-94 参照)
3	超音波ペンのペン先を一度離してください。	センサーペンでタッチ、またはロングタッチした状態で を押したときに表示されます。センサーペンを離してく ださい。
٢	超音波モジュールエラー	センサー装置に問題がおきたときに表示されます。お買い上 げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」までお問 い合わせください。
(ii)	データ容量の制限を超えました。これ以上模様を選ぶことは できません。	編集刺しゅうで、データ容量の制限を超える模様を読み込ん だり、たくさんの模様を編集したりしたときに表示されます。
?	定期点検を行ってください。	ミシンの定期点検が必要です。 (A-19 参照)

マーク	エラーメッセージ	原因/対処
	デュアルフィードモジュールを外してください。	デュアルフィード機能押えがミシンに取り付けられた状態で、 刺しゅうをしようとすると表示されます。 (B-69 参照)
	電源スイッチを切ってから針板を交換してください。	直線針板を取り付けた状態で、中基線以外の模様でぬおうとしたときに表示されます。ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したとき、刺しゅうモードまたは編集刺しゅうモードでミシンの電源を入れたときに表示されます。(B-24 参照)
	布を取り除いてから、糸通ししてください。	デュアルフィード押えが取り付けられており、押えの高さが3 ミリ以上の状態で、自動糸通しスイッチを押すと表示されま す。 布を取り除いてから、再度自動糸通しスイッチを押してくだ さい。
	ぬい終わり位置設定が出来ない模様が含まれています。	選択中の模様では、縫製位置終了点を設定できないときに表示されます。他の模様を選択してください。(B-83 参照)
?	ぬい終わり位置設定を解除しますか?	センサー機能を使って、ぬい終わり位置を設定中に、模様の 変更や追加、設定の変更をしようとしたときに表示されます。 (B-83 参照)
\odot	針板カバーが取り付けられていません。針板カバーを取り付 けて下さい。	針板カバーが取り付けられていないときに表示されます。
	針が下がっているときに、このキーは使用できません。	針が下がった状態で画面上のキーを押したときに表示されま す。
	ファイルサイズが大きすぎます。規定サイズ以内のファイル を使用して下さい。	ミシンが読み込める容量を超えたサイズの模様を読み込もう としたときに表示されます。データのサイズと形式を確認し てください。(S-95 参照)
	不具合が生じました。電源をいったん OFF してから再度やり 直してください。	ミシンが故障していることが考えられますので、お買い上げ の販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」までお問い 合わせください。
٢	フットコントローラーが付いているときは、スタート/ス トップスイッチは使用できません。	フットコントローラーを取り付けた状態で、実用ぬいや文字・ 模様ぬいをするためにスタート/ストップスイッチを押した ときに表示されます。(刺しゅうをしている間、このメッセー ジは表示されません。)
	縫製範囲外がタッチされました。縫製範囲内をタッチしてく ださい。	センサーペンで位置設定をする際、縫製範囲外をタッチした ときに表示されます。縫製範囲内をタッチしてください。 (B-78 参照)
?	ポケットがいっぱいです。模様を消去してください。	記憶容量がいっぱいで、模様の設定を消去する必要があると きに表示されます。
	ボタン穴かがりレバーを上げてください。	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがり以 外の模様を選んで、スタート/ストップスイッチ、返しぬい スイッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されま す。
	ボタン穴かがりレバーを下げてください。	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがりの 模様を選んで、スタート/ストップスイッチ、返しぬいス イッチまたは止めぬいスイッチを押したときに表示されます。
	文字の配列ができません。	文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。
	模様がはみ出しました。頂点位置合わせするポイントと方向 をセンサーペンで再度指定してください。	縫製範囲よりも外に模様の位置設定をしたときに表示されます。もう一度、刺しゅう枠の中心に寄った位置に設定しなおしてください。(B-87 参照)
	模様の呼び出し中です。しばらくお待ち下さい。	編集刺しゅうで、模様を呼び出しているときに表示されます。
?	容量がたりません。模様を消去しますか?	記憶容量がいっぱいで、模様を記憶できないときに表示され ます。
3	レジューム記憶を呼び出しますか?	 縫製中にミシンの電源を切った後で、もう一度電源を入れたときに表示されます。 oK を押すと、電源を切ったときの状態(模様の位置と縫製済みの針数)に戻ります。E-27の「途中で糸が切れたときは」の手順に従って、針位置を合わせて、模様の続きをぬってください。

仕様

	項目	仕様
ミシン本体	本体寸法	57.1 cm(幅) × 33.2 cm(高さ) × 28.4 cm(奥行)
	箱収納寸法	68.5 cm(幅) × 55.0 cm(高さ) × 37.7 cm(奥行)
	製品質量	15.3 kg
	ぬい速度	毎分 70 ~ 1050 針
	針	家庭用ミシン針 (HA × 1)
	定格電圧/消費電力	100 V (50/60Hz) 67W (電源オフサポートモード時の消費電力:0.5W)
刺しゅう機	本体寸法	54.5 cm(幅)× 13.0 cm(高さ) × 46.4 cm(奥行)
	箱収納寸法	68.5 cm(幅)× 55.0 cm(高さ)× 18.8 cm(奥行)
	ミシンセット時寸法	81.5 cm(幅)× 33.2 cm(高さ)× 46.4 cm(奥行)
	製品質量	3.9 kg

アップグレードの方法

USB メディアまたはパソコンを使って、ミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。

◆ あ願い ◆ USB メディアを使ってソフトウェアをアップグレードするときは、USB メディア内にアップグレードが ドファイルだけを保存してください。それ以外のデータが含まれていると、正しくアップグレードが できません。





索引

数字

1 重ぬい /3 重ぬいキー	S-106
2本針	B-51
2本針キー	B-51

L

L/R シフト	.S-11
LED ポインター付き刺しゅう押え	.B-63
LED ポインターの調整	.B-65

U

B-68, S-97, E-47, E-50, A-40
B-11, S-97, E-47
S-96, E-46
S-96, E-46
S-99, E-49

あ

アイレット	S-62
アダプター	B-56
アップグレードの方法	A-39
アップリケ	S-48
キルトぬい	S-38
刺しゅうの枠模様を使用する	E-51
刺しゅう模様	E-23
ジグザグぬい	S-31
アーム	S-62
アルファベット	
刺しゅう	E-5
編集刺しゅう	E-59
文字・模様ぬい	S-78

い

位置確認キー	E-19
糸	
糸調子	S-12, E-30
布地と針と糸の組み合わせ	B-61
糸案内	B-11, B-41, B-44, B-52
糸案内板	B-11, B-44, B-48
糸色表示	
糸切り	B-11 S-4
糸切り/糸調子キー	F-30
糸切りスイッチ	B-13
糸の シバー シング	B-11
糸こちがた	B-41
ふこようかん (特殊)	B-54
永こよか ノ 「	E 76
〒1 ⁻	R 11 R 40 R 52
ネハレットキー	E-00, E-07, E-71
* 密度+	
巴谷十一	E-40, E-66
色パレット	E-68, E-71

う

ー ウォーキングフット	B-56
内かま 掃除	A-19

上糸通し 2本針モード B-51 糸こまネットを使用する B-54 手動で上糸を通す B-51 自動糸通しスイッチ B-48 上ふた B-11

え

	B-11, B-24
明るさ調整	A-22
掃除	A-19
ロックする	S-19
エコーキルト	S-43
エコモード	B-32
エラーメッセージ	A-35

お

	-
大きさキー	E-37, E-63
大きさ選択キー	S-86
送り歯	B-12, S-40
押え	,
アダプター	B-56
圧力	S-18
種類	S-67
取り付ける	B-55
取り外す	B-55
押え記号	E-9
押え上下スイッチ	B-13
押えホルダー	B-12, B-55
押えホルダーのネジ	B-12
押えレバー	B-11, S-8
折り伏せぬい	Ś-29

か

	E-38, E-63
返しぬい/止めぬい	S-5, S-6
返しぬいスイッチ	B-13, S-5
拡大キー	Ś-106
飾りぬい	
デイジーステッチ	S-53
ドロンワーク	S-54
換気口	B-11
かんどめ	S-59
ガイドラインマーカー	S-15
画面明るさ	A-22

ŧ

記憶する	
USB メディア	S-96, E-46
刺しゅう模様	E-45
実用ぬい	S-22
パソコン	S-97, E-47
マイイラスト	Ś-110
ミシンのメモリー	S-95, E-45
文字・模様ぬい	S-95
模様の設定	S-22
キーのはたらき	
刺しゅう	E-10
実用ぬい	B-26
編集刺しゅう	E-62
マイイラスト機能	S-105
文字・模様ぬい	S-84
キルト	
フリーモーション	S-40

а 2

索引

キルトぬい	S-35
サテンぬい	S-39
ギャザー	S-28

<

繰り返しキー	E-73,	E-76
クレイジーキルト	·	S-31
グリッド方向キー		3-106

ະ

コードガイドふた	S-32
ゴムひもつけ	S-33

t

サイドカッター押え	S-33
サテンぬい	S-87
左右反転キーS-21, S-86,	E-39

し

シェルタックぬい	S-49
刺しゅう	
糸色表示	E-33
キーのはたらき	. E-10
自動糸切り機能	. E-31
速度を調節する	E-32
小さい布地にぬう	E-16
電源を切った後、刺しゅうを再開する	E-28
布地の隅	E-16
始めからぬい直す	E-28
模様を選ぶ	E-3
リボンテープ	E-16
渡り糸切り機能	. E-31
刺しゅう押え	B-63
刺しゅうカード	E-7
刺しゅうカードリーダー	E-7
刺しゅう機	B-66
キャリッジ	. B-13
刺しゅうキー	F-79
刺しゅうシート	F-15
利しゅう専用針板カバー	F-22
刺しゅうの松表示	F-34
利しゅう模様 1	04
マップリケ横槎	F-23
クラクラク (K)	E-36
位置ログで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E-10
12000年前 ··································	E-58
この、 記憶する E-45 E-46	E-47
記にする	E-90
粗の口りで	E-00
約しゆフッる	E 70
修止E-30, 指制	E-/9
版	
編果	. E-41
又子をつなける	. E-41
呼び山 9	E-49
伴模様を使つ(アッノリケをするE-51,	E-52
刺しゆう枠	- 4-
刺しゆうシートの使い方	. E-15
	E-13
セットする	. E-17
取り外し方	. E-18
布地の張り方	. E-14
ト糸を巻く	. B-40
下糸をセットする	. B-45
下糸を引き出す	. B-47
下糸巻き案内B-11, B-42,	B-44
下糸巻き装置	B-11
しつけぬい	S-27
シャッター	. B-48
11 134	
仕禄	. A-38

ジグザグぬい	S-30
実用ぬい	
アドバイスキー	B-39
選び方	S-21
記憶する	S-22
キーのはたらき	B-26
ぬい方キー	B-38
ぬい方早見表	S-67
模様選択画面	S-67
呼び出す	S-23
自動糸切りキー	S-14
自動糸通しスイッチ	B-13, B-48
自動止めぬいキー	S-6
自動布地センサーシステム	S-18

す 垂i

垂直糸たて棒	B-54
スカラップぬい	S-50
スタート/ストップスイッチ	B-13
ステップ模様	S-92
スピーカー	B-29
スピードコントロールレバー	B-11, B-13, S-3
スモッキングぬい	S-50

t

接着芯	E-11
設定	
糸切り	E-31
糸調子	S-12, E-30
画面の明るさ	A-22
刺しゅうの設定	B-31
自動糸切り	S-14, E-31
自動止めぬいをする	S-6
セットキー	B-28, E-32, E-68
そのほかの設定	B-29
ぬい方の設定	B-28
ぬい目の長さ	S-10
表示言語	B-33
振り幅	S-10
セットキー	S-106
センサー機能	B-72
L/R シフト	B-81
ガイドラインマーカー	B-78
刺しゅう位置	B-87
ぬい終わり位置	B-83
針落ち位置	B-80
センサーペン	B-73
センサーペンホルダー	B-74

そ

操作スイッ	£	B-11
掃除		
内かま		A-19
液晶画面		A-19
本体表面		A-19

た

たちめかがり	S-31
タッチペン	
試しぬいキー	Ś-107, Ś-110
ダーツ	S-28
ダーニング(つくろいぬい)	S-58

5

_ 超音波センサーキャリブレーション 調整	B-76
 画面の明るさ 直線 _{知え}	A-22 S-26
<u> 直線的い</u> 	S-24
■稼虾伮	5-26

う つき合わせぬいS-50

τ

点線ジグザグぬい	S-33
デュアルフィード押え	B-69
電源オフサポートモード	B-32
電源コード	B-22
電源ジャック	B-11
電源スイッチB-	11, B-21

と

止めぬいスイッチ	B-13, S-5
トラブルチェック	A-23

に

ニーリフター	 B-11,	S-16
_ ///	 <i>с</i> -п,	0-10

ぬ

ぬい方キー	B-38
ぬい方早見表	S-67
ぬい始めの位置キー	E-37
ぬい目戻る/進むキー	E-27, E-28
布地	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
厚地をぬう	S-8
薄地をぬう	S-9
布地と針と糸の組み合わせ	B-61
伸びる布地をぬう	S-9, S-57
	, ,

は

配列キー 針	E-60, E-64
³¹ 2本針 布地と針と糸の組み合わせ 針位置の変え方	B-51 B-61 S-25
計位置の確認 針位置の確認 針の交換	
針板 	B-12 B-12, S-26
計板ふた 計位置	B-12, B-46 S-18, S-25
☆ # # え交換キー 針 F 下 スイッチ	B-52, B-55, B-56, B-58, B-63 B-13
計111111111111111111111111111111111111	B-12 B-12 B-52
ゴイボル 0 ハンドル	B-11
ボタン穴かがり ボタン穴かがり ボタンが台皿にのらない場合	S-54 S-57
パッチワーク	S-31

ひ

刺しゅう	E-5
編集刺しゅう	E-59
文字・模様ぬい	S-78

ピーシング S-36 ガイド付きピーシング押え S-37 ピボット S-16 ピンタック S-30

3

	S-51
ファスナーつけ	
つき合わせ	S-63
脇あき	S-64
付属品	B-15
別売品	B-17
付属品入れ	B-14
フットコントローラー	B-11, S-4
フリーモーションキルト	,
エコーキルト押え <e></e>	S-43
オープントゥキルト押え <o></o>	S-40
フリーモーションキルト押え <c></c>	S-41
フリーモーションモード	S-40
ブロック移動キー	S-108
プーリー	B-11
フーリー	B-11

ヘアルーム	S-53
ヘルフキー	B-36
編集	
刺しゅう	E-36
編集刺しゅう	E-61
マイイラスト機能	S-105
文字・模様ぬい	S-84
編集刺しゅう	
糸色を変える	E-67
色パレット	E-68, E-71
キーのはたらき	E-62
組み合わせ模様	E-80, E-83
編集刺しゅうでできること	E-57
連続模様	E-73

ほ

	B-11, B-14
ホーム画面	B-24
ボタン穴かがりレバー	B-12, S-56, S-58
ボタンつけ	S-60
4 つ穴ボタン	S-61
糸足	S-61
ボビン	
下糸が少なくなったら	E-26
下糸を引き出す	B-47
セットする	B-45
巻く	B-40
ボビン受け座	B-44
ボビンクリップ	B-17
ボビンホルダー (スイッチ)	B-42
ボビンワーク	A-2
ボールポイント針(刺しゅう用)	B-60, E-32
ポイント削除キー	Ś-107
ポイント挿入キー	S-109

ま

マイイラスト機能	
キーのはたらき	
デザイン	
データの入力	
呼び出す	S-111
リストに保存する	
まつりぬい	

み

 ミシン糸	
布地と針と糸の組み合わせ	B-61
キシンゴ 布地と針と糸の組み合わせ	B-61

ŧ

- 文字間隔キー	E-64
文字・模様ぬい	
選び方	S-77
記憶する	S-95, S-96, S-97
キーのはたらき	Ś. S-84
組み合わせ	S-89
調整	S-82
ぬう	S-81
編集	
呼び出す	S-98, S-99, S-100
模様の頭出しキー	
模様の組み合わせ	
編集刺しゅう	
文字・模様ぬい	
模様の長さキー	S-86

や

矢印キー	S-106,	E-36,	E-81

ሄ

横送り	
横書き/縦書き	S-87
よこたてキー	S-87
呼び出す	
刺しゅう模様	E-48
実用ぬい	S-23
パソコン	S-100, E-50
マイイラスト	S-111
ミシンのメモリー	S-98, E-48
文字・模様ぬい	S-98

n

連続刺しゅう	(一色ぬい)	E-43
連続模様		E-73

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。

■保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売 店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能 部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」に ご相談ください。

■ お客様相談室(ミシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(ミシン119番) Tel:<u>050</u>-3786-1134 050(ゼロゴーゼロ)で始まる電話番号です。 Fax:052-824-3031

受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:30 休業日:土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室(ミシン119番)は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機 械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
- ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様 相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了 承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。 http://www.brother.co.jp/

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。 http://support.brother.co.jp/



愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

114-C43 Printed in Taiwan

